

平成24年度 業務実績報告書

平成25年6月

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター（病院法人）

I 法人の概要

1 法人の現況

「地方独立行政法人岐阜県総合医療センター」は、岐阜県の政策医療を担う県全域の中核基幹病院として平成18年11月に新築オープン、平成22年4月地方独立行政法人化した。

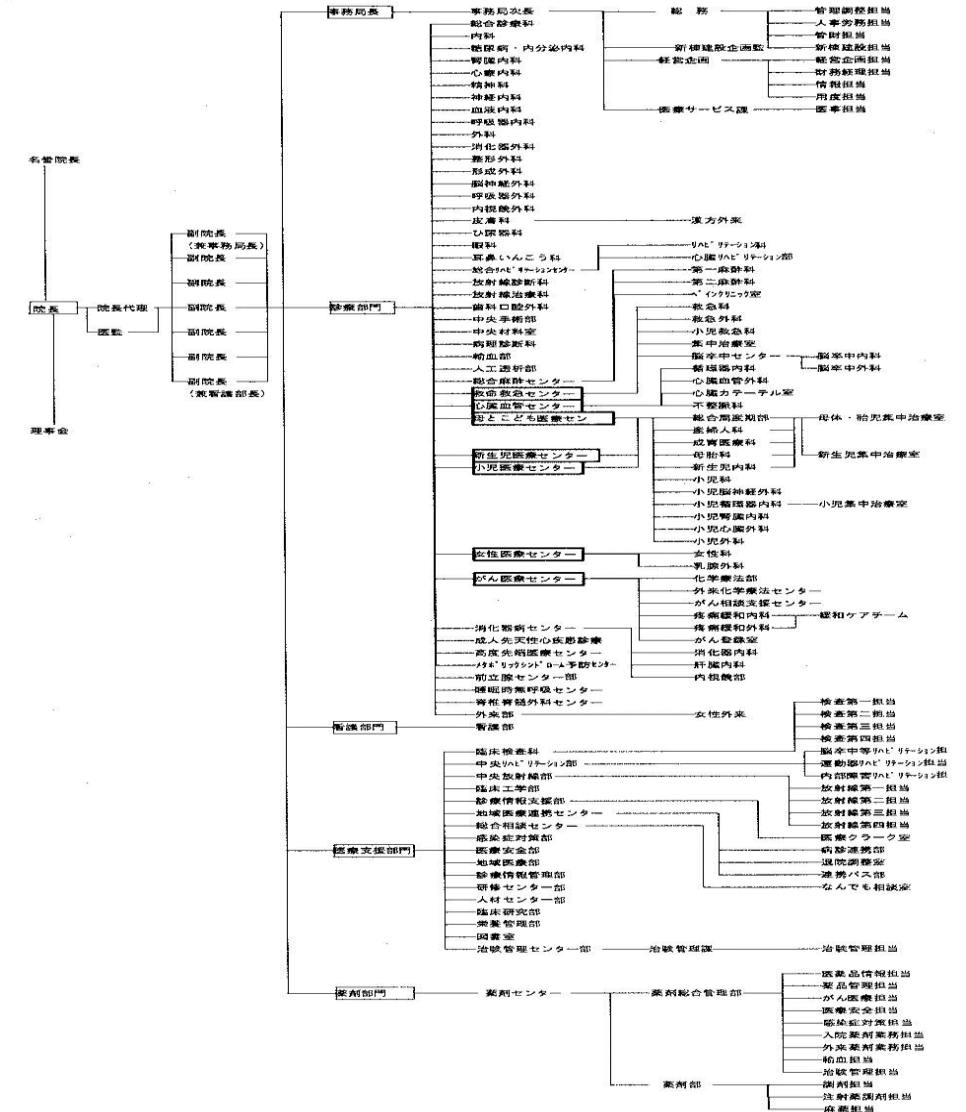
同医療センターの大きな特徴は、高度で先進的で最善の医療を、より効率的に提供するためにチーム医療を中核に据え、急性期を中心とした5つの重点医療（救命救急医療、心臓血管医療、周産期医療とこども医療、女性医療、がん医療）を定め、7つのセンター（救急救命、心臓血管、母とこども、小児、新生児、がん、女性）方式を確立している。

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター
- (2) 所在地 岐阜県岐阜市野一色4-6-1
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員状況

	氏名	役職
理事長	渡辺 佐知郎	センター院長
副理事長	富田 武司	センター副院長兼事務局長
理事	滝谷 博志	センター院長代理
理事	山田 新尚	センター医監
理事	直原 修一	センター副院長
理事	高木 久美子	センター副院長兼看護部長
理事	梅村 将夫	国立大学法人岐阜大学地域科学部客員教授
理事	林 恒之	学校法人佐々木学園園長
監事	小森 正悟	弁護士（小森正悟法律事務所）
監事	川村 一孝	公認会計士・税理士（川村会計事務所）

(5) 組織図

平成24年4月1日現在



(6) 職員数(平成24年4月1日現在)

1, 134人(常勤886人、非常勤248人)

医師194人(常勤151人、非常勤43人)、看護師等608人(常勤530人、非常勤78人)、
コメディカル168人(常勤154人、非常勤14人)、事務等164人(常勤51人、非常勤113人)

2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

岐阜県総合医療センターにおいては、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上、住民の健康と福祉の増進に取り組んできた。

しかし、少子・高齢化の進展、医療技術の高度化・専門化、疾病構造の変化、医療需要の高度化・多様化などにより、近年の医療を取り巻く環境は大きく変化している。

特に、産科・小児科の医師不足、手厚い看護体制の導入に起因する看護師不足、診療報酬のマイナス改定等、医療、病院経営を取り巻く状況は一段と厳しさを増している。

一方、県民の健康への関心はきわめて高く、今後、これまで以上に、質の高い医療サービスを求められることが十分に予想される。

これからも、岐阜県総合医療センターとして、このような、医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応し、県民が必要とする医療をより良くかつ継続的に提供することができるように、地方独立行政法人に移行することとし、この中期目標において、地方独立行政法人岐阜県総合医療センター(以下「法人」という。)の業務運営の目標や方向性を示すこととする。

地方独立行政法人化後は、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かした、自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、二次医療圏はもとより、三次医療圏の中核的な病院として、県下全体を視野にいれて、県民が必要とする安全・安心・良質な医療を提供するとともに、県全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

岐阜県総合医療センターの理念は、「県民に信頼され、患者本位の安全で良質な全人的医療の提供」で、①岐阜県の基幹病院としての急性期を中心とした医療を担当する。②科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に務める。③必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保する。④地域の医療機関や福祉施設との連携を重視する。⑤迅速かつ確実な医療とするとともに、効率的な病院経営に努める⑥医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与することなどを基本方針としている。

3 設置する病院の概要

(1) 病院名称

岐阜県総合医療センター

(2) 所在地

岐阜県岐阜市野一色4-6-1

(3) 沿革

当院は明治42年岐阜衛戍病院として創設。岐阜陸軍病院、国立岐阜病院を経て昭和28年7月岐阜県に移譲され、病床数130床の岐阜県立岐阜病院として開院しました。

昭和28年 7月	岐阜県立岐阜病院として開院	病床数130床
昭和29年10月	総合病院の承認を受ける	病床数259床
昭和43年 2月	救急告示病院に指定	
昭和45年 6月	特殊放射線棟新築	
昭和47年 8月	東病棟新築	病床数370床
昭和49年 3月	厚生省臨床研修病院に指定	
昭和58年 9月	西病棟新築	病床数500床
昭和58年11月	救命救急センター開設	
昭和63年 3月	中央診療・新生児センター棟新築	病床数522床
平成 4年 2月	特殊放射線棟増築	
平成 4年 7月	病院医療総合情報システム導入	
平成 8年 8月	新生児センター3床増床	病床数525床
平成 8年12月	基幹災害医療センターに指定	
平成 9年 4月	院外処方箋実施	
平成 9年 7月	結核病床を廃止し、一般病床に変更	病床数530床
平成11年 8月	クリニカルパス導入	
平成11年11月	25床増床	病床数555床
平成13年 6月	病診連携室(平成14年4月より病診連携部(改組)設置)	
	開放型病床(12床)開設(平成14年1月より27床)	
平成14年 3月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定証取得	
平成14年 4月	女性専用外来開設	
平成14年10月	医療安全部開設	
平成16年 4月	新医師臨床研修病院に指定	
平成16年 4月	臨床研修センター設置	
平成17年 1月	地域がん診療連携拠点病院に指定	

平成18年11月	本館新築。岐阜県総合医療センターへ名称変更。	病床数590床
	岐阜県立病院医療総合情報システム(電子カルテ)導入	
平成19年 8月	岐阜DMAT指定病院に指定 (DMAT:災害派遣医療チームの略)	
平成19年 9月	7対1看護体制を取得	
平成20年 2月	総合周産期母子医療センターに指定	
平成20年 9月	地域医療支援病院に指定	
平成21年 4月	DPC(入院包括診療報酬制度)対象病院に指定	
平成22年 1月	情報交流棟・管理棟改修工事完成	
平成22年 4月	地方独立行政法人岐阜県総合医療センターへ移行	
平成23年 4月	患者駐車場500台の整備	
平成24年 3月	DPC医療機関群II群の適用	
平成24年 4月	へき地医療拠点病院の指定	

(4) その他

① 病床数 一般病床 590床

② 主な役割及び機能

- 高度で先進的な急性期医療センター機能
- 救命救急センターを設置する第三次救急医療施設
- 災害時に県下を対象に指定された基幹災害医療センター及びDMAT指定病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 臨床研修指定病院
- 地域医療支援病院
- へき地医療拠点病院

③ 重点医療

5つの重点医療と7つのセンターによる高度先進医療の提供

- 救命救急医療(救命救急センター)
- 心臓血管疾患医療(心臓血管センター)
- 周産期医療(母と子ども医療センター、小児医療センター、新生児医療センター)
- がん医療(がん医療センター)
- 女性医療(女性医療センター)

④ 診療科目(52)(平成24年4月1日現在)

総合診療科/内科/糖尿病・内分泌内科/循環器内科/不整脈科/腎臓内科/神経内科/消化器内科/肝臓内科/血液内科/呼吸器内科/小児科/小児循環器内科/小児腎臓内科/小児心臓外科/小児外科/小児脳神経外科/新生児内科/外科/消化器外科/整形外科/脳神経外科/心臓血管外科/呼吸器外科/乳腺外科/皮膚科/泌尿器科/眼科/耳鼻いんこう科/リハビリテーション科/放射線診断科/放射線治療科/歯科口腔外科/心療内科/精神科/病理診断科/麻酔科/救急科/小児救急科/疼痛緩和内科/疼痛緩和外科/成人先天性心疾患診療科/臨床検査科/形成外科/母胎科/救急外科/脳卒中内科/脳卒中外科/内視鏡外科/産婦人科/成育医療科/女性科

⑤ 専門外来(30)(平成24年4月1日現在)

膠原病・リウマチ内科外来/フットケア外来/糖尿病生活指導外来/肥満外来/メタボリック生活指導外来/禁煙外来/ペースメーカー外来/不整脈外来/腹膜透析外来/もの忘れ外来/小児アレルギー外来/小児脳波外来/小児発達外来/脊椎外来/リウマチ外来/手の外科外来/女性外来/学童外来/漢方外来/顎関節外来/睡眠時無呼吸外来/不眠外来/頭痛外来/緩和ケア外来/心臓リハビリテーション外来/脚外来/小児神経・重症心身障害児外来/小児神経外来/小児腎臓外来/緩和ケア内科外来

II 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

岐阜県総合医療センターは、岐阜地域の基幹病院として近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療を推進するため、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「周産期医療とこども医療」、「がん医療」、「女性医療」を5つの重点医療として位置づけ、救命救急センターをはじめとする7つのセンターを柱として急性期医療及び政策医療等の県民が必要とし信頼される医療を提供してきた。

より質の高い医療を提供するためには高度先進医療機器の整備が必要であり、主要な高額医療機器の保有状況及び更新時期等について基本的な計画を作成、院内委員会等で確認し、また当センターの診療方針・財務状況等経営的な視点も考慮しつつ新規の高度先進医療機器についても整備していくこととした。

また、当センターの医療を支える医師・看護師・コメディカル等の優秀な医療スタッフを確保するため、医師補助・看護補助体制を強化した長時間勤務の改善や、独立行政法人化のメリットを活かした柔軟な雇用制度に積極的に取り組み、必要な職員の採用を行った。併せて女性職員の働きやすい職場づくりに向け「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」での活動や院内保育の充実など環境整備を実施した。

職員の質の向上については、岐阜大学病院等国内外先進病院への医師の研修派遣者数を増やし医療技術の向上に努めたほか、学会発表・参加をはじめ各種職種における資格取得や研修・セミナーへの参加を積極的に支援した。

患者・住民サービスについては、手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用及び麻酔科医の増員により、手術室稼働率が向上し、手術待ちの改善を図った結果、年間415件の手術件数(総数は6,029件)が増加した。また検査部門では検査技師の配置や予約枠の改善により待ち時間を短縮でき、患者サービスが向上した。

病院環境については、平成18年度完成の本館に続き、平成21年度には情報交流棟・管理棟が完成し、平成22年度は旧病棟等の解体と駐車場を主とする外構工事を実施し、平成23年5月から患者用駐車場500台を整備することで、慢性的な駐車場不足を解消できた。

また、「総合相談センター」に医師及び看護師の他、コンシェルジュを設置し、患者からの各種相談を一体的に受け付け対応するなど、利便性の向上ができた。

「岐阜県総合医療センター運営協議会」を開催し地域住民の代表者との意見交流を図るとともに、患者満足度調査を実施し病院運営に反映した。

診療体制の充実については、従来から患者の需要に的確に対応できる医療を目指しており、「脳卒中内科、脳卒中外科、高血圧科、頭頸部外科、内視鏡外科、成育医療科、物流センター部」等を増設し、54診療科、30の専門外来により各種症例に的確に応えられる体制とした。

近隣医療機関との連携については、その役割分担を明確化し紹介率63.3%、逆紹介率75.7%を達成した。周産期医療の夜間・休日診療には周辺地域の開業医11名の協力を得て、小児救急医療拠点病院としては各務原市医師会10名と連携、また岐阜市からの要請を受け小児夜間輪番にも参加しその役割を果たした。

重点医療については、冒頭で記述したとおり、5つの重点医療を定め7つのセンターを中心として地域の基幹病院としての機能を果たした。

1-2 調査研究事業

提供する医療の質及び県内の医療水準の向上等を図るため、治験事業や調査研究事業に積極的に参画できる体制を整備するため「治験管理センター部」を設置し、受託件数は27件と昨年と同程度となった。

また診療情報の活用として、電子カルテ等診療情報から抽出したDPCデータを分析し、診療科毎での症例検討等に活用した結果、DPC参加病院として対前年DPC収益の113.7%増に結びついた。併せて診療材料についても、購入価格情報を収集し他医療機関のデータとの比較を行い価格交渉に活用した結果、コスト削減ができ効率的な経営に寄与することができた。

保健医療情報の提供については、県民を対象とした公開講座の開催やホームページコンテンツ(各センター、診療科別に症例数・治療内容・治療実績等)の充実、病院広報誌「けんこう」や病診連携部PR誌「すこやか」の発行に努めるなど広く情報発信を行った。

1-3 教育研修事業

質の高い医療従事者の養成として、新しい医療技術の修得・研究のため、国内外に医師を派遣する体制をとり支援した。

医師の卒後臨床研修等の充実について、岐阜大学病院との連携を密にしながら当院独自の研修プログラムをデザインし充実した研修を推進したことで、後期研修医33名の確保につなげることができた。

また、医学生他、薬剤・看護・臨床検査・リハビリ等の学生の実習についても積極的に受け入れており、人材確保の場としても重要な機会であると位置づけ、多忙な業務と並行して取り組んだ。

併せて地域医療への協力・支援として、周辺市消防や自衛隊他の救命救急士養成実習に積極的な支援を行った。

1-4 地域支援事業

地域医療への支援では、高度先進医療機器の共同利用や共同診療の推進を行った。

また、医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援として、県とのへき地医療支援機構運営委託契約による依頼をうけて、高山赤十字病院、県立下呂温泉病院、下呂市立金山病院等への人的支援を実施した。

1-5 災害発生時における医療救護

当センターは県保健医療計画において、県下における「基幹災害医療センター」として指定されており、その機能を発揮するための避難訓練・トリアージ訓練・応急処置訓練・除染訓練・ヘリコプターによる重症患者受け入れを実施した。災害派遣医療チーム（DMAT）の育成について国主催の研修に派遣するなど目標である5班体制に対し引き続き2班体制を確保した。

これらをはじめ住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組みについては、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

2-1 効率的な業務運営体制の確立

理事長の強力なリーダーシップの下、地方独立行政法人化を契機に医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう、弾力的で迅速な診療体制の見直しを進めるとともに、機動的、効率的な病院運営を図るため、役員会議、幹部会議、管理会議等を通じて迅速に課題に取り組み解決してきた。

総務課に新棟建設企画監及び新棟建設担当を設置し、平成27年度完成に向けて、重症心身障がい児病棟の基本設計、実施設計を策定した。

2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善

業務運営の見直しについて、医療機器・医療材料等の効率的な調達を目的として検討委員会を設置し、診療材料の採用、医療機器の購入、薬剤の購入方法について、岐阜県総合医療センターの医療方針に従って、コスト削減努力を強化することを意思決定し、効果的で効率的な医療機器等の調達を実施した。

収入の確保については、「断らない医療」、「高度・先進医療の推進、充実」、「院内外の快適・安心・安全な環境の整備」に取り組んだ結果、県民からの信頼を得られ、外来患者数は、対前年104.2%と増加し、1日平均診療単価も101.2%と増加した。入院患者数は99.7%と減少したものの、1日平均患者数は横ばい状態であり、1日平均診療単価は107.5%と大幅に増加した。また、年間診療額では入院で107.3%、外来で105.5%と昨年度と引き続き大幅増となった。特に入院診療額の伸びには、入院病棟における90.0%（対前年100.6%）の高い病床利用率や手術件数の増が要因のひとつであった。

3 予算、収支計画及び資金計画

3-1 決算（平成24年度）

収入は、昨年度に比較して営業収益における医業収益の大幅な伸び（約11億5千万円）となった一方で、資本収入における大幅な減額（約13億5千万円）となったが、年度計画に対し約12億4千万円の増額となった。また、支出についてはやや計画を下回る執行（約9千万円）であったことから、約16億円の収入超過となった。

○収入関係数値

			H24年度	H24/H23 (%)	H23年度	H23/H22 (%)	H22年度
外来	外来患者数	人	297,289	104.2	285,186	103.9	274,440
	1日平均患者数	人/日	1,213	103.8	1,169	103.5	1,129
	年間診療額	千円	4,318,614	105.5	4,091,729	103.2	3,965,117
	1日平均診療単価	円/日	14,527	101.2	14,348	99.3	14,448
入院	入院患者数	人	192,695	99.7	193,205	100.9	191,389
	1日平均患者数	人/日	528	100.0	528	100.8	524
	年間診療額	千円	13,416,235	107.3	12,508,247	107.9	11,589,615
	1日平均診療単価	円/日	69,624	107.5	64,741	106.9	60,555
	平均在院日数	日	12.5	93.3	13.4	101.5	13.2
	病床利用率	%	90.0	100.6	89.5	100.7	88.9

一方、従前からの課題であった未収金への対応については、その発生防止対策として、クレジットカード決済の導入や入院説明室を設置し医療相談員から入院決定患者に対する入院費用や福祉制度の説明・支援などを積極的に実施し成果を出した。また発生後の未回収困難な収金対策として弁護士法人に委託し徐々にではあるが成果が出てきた。

費用の削減については、DPCデータの分析やコンサルタントを活用し、診療科ヘデータ等をフィードバックするなど病院全体でコスト削減に対する意識を醸成し取り組んだ。

3-2 収支計画に対する実績（平成24年度）

収支計画において、医業収益は約180億円で年度計画の約167億円に対して107.8%の伸びを達成した。

また、経営目標とする各経営比率は全て達成できた。

中期計画については、経常収支比率（経常収益／経常費用）が103.1%と地方独立行政法人化後に初めて100%以上を達成し、人件費比率（給与／医業収益）及び材料費比率（材料費／医業収益）も目標数値を達成できた。

○経営指標比較

	H22 実績	H23 実績	H24 計画	H24 実績	中期計画
経常収支比率	97.2%	98.8%	97.9%	103.1%	100.0%
人件費比率	47.4%	47.2%	47.9%	47.2%	50.0%
材料費比率	29.2%	29.0%	29.6%	27.9%	30.0%

3-3 資金計画に対する実績（平成24年度）

業務活動における収入については、約191億5千万円と年度計画（約181億7千万円）と比較し、医業収益の伸びを受けて、約9億8千万円の増と計画を大きく上回った。

投資活動による収入では、運営費負担金による高額医療機器の購入を自己資金に変更したことで、大幅な減額となった。

財務活動による収入は、年度計画では予定されていなかった運営費負担金約5億6千万円を収入した。

支出では、業務活動による支出のうち、給与費が約5億円、材料費が約1億円の増額となったが、その他の支出が計画額に比較して約4億円の減額となったため、約2億円の増額となった。

また、投資活動による支出が約3億4千万円の減額となった。

この結果、次年度繰越額が約11億9千万円となった。

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

職員の就労環境の向上については、効果的な病院運営のため医師、看護師等各職種がその業務に専念でき、併せて時間外勤務を縮減するため、医療クラーク・看護クラーク等業務補助体制を強化するとともにMSW等の専門職を雇用し、病院職員の勤務環境を改善するとともに、年次有給等休暇の取得を促進し、家庭環境に配慮した取組ができた。

健康管理については、独立行政法人化前の同水準以上の定期健康診断や人間ドック等の検診を実施するとともに産業医設置による健康相談等の健康管理対策を実施した。

また職員の安心な勤務環境づくりとして、院内保育所の24時間保育を実施した。
職員が業務に対する高い意欲を持ち、能力を十分に発揮できる病院づくりのため学会や研修会等への参加について積極的に支援した。

県及び他の地方独立行政法人との連携については、医療従事者の人事交流を行うなど連携を推進した。

医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、高度先進医療機器（内視鏡手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ））の導入、小児救急医療体制を確保するためのP I C U（小児集中治療室）の設置及びカテーテルを使った手術と外科的な手術ができる施設（ハイブリッド手術室）の整備を進めている。（平成25年7月完成予定）

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項については、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

Ⅲ 小項目別自己評価結果一覧表

(→評価書では 小項目ごとの検証結果一覧表)

※一部、項目名を省略して記載しているものや、便宜的に項目名を付しているものがある。

大項目	中項目		小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果
1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組	1-1 診療事業	1-1-1 より質の高い医療の提供	(1) 高度先進医療機器の計画的な更新・整備	01	Ⅲ	
			(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 ・柔軟な職員採用、再雇用制度の構築 ・職員の柔軟な勤務時間体制の検討 ・7：1看護体制の維持 ・医療クラーク等の配置拡充 ・代休取得、週休日振替の徹底 ・院内保育所の24時間保育の実施 ・職員の悩み等相談体制の整備 ・患者相談体制の整備 ・院内暴力に対する警備の強化	02	Ⅳ	
			(3) 優れた医師をはじめとした職員の養成	03	Ⅲ	
			(4) 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進	04	Ⅳ	
			(5) コメディカルに対する専門研修の実施	05	Ⅳ	
			(6) EBMの推進	06	Ⅲ	
			(7) 医療安全対策の充実	07	Ⅲ	
			(8) 院内感染発生原因究明・防止対策体制整備	08	Ⅲ	
	1-1-2 患者・住民サービスの向上	(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ・業務のスピード化、診療時間の弾力化等 ・検査の効率的な実施、検査機器稼働率向上 ・手術の実施体制の再整備	09	Ⅳ		
		(2) 院内環境の快適性向上 ・プライバシーに配慮した院内環境の整備 ・栄養管理の充実、病院給食の改善	10	Ⅲ		
		(3) 医療情報に関する相談体制の整備	11	Ⅲ		
		(4) 患者の視点に立ったより良い医療の提供	12	Ⅳ		
		(5) イフォーム・コンセントの徹底、セカド・オピニオンの推進	13	Ⅲ		
		(6) 満足度調査の病院運営への反映	14	Ⅲ		
		(7) 患者支援システム(メタボリックシンドローム予防センター)の創設	15	Ⅲ		

大項目	中項目		小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果				
	1-1-3 診療体制の充実	(1) 医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実	(2) 多様な専門職の積極的な活用	16	Ⅲ					
				17	Ⅲ					
		1-1-4 近隣医療機関等との役割分担・連携	(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上	(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及	(3) 退院後の療養に関する各種情報の提供	18	Ⅳ			
						19	Ⅲ			
						20	Ⅲ			
		1-1-5 重点的に取り組む医療	(1) 救命救急センター(救命救急医療)	(2) 心臓血管センター(心臓血管疾患医療)	(3) 母と子ども医療センター(周産期医療と子ども医療)	(4) がん医療センター(がん医療)	(5) 女性医療センター	(6) 重症心身障がい児の入院機能及び小児救急	21	Ⅲ
	22								Ⅲ	
	23								Ⅲ	
	24								Ⅲ	
	25								Ⅲ	
	26								Ⅲ	
	1-2 調査研究事業	1-2-1 調査・臨床研究等推進	(1) 治験受託件数の増加・治験センター認定	(2) 臨床研究部(仮称)の創設	27	Ⅲ				
					28	—				
		1-2-2 診療情報活用	(1) 医療総合情報システムの各種データの有効活用	(2) 集積したエビデンスの活用	29	Ⅲ				
	30				Ⅲ					
1-2-3 保健医療情報の提供	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催	(2) 保健医療、健康管理等の情報提供	31	Ⅲ						
			32	Ⅲ						
1-3 教育研修事業	1-3-1 卒後臨床研修等の充実	(1) 質の高い医療従事者の養成	(2) 後期研修医(レジデント)に対する研修等	33	Ⅲ					
				34	Ⅲ					
1-3-2 看護学生、救急救命士等教育	(1) 医学生、看護学生の実習受入れ	(2) 地域医療従事者への研修の実施及び充実	35	Ⅲ						
			36	Ⅲ						
1-4 地域支援事業	1-4-1 地域医療への支援	(1) 地域医療水準の向上	(2) 医師不足、へき地医療機関への人的支援	(3) へき地医療対策の支援	37	Ⅲ				
					38	Ⅳ				
					39	Ⅳ				
	1-4-2 社会的な要請への協力	40	Ⅲ							
1-5 災害等発	1-5-1 医療救護活動の拠点機能	(1) 医療救護活動拠点機能確保、訓練実施	(2) 基幹災害医療センター機能強化	41	Ⅲ					
				42	Ⅲ					

大項目	中項目	小項目	項目通番	自己評価	検証結果	
2 ための取組 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成する	生時の医療救護	1-5-2 他県等の医療救護への協力	(1) 大規模災害発生時のDMA Tの派遣	43	III	
			(2) 訓練・研修への派遣	44	III	
	2-1 効率的な業務運営体制の確立	2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築	45	III	
			(2) 各種業務のIT化の推進	46	III	
			(3) アウトソーシング導入による合理化	47	III	
			(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立	48	III	
		2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用	(1) 弾力的運用の実施	49	III	
			(2) 効果的な体制による医療の提供	50	IV	
			(3) 3法人間人事交流による適正な職員配置	51	III	
		2-1-3	人事評価システムの構築	52	IV	
		2-1-4	事務部門の専門性の向上	53	III	
		2-2 業務運営の直視や効率化による改善	2-2-1 多様な契約手法の導入		54	IV
	2-2-2 収入の確保			(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的活用	55	III
				(2) 未収金の発生防止対策等	56	IV
(3) 退院時の開業医への紹介率の向上			57	IV		
2-2-3	費用の削減	58	III			

大項目	中項目	小項目	項目通番	自己評価	検証結果	
8 営に関する事項 その他県の規則で定める業務運	3	予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画	59	IV		
		短期借入金の限度額	—	—	—	
		重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画	—	—	—	
		剰余金の使途	—	—	—	
		料金に関する事項（※年度計画の対応項目を省略）	—	—	—	
		8-1 職員の就労環境の向上	(1) 最適な勤務環境創出	60	IV	
			(2) 柔軟な勤務形態採用、時間外勤務縮減、休暇取得促進、特別休暇制度新設等	61	III	
	(3) 健康管理対策の充実		62	III		
	(4) 福利厚生施設等の充実		63	III		
	(5) 学会等参加支援、研修・講習会充実		64	III		
	8-2	県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	65	III		
	8-3	医療機器・施設整備に関する事項	66	III		
	8-4	法人が負担する債務の償還に関する事項	67	III		
	8-5	中期目標の期間を超える債務負担	—	—	—	

IV 項目別の状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
 1-1 診療事業
 1-1-1 より質の高い医療の提供

中期目標
 診療事業
 岐阜地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。
 より質の高い医療の提供
 法人が有する医師、看護師、コメディカルや、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。
 特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保等に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。
 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの導入促進に努めること。
 さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、医療安全対策を徹底すること。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項					
01	・高度先進医療機器の計画的な更新・整備 医療環境や県民の医療需要の変化、新たな医療課題に適切に対応するとともに、病院の医療機能の維持・向上を図るため、高速X線CT装置(MDCT)、MR I等の高度先進医療機器を計画的に更新し、整備を進める。	III	III			・高度先進医療機器の計画的な更新・整備 高度X線CT装置(MDCT)、MR I等の高度先進医療機器を計画的に更新し、整備を進めるため、リースの活用も考慮し、中期計画期間中(平成26年度まで)の主要医療機器の更新・整備計画(平成22年度定策定)に基づき、合理的・効率的な更新・整備を進める。	・平成24年度は、診療科・部による中長期計画及び稼働状況等を勘案し、主要医療機器の更新・整備するとともに、導入機器の稼働状況の把握と向上に努め良好な実績を出すことができた。 ・高額な機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案しつつ、当センターの目指す高度医療と併せて人材育成を見据えた視点から、先進医療機器を整備し、医療の先進性と質の向上を図った。 ・代表的な更新・整備機器一覧	III							
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備目的・用途等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)</td> <td>前立腺がんの手術への保険適用となったことにより導入</td> </tr> </tbody> </table>		機器名	整備目的・用途等	内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	前立腺がんの手術への保険適用となったことにより導入				
機器名	整備目的・用途等														
内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	前立腺がんの手術への保険適用となったことにより導入														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																								
						<p>更新・整備を実施した機器の稼働件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3次元マッピングシステム・アブレーションシステム</td> <td>H22</td> <td>15</td> <td>76</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>ガンマカメラ装置</td> <td>H22</td> <td>0</td> <td>1,208</td> <td>2,149</td> </tr> <tr> <td>X線TV装置</td> <td>H22</td> <td>0</td> <td>1,665</td> <td>1,478</td> </tr> <tr> <td>MR I 装置のアップグレード</td> <td>H23</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>4,895</td> </tr> <tr> <td>デジタル式乳房用X線撮影装置</td> <td>H23</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>4,197</td> </tr> <tr> <td>超音波診断装置</td> <td>H23</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>1,820</td> </tr> <tr> <td>内視鏡手術支援ロボット (ダ・ヴィンチ)</td> <td>H24</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>主要検査機器の稼働実績件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PET (1台)</td> <td>外来</td> <td>904</td> <td>998</td> <td>1,288</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>104</td> <td>73</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MR(2台)</td> <td>外来</td> <td>7,412</td> <td>7,994</td> <td>10,105</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>1,663</td> <td>1,694</td> <td>2,168</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">CT(2台)</td> <td>外来</td> <td>21,798</td> <td>22,636</td> <td>24,488</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>5,514</td> <td>5,841</td> <td>6,246</td> </tr> </tbody> </table>				機器名	年度	H22	H23	H24	3次元マッピングシステム・アブレーションシステム	H22	15	76	87	ガンマカメラ装置	H22	0	1,208	2,149	X線TV装置	H22	0	1,665	1,478	MR I 装置のアップグレード	H23	—	0	4,895	デジタル式乳房用X線撮影装置	H23	—	0	4,197	超音波診断装置	H23	—	0	1,820	内視鏡手術支援ロボット (ダ・ヴィンチ)	H24	—	—	2	項目・年度		H22	H23	H24	PET (1台)	外来	904	998	1,288	入院	104	73	66	MR(2台)	外来	7,412	7,994	10,105	入院	1,663	1,694	2,168	CT(2台)	外来	21,798	22,636	24,488	入院	5,514	5,841	6,246			
機器名	年度	H22	H23	H24																																																																																
3次元マッピングシステム・アブレーションシステム	H22	15	76	87																																																																																
ガンマカメラ装置	H22	0	1,208	2,149																																																																																
X線TV装置	H22	0	1,665	1,478																																																																																
MR I 装置のアップグレード	H23	—	0	4,895																																																																																
デジタル式乳房用X線撮影装置	H23	—	0	4,197																																																																																
超音波診断装置	H23	—	0	1,820																																																																																
内視鏡手術支援ロボット (ダ・ヴィンチ)	H24	—	—	2																																																																																
項目・年度		H22	H23	H24																																																																																
PET (1台)	外来	904	998	1,288																																																																																
	入院	104	73	66																																																																																
MR(2台)	外来	7,412	7,994	10,105																																																																																
	入院	1,663	1,694	2,168																																																																																
CT(2台)	外来	21,798	22,636	24,488																																																																																
	入院	5,514	5,841	6,246																																																																																
02	<p>・長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 病院が求められる機能を果たし、県民が必要とする医療をより良くかつ機能的に提供するとともに、職員の最適な勤務環境を創出するため、次の取り組みに努め、医師・看護師等職員の確保と定着化を促進する。</p> <p>・必要な医療従事者等の確保のための柔軟な職員採用、再雇用制度の構築</p> <p>・女性医師をはじめとした職員の柔軟な勤務時間体制の検討（例：15時終了制の導入）</p>	III	III			<p>・長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 必要な医療従事者等を確保するため、職員採用試験の時期・回数をチェックし、効果的な採用に努める。特に、看護師採用は毎月実施する。また、引き続き年俸制を導入し、平成22年度に構築した定年退職者の再雇用制度を適正に運用する。</p> <p>・平成22年度に設置した「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」が行ったアンケートの調査結果の意見を踏まえ、24時間保育や病児病後児保育の実施やワークシェアリングなど労務環境の改善について検討する。</p>	<p>・年度当初看護師の定数562人に対して現員数は530人であり、長時間勤務やローテーション維持並びに年次有給休暇の取得などに支障があり、この状態の改善として募集活動の強化に取り組んだ。</p> <p>・採用試験の4回実施や、看護学校の訪問や各種ガイダンス等への参加、新聞掲載等、雇用確保のため積極的に働きかけ約1.5倍の採用ができた。</p> <p>・年俸を定めて給与を支給する非常勤医師 6名</p> <p>・平成24年度中の病児病後児保育所開始に向けて保育室の設置と運用について検討した。設備環境上の問題もあり早急な開設は困難であるが、新棟内での設置が決定されており、平成27年度開設までの間の対策として、職員に向けて院外の病児病後児保育サービスの紹介等を行っていくこととし、「岐阜県内育児サービス紹介パンフレット」を作成した。</p>	IV																																																																												

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項									
						<p>また、平成27年度新棟内開設予定の病児病後児保育所について具体的に検討することとし、職員のニーズを把握するため「病児・病後児保育所についてのアンケート」を実施した。</p> <p>・委員会設置と開催実績等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>第1回委員会開催(主な議題:①今年度の委員会の取り組みについて、②病児保育の実施について)</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>第2回委員会開催(主な議題:①県内において病児病後児保育事業を実施している主な市町村について、②平成27年度開設予定院内病児病後児保育所図面について)</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>第3回委員会開催(主な議題:①病児病後児保育所開設準備について、②離職対策について)</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>病児・病後児保育所についてのアンケート実施</td> </tr> </tbody> </table>	時期	内容	7月	第1回委員会開催(主な議題:①今年度の委員会の取り組みについて、②病児保育の実施について)	10月	第2回委員会開催(主な議題:①県内において病児病後児保育事業を実施している主な市町村について、②平成27年度開設予定院内病児病後児保育所図面について)	12月	第3回委員会開催(主な議題:①病児病後児保育所開設準備について、②離職対策について)	1月	病児・病後児保育所についてのアンケート実施			
時期	内容																		
7月	第1回委員会開催(主な議題:①今年度の委員会の取り組みについて、②病児保育の実施について)																		
10月	第2回委員会開催(主な議題:①県内において病児病後児保育事業を実施している主な市町村について、②平成27年度開設予定院内病児病後児保育所図面について)																		
12月	第3回委員会開催(主な議題:①病児病後児保育所開設準備について、②離職対策について)																		
1月	病児・病後児保育所についてのアンケート実施																		
	・7:1看護体制(看護職員の二交代制)の維持				・7:1看護体制(看護職員の二交代制)を維持する。	・看護師人数(521→530人)の増員などで、7:1看護体制を6.2%上回る体制を維持できた。													
	・医師事務作業補助(医療クラーク)、病棟・外来看護事務補助(病棟等看護クラーク)等の拡充				<p>・医師事務作業補助職員、看護事務補助職員等を配置拡充する。</p> <p>[医師事務作業補助職員:32人(平成23年度)→39人、看護事務補助職員:20人(平成23年度)→25人]</p>	<p>・医師事務作業補助(医療クラーク)、病棟・外来看護事務補助(病棟等看護クラーク)等を配置拡充した。</p> <p>・医師補助・看護補助体制の拡充状況</p> <p>[医療クラーク:48人、病棟等看護クラーク:26人(平成24年度末)]</p>													
	・代休取得、週休日の振替の徹底				・医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替を徹底する。	<p>・看護師、技師等については、各種機会を通して、代休取得、週休日の振替を徹底した。</p> <p>・衛生・労働安全委員会で、長時間残業職員数を報告し、縮減するよう啓発に努めた。</p> <p>・長時間勤務の医師については、各担当副院長が時間外勤務時間の縮減、及び代休等への振り替えを指導し、併せて過重労働健康相談を実施した。</p> <p>・医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替指導を徹底した。</p>													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
						代休等取得状況 (件数) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代休取得</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>週休日振替</td> <td>457</td> <td>691</td> <td>856</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	H22	H23	H24	代休取得	18	17	35	週休日振替	457	691	856			
区 分	H22	H23	H24																		
代休取得	18	17	35																		
週休日振替	457	691	856																		
	・ 24時間保育の実施				・院内保育所の在り方について職員との意見交流を図り、24時間保育の実施に向け時間延長等を行うなど、ハード・ソフトの両面から環境整備に取り組む。	・平成13年から岐阜県総合医療センター保育施設運営協議会を設置し、医療センターに勤務する職員(非常勤職員含む)の保育事業を継続して実施している。平成24年2月1日からは、24時間保育の受け入れを開始した。 ・通常保育時間 7:45～19:00 (延長保育時間 7:00～22:30) ・院内保育所の活用状況 最少預かり児童数 36人 最大預かり児童数 44人 月平均39.3人 院内保育所の運営状況 (各年度末時点) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>36人</td> <td>44人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>8人</td> <td>8人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	入所者数	36人	44人	38人	保育士数	8人	8人	10人			
	H22	H23	H24																		
入所者数	36人	44人	38人																		
保育士数	8人	8人	10人																		
	・ 職員の悩みなどの相談体制の整備				・ハラスメント防止に向けた職員への周知活動など院内相談窓口の機能を強化する。	・ハラスメントの被害相談窓口を総務課長に一本化、ハラスメント防止に関する啓発ポスターを院内各所に掲示し、周知を図った。															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																	
	<ul style="list-style-type: none"> 患者相談体制の整備 					<ul style="list-style-type: none"> 総合相談センターを設置し、患者からの各種相談に対応できる体制を強化している。 H23年度から総合受付にコンサルジュを設置し、患者相談を含む各種問い合わせに対応できる態勢を整備している。 患者や家族から各種相談を受け付けている（相談内容：がん相談（一般、セカンドオピニオン、退院調整）、がん以外（なんでも相談、意見・苦情、セカンドオピニオン外来、退院調整）。 <p>平成24年度実績件数</p> <table border="1"> <tr> <td>がん相談</td> <td>1,646</td> </tr> <tr> <td> がん相談支援</td> <td>922</td> </tr> <tr> <td> セカンドオピニオン</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td> 退院調整室</td> <td>694</td> </tr> <tr> <td>がん以外の相談</td> <td>7,288</td> </tr> <tr> <td> なんでも相談 （意見・苦情）</td> <td>132 17</td> </tr> <tr> <td> セカンドオピニオン</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td> 退院調整室</td> <td>7,138</td> </tr> <tr> <td>医療相談</td> <td>4,506</td> </tr> </table> <p>※（ ）の数値は、なんでも相談の内数。</p>	がん相談	1,646	がん相談支援	922	セカンドオピニオン	30	退院調整室	694	がん以外の相談	7,288	なんでも相談 （意見・苦情）	132 17	セカンドオピニオン	18	退院調整室	7,138	医療相談	4,506			
がん相談	1,646																										
がん相談支援	922																										
セカンドオピニオン	30																										
退院調整室	694																										
がん以外の相談	7,288																										
なんでも相談 （意見・苦情）	132 17																										
セカンドオピニオン	18																										
退院調整室	7,138																										
医療相談	4,506																										
	<ul style="list-style-type: none"> 院内暴力に対する警備の強化 				<ul style="list-style-type: none"> 「院内暴力対応マニュアル」を周知することで、院内暴力に対する警備強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全に関する研修において、患者や家族への対応についても取り上げ、実施した。 																					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
03	<p>・大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師をはじめとした職員の養成</p> <p>岐阜大学等関係機関との連携の強化や、国内先進病院への医師の研修派遣により、医師をはじめ優れた職員を養成する。また、高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図る。</p>	III	III			<p>・大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師をはじめとした職員の養成</p> <p>岐阜大学病院等国内外先進病院への医師の研修派遣者数を増やし、医師をはじめ優れた職員を養成する。また、高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図る。</p>	<p>・平成24年度医師の研修派遣者数実績5名</p> <p>米国（カルフォルニア大学サンディエゴ校） 神奈川県（横浜労災病院） 東京都（公益財団法人がん研究会 有明病院） 静岡県（静岡県立総合病院） 米国（ハーバード大学医学部 ブリガム・アンド・ウィメンズ病院）</p> <p>・専門医や研修指導医等の取得に向けた研修、学会・セミナー等の派遣実績</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・先進医療視察のための訪米研修 ・第72回米国糖尿病学会議 ・第63回ドイツ脳神経外科学会・日独合同会議 ・第17回世界気管支学会（WCBIP2012） ・ERSAnnual Congress—Vienna2012 ・21st EADV CONGRESS Skin is vital 他 </div>	III														
							<p>医師の研修派遣・受入実績人数</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>6人</td> <td>8人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table>					H22	H23	H24	派遣	1人	3人	5人	受入	6人	8人	6人
	H22	H23	H24																			
派遣	1人	3人	5人																			
受入	6人	8人	6人																			
04	<p>・認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <p>より水準の高い看護を患者及びその家族に提供するため、専門性の高い資格取得に向けた研修制度を検討・整備し、研修センターの機能を強化する。</p>	III	III			<p>・認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <p>より水準の高い看護を患者及びその家族に提供するため、認定看護師や専門看護師の資格取得を目指す看護師、また認定看護管理の資格取得を目指す管理者に対しては、中長期的に研修・講習に参加できる体制を引き続き確保する。</p>	<p>・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的な認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を継続して確保している。</p> <p>・専門看護師数</p> <p>小児看護専門看護師 2名 がん看護専門看護師 1名</p> <p>・認定看護師数</p> <p>がん化学療法看護認定看護師 2名 がん性疼痛看護認定看護師 1名 感染管理認定看護師 2名 救急看護認定看護師 1名</p>	IV														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項					
						小児救急看護認定看護師 1名 摂食・嚥下障害看護認定看護師 1名 皮膚・排泄ケア認定看護師 3名 新生児集中ケア認定看護師 1名 (平成24年度認定登録：2名) ・研修実績									
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定 看護師</td> <td> [長期] ・集中ケア H24.4～H25.3 1名 ・糖尿病看護 H24.4～H25.3 1名 ・がん放射線療法看護 H24.7～H25.2 1名 ※平成25年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 H23:5名→H24:6名 ・実習指導者講習会 H23:1名→H24:2名 ・医療安全研修 H23:5名→H24:2名 </td> </tr> <tr> <td>学会等 参加</td> <td> ・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・その他 看護学会 延べ H23:98→H24:153名 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	認定 看護師	[長期] ・集中ケア H24.4～H25.3 1名 ・糖尿病看護 H24.4～H25.3 1名 ・がん放射線療法看護 H24.7～H25.2 1名 ※平成25年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 H23:5名→H24:6名 ・実習指導者講習会 H23:1名→H24:2名 ・医療安全研修 H23:5名→H24:2名	学会等 参加	・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・その他 看護学会 延べ H23:98→H24:153名			
項目	内容														
認定 看護師	[長期] ・集中ケア H24.4～H25.3 1名 ・糖尿病看護 H24.4～H25.3 1名 ・がん放射線療法看護 H24.7～H25.2 1名 ※平成25年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 H23:5名→H24:6名 ・実習指導者講習会 H23:1名→H24:2名 ・医療安全研修 H23:5名→H24:2名														
学会等 参加	・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・その他 看護学会 延べ H23:98→H24:153名														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																														
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																													
						単位：人（各年度末時点） <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>分野</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">認定</td> <td>がん化学療法</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>9</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>小児看護</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん看護</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>9</td> <td>13</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>			分野	H22	H23	H24	認定	がん化学療法	1	1	2	がん性疼痛	1	1	1	感染管理	1	2	2	救急看護	1	1	1	小児救急	1	1	1	摂食・嚥下障害	1	1	1	皮膚・排泄ケア	3	3	3	新生児集中ケア	-	1	1	計		9	11	12	専門	小児看護	-	1	2	がん看護	-	1	1	計		0	2	3	合計		9	13	15		
	分野	H22	H23	H24																																																																			
認定	がん化学療法	1	1	2																																																																			
	がん性疼痛	1	1	1																																																																			
	感染管理	1	2	2																																																																			
	救急看護	1	1	1																																																																			
	小児救急	1	1	1																																																																			
	摂食・嚥下障害	1	1	1																																																																			
	皮膚・排泄ケア	3	3	3																																																																			
	新生児集中ケア	-	1	1																																																																			
計		9	11	12																																																																			
専門	小児看護	-	1	2																																																																			
	がん看護	-	1	1																																																																			
計		0	2	3																																																																			
合計		9	13	15																																																																			
05	<p>・ コメディカルに対する専門研修の実施 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修制度を検討・整備し、研修センターの機能を強化する。</p>	III	IV		<p>・ コメディカルに対する専門研修の実施 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td>【中央放射線部】</td> <td>希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。</td> </tr> <tr> <td>・放射線治療管理士講習会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S r 8 9 治療の安全取扱講習会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・診療放射線技師実習施設指導者講習会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PET 研修セミナー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・放射線治療セミナー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・その他各種学会、研修会等への参加</td> <td></td> </tr> </table>	【中央放射線部】	希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。	・放射線治療管理士講習会		・S r 8 9 治療の安全取扱講習会		・診療放射線技師実習施設指導者講習会		・PET 研修セミナー		・放射線治療セミナー		・その他各種学会、研修会等への参加		<p>・ 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。 特に、各部門では診療科の体制等に連携し、長期計画を策定したうえで人材の育成に努めた。</p> <p>主な参加講習会等</p> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td>【中央放射線部】</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本放射線技術学会 ・ 放射線治療品質管理士講習会 ・ 日本放射線治療セミナー ・ 日本核医学技術学会 ・ 実習施設指導者等講習会 </td> </tr> <tr> <td>【臨床検査科】</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本臨床衛生検査技師会 ・ 日本超音波学会 ・ 心臓リハビリテーション学会 </td> </tr> </table>	【中央放射線部】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本放射線技術学会 ・ 放射線治療品質管理士講習会 ・ 日本放射線治療セミナー ・ 日本核医学技術学会 ・ 実習施設指導者等講習会 	【臨床検査科】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本臨床衛生検査技師会 ・ 日本超音波学会 ・ 心臓リハビリテーション学会 	IV																																														
【中央放射線部】	希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。																																																																						
・放射線治療管理士講習会																																																																							
・S r 8 9 治療の安全取扱講習会																																																																							
・診療放射線技師実習施設指導者講習会																																																																							
・PET 研修セミナー																																																																							
・放射線治療セミナー																																																																							
・その他各種学会、研修会等への参加																																																																							
【中央放射線部】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本放射線技術学会 ・ 放射線治療品質管理士講習会 ・ 日本放射線治療セミナー ・ 日本核医学技術学会 ・ 実習施設指導者等講習会 																																																																						
【臨床検査科】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本臨床衛生検査技師会 ・ 日本超音波学会 ・ 心臓リハビリテーション学会 																																																																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																															
						<p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞検査士 ・超音波検査士 ・認定輸血検査技師 ・日本糖尿病療養指導士 ・感染制御認定臨床微生物検査技師 ・その他各種学会、研修会等への参加 <p>【薬剤師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん専門薬剤師 ・感染制御専門薬剤師 ・糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 ・その他各種学会、研修会等への参加 <p>【リハビリテーション科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓リハビリテーション指導士 ・摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 ・3学会合同呼吸療法認定士 ・日本糖尿病療養指導士 ・「がんのリハビリテーション研修ワークショップ」課程 ・その他各種学会、研修会等への参加 <p>【管理栄養士】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本糖尿病療養指導士 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床微生物学会 ・認定心電図検査技師講習会 ・日本輸血・細胞治療学会 ・日本心エコー図学会 <p>【薬剤センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本TDM学会学術大会 ・日本病院薬剤師会実務研修会 ・日本薬品情報学会総会 ・日本薬学東海支部合同学術会議 ・医療薬学フォーラム ・がん専門薬剤師集中教育講座 <p>【リハビリテーション科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 ・リハビリテーションのための脳神経科学入門研修会 ・日本高次脳障害学会夏期教育研修 ・岐阜呼吸管理研究会 ・摂食・嚥下障害セミナー <p>【管理栄養士】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本静脈経腸栄養学会 ・日本病態栄養学会年次学術集会 ・全国自治体病院協議会栄養部会研修会 																																		
<p>コメディカル専門研修の参加人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>78 人</td> <td>106 人</td> <td>172 人</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>24 人</td> <td>80 人</td> <td>138 人</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>16 人</td> <td>7 人</td> <td>45 人</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>74 人</td> <td>112 人</td> <td>125 人</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>6 人</td> <td>15 人</td> <td>13 人</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>26 人</td> <td>23 人</td> <td>51 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>224 人</td> <td>343 人</td> <td>544 人</td> </tr> </tbody> </table>								H22	H23	H24	薬剤師	78 人	106 人	172 人	臨床検査技師	24 人	80 人	138 人	臨床工学技士	16 人	7 人	45 人	リハビリ技師	74 人	112 人	125 人	管理栄養士	6 人	15 人	13 人	放射線技師	26 人	23 人	51 人	合 計	224 人	343 人	544 人			
	H22	H23	H24																																						
薬剤師	78 人	106 人	172 人																																						
臨床検査技師	24 人	80 人	138 人																																						
臨床工学技士	16 人	7 人	45 人																																						
リハビリ技師	74 人	112 人	125 人																																						
管理栄養士	6 人	15 人	13 人																																						
放射線技師	26 人	23 人	51 人																																						
合 計	224 人	343 人	544 人																																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証															
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項														
						<ul style="list-style-type: none"> ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 ・病態栄養専門師 ・その他各種学会、研修会等への参加 																		
06	<p>・ EBMの推進 先端医学など新しい医療の研究・研修を行い、EBM (Evidence Based Medicine の略、科学的根拠に基づいた医療) の実践を推進する。 そのためには、各種診療ガイドライン等に基づいたクリニカルパスを作成し、積極的に活用するとともに、バリエーション分析を行いクリニカルパスを必要に応じ改訂し、作成されたクリニカルパスを検証することにより最適化されたクリニカルパスの推進に取り組み、医療の質の改善、向上を図る。また、クリニカルパス推進活動の一環として関係部門のスタッフが参加するクリニカルパス大会を実施し、新規クリニカルパスの紹介、改訂クリニカルパスの報告、DPC関連データの報告などを行う。</p>	III	III			<p>・ EBMの推進 各診療科において各種診療ガイドラインに準じた診療を推進する。現在使用されているクリニカルパスを評価し改善するとともに、全国他施設のデータをベンチマークとして比較して、DPCに対応したより質の高い効率的なクリニカルパスに改訂していく。クリニカルパスに関する研修会を開催し、新規クリニカルパスの登録を推進し、より多くの疾患についてEBMに準じた標準治療が実践されるように働きかけていく。クリニカルパスにおいて、患者の満足度を把握できる方法を検討する。</p>	<p>・ クリニカルパスの見直し・改定を実施した。 平成25年2月に地域医療機関からの参加を得て、クリニカルパス大会を開催し、その後クリニカルパスを整理し、DPCに対応したクリニカルパスを検証・整理した。 ・ 診療科別クリニカルパス数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>クリニカルパス数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外科</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>眼科</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>125</td> </tr> </tbody> </table>	診療科	クリニカルパス数	外科	35	小児科	47	産婦人科	34	整形外科	32	眼科	32	その他	125	III		
診療科	クリニカルパス数																							
外科	35																							
小児科	47																							
産婦人科	34																							
整形外科	32																							
眼科	32																							
その他	125																							
						クリニカルパス種類数・適用数																		
							H22	H23	H24															
						種類数	304 件	303 件	305 件															
						入院患者数	13,899 人	13,798 人	14,690 人															
						適用数	8,337 件	8,363 件	8,929 件															
						適用率	60.0%	60.6%	60.8%															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																															
07	<p>・医療安全対策の充実</p> <p>医療安全管理委員会や医療安全部において、インシデント・アクシデント報告の収集・分析に努め、医療安全対策の充実を図る。また、事故調査委員会において、医療事故の再発防止のため、リスクを回避するための方策を検討し、改善方策の共有化、安全管理に関する研修を充実させるなど、事故予防の徹底と予防意識の醸成を図る。</p>	III	III			<p>・医療安全対策の充実</p> <p>安全な医療が提供できるよう医療安全管理マニュアルの遵守、徹底を図る。各部署で発生するインシデント・アクシデント報告について、根本原因分析（RCA分析）し、安全対策上の課題について支援する。アクシデント発生時には、速やかに事故調査を実施し発生要因を明らかにするとともに、医療事故の再発防止とリスクを回避するための方策を検討し共有化する。安全管理に関する研修会を充実させ、さらなる安全意識の向上を図る。</p>	<p>・必要に応じてマニュアルの見直しや作成を行った。また、マニュアル運用状況について調査や毎月、院内巡視を行い、遵守状況を把握し、徹底できるように努めた。</p> <p>・重大事例につながるようなインシデント報告などは、関連部署と分析を行い再発防止策について検討を行った。</p> <p>・インシデント・アクシデント報告の収集、分析を行った。医療安全部や医療安全管理委員会で検討し、それを看護師長会や管理会議で報告を行った。また、医療安全便りで全職員に発信し情報共有した。</p>	III																																	
<p>各年度におけるインシデント（レベル3 a まで）報告、アクシデント（レベル3 b～）報告件数 平成23年度よりレベル3はa, bに分割して記載</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レベル0</td> <td>327 件</td> <td>286 件</td> <td>336 件</td> </tr> <tr> <td>レベル1</td> <td>1,003 件</td> <td>1,013 件</td> <td>1,182 件</td> </tr> <tr> <td>レベル2</td> <td>713 件</td> <td>849 件</td> <td>800 件</td> </tr> <tr> <td>レベル3 a</td> <td rowspan="2">152 件</td> <td>178 件</td> <td>215 件</td> </tr> <tr> <td>レベル3 b</td> <td>54 件</td> <td>55 件</td> </tr> <tr> <td>レベル4</td> <td>1 件</td> <td>2 件</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>レベル5</td> <td>—</td> <td>2 件</td> <td>1 件</td> </tr> </tbody> </table>								H22	H23	H24	レベル0	327 件	286 件	336 件	レベル1	1,003 件	1,013 件	1,182 件	レベル2	713 件	849 件	800 件	レベル3 a	152 件	178 件	215 件	レベル3 b	54 件	55 件	レベル4	1 件	2 件	1 件	レベル5	—	2 件	1 件				
	H22	H23	H24																																						
レベル0	327 件	286 件	336 件																																						
レベル1	1,003 件	1,013 件	1,182 件																																						
レベル2	713 件	849 件	800 件																																						
レベル3 a	152 件	178 件	215 件																																						
レベル3 b		54 件	55 件																																						
レベル4	1 件	2 件	1 件																																						
レベル5	—	2 件	1 件																																						
<p>インシデント・アクシデント報告件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>2,043 件</td> <td>2,326 件</td> <td>2,533 件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>153 件</td> <td>58 件</td> <td>57 件</td> </tr> </tbody> </table>								H22	H23	H24	インシデント	2,043 件	2,326 件	2,533 件	アクシデント	153 件	58 件	57 件																							
	H22	H23	H24																																						
インシデント	2,043 件	2,326 件	2,533 件																																						
アクシデント	153 件	58 件	57 件																																						
<p>・医療安全意識醸成のため、職員を対象とした医療安全研修会を17回実施した。延べ参加者数は1,672名であった。</p>																																									

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
08	<p>・院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>感染防止委員会や感染症対策部において、感染防止訓練や研修会の実施、院内感染防止マニュアルの周知徹底・啓発を図る。また、ICD（感染症対策専門医）及びICN（感染管理看護師）の資格を持った医療技術者を充実させることにより、院内感染防止体制を整備する。</p>	III	III			<p>・院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>平成23年10月より設置された感染制御チーム（ICT）が中心となり院内感染防止マニュアルを基に各部署等における感染予防対策や感染防止対策の遵守状況を定期的に観察・指導（院内巡視）を実施していく。</p> <p>また、感染防止委員会や感染症対策部を中心に研修会（年2回以上）を開催し、院内感染防止マニュアルの周知徹底・啓発を図ること及び必要に応じて改定（ローリング）を行う。</p>	<p>・ICT（Infection control team）マニュアルに基づき、毎月1～4回各部署の巡視を行った。また、巡視結果は各部署へ報告し改善指導を行った。</p> <p>・感染防止委員会を毎月第3木曜日に開催し、感染症情報、抗菌薬使用状況、標準予防策の遵守状況について報告を行うとともにインフルエンザ対策、結核接触者健診など適時な議題についても報告を行った。</p> <p>・感染防止対策推進責任者と看護感染防止委員会担当者、ICTが一堂に会し、感染防止対策推進者会議（情報を共有し課題を検討する会）を3回開催した。</p> <p>・感染防止にかかる取組として、他医療機関との間で合同カンファレンスを4回開催し、また、相互に実態の評価を行った。</p> <p>・感染防止研修会の開催</p> <p>全職員を対象とした研修を年4回開催したほか、ICTによる出張学習会、学習会を実施し延べ1,782名が参加した。</p>	III		

1-1-2 患者・住民サービスの向上

中期目標	<p>来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の整備、医療情報に関する相談体制の整備・充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。</p> <p>また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れる仕組みを作り、患者・住民サービスの向上を図ること。</p>
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
09	<p>・待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <p>電子カルテ導入によるペーパーレス化、フィルムレス化とともに、他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。また、診療時間帯の延長等の診</p>	IV	IV			<p>・待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <p>他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。また、診療時間帯の延長等の診療時間の弾力化など各種取組により待ち時間の改善に向けた検討</p>	<p>○外来待ち時間対策</p> <p>・検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって院内滞在時間の縮減を図った。</p> <p>① 検査が必要な患者に対しては検査を先に実施。</p>	IV		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																					
	療時間の弾力化など各種取組により待ち時間の短縮を図る。					<p>を行う。</p> <p>② 看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施。</p> <p>③ 入院決定患者に対する入院説明は、入院説明室を設置したことで一元化し、外来診療科での滞在時間の縮小を図った。</p> <p>④ 病診連携による紹介患者については、診察予約時間30分以内の診察を徹底した。</p> <p>平均待ち時間の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17分</td> <td>26分</td> <td>22分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※患者満足度調査（アンケート）結果 ※指標を予約時間と実際に診療を開始した時間までを待ち時間とすることに変更した。</p> <p>・待ち時間の有効活用に向けた取り組みを実施した。</p> <p>① 待ち時間に待合室を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを行うことで、待ち時間を有効に利用していただけよう便宜を図っている。</p> <p>② 診療科に即したパンフレットや図書を配置</p> <p>・待ち時間調査の実施 患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施（9/13）するとともに、システムによる待ち時間の把握を年4回行い、状況の把握に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>待ち時間</th> <th>～30分</th> <th>30～2時間</th> <th>2時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23.8月</td> <td>40.1%</td> <td>54.8%</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>H24.1月</td> <td>51.9%</td> <td>42.8%</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>H25.1月</td> <td>49.4%</td> <td>45.9%</td> <td>4.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※24年度中における待ち時間の解消 30分以内、30分～2時間以内の待ち時間とも若干増加したものの、2時間を超える長時間の待ち時間は減少した：+0.7ポイントの改善</p> <p>・支払い窓口（自動精算機）の増設</p>	H22	H23	H24	17分	26分	22分	待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～	H23.8月	40.1%	54.8%	5.3%	H24.1月	51.9%	42.8%	5.3%	H25.1月	49.4%	45.9%	4.6%			
H22	H23	H24																													
17分	26分	22分																													
待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～																												
H23.8月	40.1%	54.8%	5.3%																												
H24.1月	51.9%	42.8%	5.3%																												
H25.1月	49.4%	45.9%	4.6%																												

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																	
							診療費の支払い待ち時間の短縮のため、診療費自動精算機を増設（1台→3台）し、支払窓口を合計3窓→5窓とした。（精算機含む。）																																				
	・検査の効率的な実施や検査機器の稼働率向上等により、検査待ちの改善を図る。				・検査の効率的な実施や検査機器の稼働率向上等により、検査待ち時間の改善に向けた検討を行う。	○臨床検査部門 ・超音波検査（生理検査部門）技師の配置状況 H23：6.5名 → H24：6.5名 ・超音波検査予約枠の増設、変更 診療科からの要望に対して、予約枠の増設、変更を行なった。 ・超音波検査件数の増加（外来分） H23：13,287件 → H24：14,737件（10.9%増） ・超音波検査待ち時間の推移 <table border="1" data-bbox="1346 662 1832 834"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>60分未満</th> <th>～90分</th> <th>90分超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22.4</td> <td>1,208件</td> <td>97.4%</td> <td>2.3%</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>H23.4</td> <td>1,292件</td> <td>98.6%</td> <td>1.3%</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>H24.4</td> <td>1,505件</td> <td>98.2%</td> <td>1.7%</td> <td>0.1%</td> </tr> </tbody> </table> ・採血室：採血開始時間を8時15分に繰り上げたことにより待ち時間は解消されつつある。 ○中央放射線部門 ・CT検査予約枠変更 CT検査を、2台の装置毎に検査内容で振り分ける予約枠に変更し、より有効的な運用による待ち日数の短縮を図った。 ・MR検査数増加への対応 予約検査待ち日数解消のため、時間外検査枠を増設し待ち日数の短縮を図る。また、MRI装置のアップグレードを行ったことによる検査数が大幅に増加し、待ち日数が短縮された。 ・検査件数 <table border="1" data-bbox="1346 1265 1832 1369"> <thead> <tr> <th></th> <th>CT外来</th> <th>CT入院</th> <th>MR外来</th> <th>MR入院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>22,636</td> <td>5,841</td> <td>7,994</td> <td>1,693</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>24,488</td> <td>6,256</td> <td>10,115</td> <td>2,168</td> </tr> </tbody> </table>		総数	60分未満	～90分	90分超	H22.4	1,208件	97.4%	2.3%	0.3%	H23.4	1,292件	98.6%	1.3%	0.1%	H24.4	1,505件	98.2%	1.7%	0.1%		CT外来	CT入院	MR外来	MR入院	H23	22,636	5,841	7,994	1,693	H24	24,488	6,256	10,115	2,168		
	総数	60分未満	～90分	90分超																																							
H22.4	1,208件	97.4%	2.3%	0.3%																																							
H23.4	1,292件	98.6%	1.3%	0.1%																																							
H24.4	1,505件	98.2%	1.7%	0.1%																																							
	CT外来	CT入院	MR外来	MR入院																																							
H23	22,636	5,841	7,994	1,693																																							
H24	24,488	6,256	10,115	2,168																																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項									
						<p>・検査待ち日数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>10日</td> <td>7日</td> <td>4日</td> </tr> <tr> <td>MR I</td> <td>17日</td> <td>21日</td> <td>14日</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	CT	10日	7日	4日	MR I	17日	21日	14日			
	H22	H23	H24																		
CT	10日	7日	4日																		
MR I	17日	21日	14日																		
	<p>・医師等の配置及び手術室の運用の改善等により、手術の実施体制を再整備し、手術待ちの改善を図る。</p>				<p>・平成23年度は総合麻酔センターを設置し、麻酔医4名から6名へ増員し麻酔科部が強化された。手術件数が平成22年度は5,407件、平成23年度は2月末で5,114件と同時期(平成23年2月末4,913件)で比較すると4.1%増加し、各科の手術待ち患者の解消に努めた。平成24年度は、手術部の問題点の抽出に努め、手術枠の効率的な運用を考え実施することで、手術件数を増大させ(目標値5,800件)手術待ち時間の改善につなげる。</p>	<p>・手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用、手術機材のキット化(あらかじめセットしている状態)を促進したことによる準備期間の短縮及び麻酔科医の増員により、手術室稼働率の向上を図り手術待ち時間を短縮できた。</p> <p>時間内手術室稼働率・総手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率</td> <td>55.2%</td> <td>56.9%</td> <td>62.9%</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>5,407件</td> <td>5,614件</td> <td>6,029件</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	稼働率	55.2%	56.9%	62.9%	件数	5,407件	5,614件	6,029件			
	H22	H23	H24																		
稼働率	55.2%	56.9%	62.9%																		
件数	5,407件	5,614件	6,029件																		
10	<p>・院内環境の快適性向上 患者のプライバシー確保に配慮した院内環境の整備に努め、病室、待合室、トイレ等を計画的に改修・補修し、快適な院内環境を整備する。</p>	III	III		<p>・院内環境の快適性向上 ・患者や来院者により快適な環境を提供するため、次期発注工事の内容についても検討を行い、ニーズに合った院内環境の整備に努め、院内施設の案内表示等の改善や病室、待合室、トイレ等を計画的に改修・補修し、快適な院内環境を整備する。 ・患者ニーズを踏まえ、院内売店の飲食物・アメニティグッズ等の種類・量を充実させる。</p>	<p>・患者や来院者により快適な環境を提供するため、ニーズに合った院内環境の整備に努め、院内施設の案内表示等の改善や病室、待合室にテレビを設置(文字放送)するなど、快適な院内環境を整備した。</p>	III														
	<p>・治療効果を上げるための栄養管理の充実と患者の嗜好に配慮した選択メニューの拡充等、病院給食の改善を図る。</p>				<p>・治療効果を上げるための栄養管理を充実し、患者の嗜好に配慮した選択メニューを拡充するため、患者サービス満足度調査を実施し、病院給食の改善を図る。</p>	<p>・平成24年度嗜好調査を実施し、その結果を日々の給食管理に反映した。 調査内容：食欲、主・副食の状況(喫食状況、残さの理由、炊き方・味付け、味、種類等)、満足度、自由意見等 実施日：平成24年12月19日 対象者：一般食患者105人(回答60人) 特別食患者111人(回答63人)</p> <p>・治療効果を上げるため栄養管理の充実を図った。 平成24年4月より、入院時の病名のチェック体制を強化し、病態に合致した食種の食事を提供するように努めた。その結果、特別治療食の割合が、前年の33%から、40%に増加し、治療に貢献できた。</p>															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
11	<p>・医療情報に関する相談体制の整備 カルテ開示等の個人の診療情報やその他情報公開請求時等における医療情報提供の環境を整備する。また、患者相談室の更なる活用を図り、患者及びその家族への情報開示についても適切に対応する。</p>	III	III			<p>・医療情報に関する相談体制の整備 情報の取り扱いに対する研修会、講演会を開催し、個人の診療情報やその他情報の取り扱いに対する教育を行う。これにより、カルテ開示等の個人の診療情報やその他情報公開請求時等における医療情報提供の環境を向上させる。また、患者相談室の更なる活用を図り、患者及びその家族への情報開示についても適切に対応する</p>	<p>・院内に勤務する派遣職員に対する研修の中で、個人情報の取り扱いに関する項目を設け、個人情報保護担当職員による説明を行った。 ・患者本人又は家族からの請求により、72件の個人情報を開示した。</p> <p>相談件数</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H23</td> <td>H24</td> </tr> <tr> <td>医療相談</td> <td>5,638</td> <td>4,506</td> </tr> </table>		H23	H24	医療相談	5,638	4,506	III								
	H23	H24																				
医療相談	5,638	4,506																				
12	<p>・患者の視点に立ったより良い医療の提供 Humanity（人間性を大切にしたい）に基づいた医療の実践を病院の理念の1つとし、県民に信頼され、患者の立場に立ったより良い医療を提供するとともに、①平等に安全で良質な医療を受ける権利、②十分な説明の下に患者自身の医療を決定する権利、③個人のプライバシーを守られる権利を岐阜県総合医療センターの患者の権利とし、院内に掲示するとともに、病院案内、入院案内、病院ホームページに掲載し、情報を提供する。</p>	III	III			<p>・患者の視点に立ったより良い医療の提供 Humanity（人間性を大切にしたい）に基づいた医療の実践を病院の理念の1つとし、県民に信頼され、患者の立場に立ったより良い医療を提供するとともに、①平等に安全で良質な医療を受ける権利、②十分な説明の下に患者自身の医療を決定する権利、③個人のプライバシーを守られる権利を岐阜県総合医療センターの患者の権利とし、院内に掲示するとともに、病院案内、入院案内、病院ホームページに掲載し、情報を提供する。</p>	<p>・本館1階ロビーに、患者の権利、個人情報保護に関する方針を掲示し、同内容を病院ホームページにも掲載した。 ・外部先進病院から講師を招へいし、医療安全に関する研修を実施した。 タイトル：「全職員で取り組む医療安全～情報の共有が患者の安全を高める～」 開催時期：平成24年5月 参加者数：205名</p> <p>タイトル：「医療者が使える基礎的法知識+患者家族対応力」 開催時期：平成25年2月 参加者数：192名</p> <p>カルテ開示請求件数・開示件数</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> </tr> <tr> <td>請求件数</td> <td>59</td> <td>56</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>59</td> <td>56</td> <td>72</td> </tr> </table>		H22	H23	H24	請求件数	59	56	72	開示件数	59	56	72	IV		
	H22	H23	H24																			
請求件数	59	56	72																			
開示件数	59	56	72																			
13	<p>・インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 必要な情報を患者が理解できる言葉で、提供、説明し、患者自らの判断で治療方針等を決定できるようインフォームド・コンセントを徹底し、患者等が検査や治療を受けるにあたり、より良い判断をするために、主治医以外の専門医に意見やアドバイスを求めた場合に適切に対応できるように取り組むことで、セカンドオピニオンの推進を図る。</p>	III	III			<p>・インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 治療にあたって必要な情報を患者が理解できる言葉で提供、説明し、十分な助言のもとに自分自身の医療を決定できるようにインフォームド・コンセントを徹底させる。説明の場には、可及的に医療従事者が同席する。治療や検査を受けるにあたり、より良い判断をするために、他病院のセカンドオピニオンを受けやすい環境を整備する。当センターのセ</p>	<p>・平成24年2月に取得（更新）した病院機能評価を契機に患者にわかりやすい説明が行えるよう各診療科が管理する「同意書」（506件）の内容を点検し、項目等について統一化することで、インフォームド・コンセントの徹底を図った。 ・H24年度においては、同意書等を新たに39件追加したほか、1件について内容の見直しを行った。</p>	III														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
						カンドオピニオン外来を充実させ相談件数の増加を図る。	・セカンドオピニオン実施件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>64</td> <td>41</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table>					H22	H23	H24	外来受入	21	21	26	他院紹介	64	41	47										
	H22	H23	H24																													
外来受入	21	21	26																													
他院紹介	64	41	47																													
14	<p>・患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映</p> <p>運営の透明性を図り、地域住民から信頼が得られる病院とするため、病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する意見を運営・管理に反映させるものとする。</p>	III	III		<p>・患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映</p> <p>運営の透明性を図り、患者のみならず地域住民からも信頼が得られる病院とするため、病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する満足度調査を実施し、運営・管理に反映させるものとする。</p>	<p>・岐阜県総合医療センター運営協議会を開催し、地域の代表者等と意見交流を図り、病院運営に反映した。</p> <p>委員：地元自治会、青年団、老人クラブ、教育関係者、医師会、社会福祉協議会、経営者、保健所、消防署の代表者で構成</p> <p>開催：平成24年12月、平成25年3月</p> <p>主な議題：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県総合医療センターの概要、運営状況（収支）、新棟整備計画について ・法人関係新聞報道記事等について <p>・当センターの新たな取り組みについて、実際の現場を委員にご覧いただいた。</p>	III																									
15	<p>・患者支援システム（メタボリックシンドローム予防センター）の創設</p> <p>患者支援システムは、①生活指導教室、②専門外来（女性外来、禁煙外来）、③緩和医療、④スキンケア（ストーマ、褥瘡（じょくそう））・NST（栄養サポートチーム）、⑤看護外来により構成し、特にメタボ予防を目的とした「患者教育」を実施し再発防止に取り組む。なお、再診料、指導管理料など保険医療にも裏付けされた医療を実施し、医療計画と連携した患者支援システムとする。</p>	III	III		<p>・患者支援システム（メタボリックシンドローム予防センター）の創設</p> <p>①生活指導教室、②特殊外来（女性外来、漢方外来、メタボリック生活指導外来、禁煙外来、もの忘れ外来、頭痛外来など）、③緩和医療、④服薬指導、⑤栄養指導、栄養サポートなど診療に患者自身が参加し、患者が守るべき療養上の課題について学ぶ機会を多方面から提供する。なお、再診料、指導管理料など保険医療にも裏付けされた医療を実施し、医療計画と連携した患者支援システムとする。また、⑥総合相談センター（平成23年度設置）による患者が相談しやすい体制をつくる。</p>	<p>・メタボリックシンドローム予防センターを中心とした「患者教育」に重点をおいた生活習慣病の予防（患者支援システム）の構築を目指した。</p> <p>① メタボリック予防センター診療実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メタボ外来</td> <td>370人</td> <td>661人</td> <td>325人</td> </tr> <tr> <td>メタボ看護外来</td> <td>178人</td> <td>137人</td> <td>53人</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 生活指導教室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>糖尿病教室</td> <td>44人</td> <td>87人</td> <td>85人</td> </tr> <tr> <td>肝臓病教室</td> <td>—</td> <td>21人</td> <td>41人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	メタボ外来	370人	661人	325人	メタボ看護外来	178人	137人	53人		H22	H23	H24	糖尿病教室	44人	87人	85人	肝臓病教室	—	21人	41人	III	
	H22	H23	H24																													
メタボ外来	370人	661人	325人																													
メタボ看護外来	178人	137人	53人																													
	H22	H23	H24																													
糖尿病教室	44人	87人	85人																													
肝臓病教室	—	21人	41人																													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																									
						③ 専門外来 ○女性外来 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初診</td> <td>118 人</td> <td>176 人</td> <td>192 人</td> </tr> <tr> <td>再診</td> <td>1,001 人</td> <td>1,436 人</td> <td>1,758 人</td> </tr> </tbody> </table> ○禁煙外来 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初診</td> <td>29 人</td> <td>64 人</td> <td>68 人</td> </tr> <tr> <td>受診者</td> <td>105 人</td> <td>300 人</td> <td>290 人</td> </tr> <tr> <td>禁煙成功</td> <td>10 人</td> <td>41 人</td> <td>42 人</td> </tr> </tbody> </table> ④ 褥瘡ケア <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内発生件数</td> <td>113 件</td> <td>128 件</td> <td>133 件</td> </tr> <tr> <td>院内発生率(%)</td> <td>0.575</td> <td>0.654</td> <td>0.652</td> </tr> </tbody> </table> 看護外来 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フットケア</td> <td>161 人</td> <td>172 人</td> <td>212 人</td> </tr> <tr> <td>在宅指導</td> <td>345 人</td> <td>312 人</td> <td>145 人</td> </tr> </tbody> </table> NST 依頼件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>131 件</td> <td>264 件</td> <td>421 件</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	初診	118 人	176 人	192 人	再診	1,001 人	1,436 人	1,758 人		H22	H23	H24	初診	29 人	64 人	68 人	受診者	105 人	300 人	290 人	禁煙成功	10 人	41 人	42 人		H22	H23	H24	院内発生件数	113 件	128 件	133 件	院内発生率(%)	0.575	0.654	0.652		H22	H23	H24	フットケア	161 人	172 人	212 人	在宅指導	345 人	312 人	145 人	H22	H23	H24	131 件	264 件	421 件			
	H22	H23	H24																																																																
初診	118 人	176 人	192 人																																																																
再診	1,001 人	1,436 人	1,758 人																																																																
	H22	H23	H24																																																																
初診	29 人	64 人	68 人																																																																
受診者	105 人	300 人	290 人																																																																
禁煙成功	10 人	41 人	42 人																																																																
	H22	H23	H24																																																																
院内発生件数	113 件	128 件	133 件																																																																
院内発生率(%)	0.575	0.654	0.652																																																																
	H22	H23	H24																																																																
フットケア	161 人	172 人	212 人																																																																
在宅指導	345 人	312 人	145 人																																																																
H22	H23	H24																																																																	
131 件	264 件	421 件																																																																	

1-1-3 診療体制の充実

中期 目標	医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実や見直し、若しくは専門外来の設置や充実など診療体制の整備・充実を図ること。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
16	<p>・患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>地域完結型の病院として、「病診連携室」を充実させ、地域の医療機関、福祉施設をつなぐ架け橋として、患者やその家族が安心して医療が受けられる「地域に開かれた病院」としての機能を果たす。</p>	III	III			<p>・患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>地域の医療機関、福祉施設をつなぐ架け橋として、患者やその家族が安心して医療が受けられる「地域に開かれた病院」としての機能を果たす。そのため、「病診連携部」「退院調整室」「連携バス部」「セカンドオピニオン外来」の機能を充実させ、患者動向や医療需要を把握し、診療体制の整備・充実を図る。</p>	<p>・患者動向や医療需要の変化に対応した組織改編等に積極的に取り組んだ。</p> <p>○新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客員部長の新設 (H24. 4. 1) ・脳卒中内科の新設 (H24. 4. 1) ・脳卒中外科の新設 (H24. 4. 1) ・内視鏡外科の新設 (H24. 4. 1) ・成育医療科の新設 (H24. 4. 1) ・薬剤センター―薬剤総合管理部の新設 (H24. 4. 1) ・新棟建設企画監・新棟建設担当の新設 (H24. 4. 1) ・高血圧科の新設 (H24. 6. 1) ・病理センター―病理診断連携科の新設 (H24. 6. 1) ・頭頸部外科の新設 (H24. 7. 1) ・物流管理センター部の新設 (H24. 9. 1) <p>○変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産科→産婦人科へ名称変更 (H24. 4. 1) ・婦人科→女性科へ名称変更 (H24. 4. 1) ・研修人材センター部→研修センター部、人材センター部に分割 (H24. 4. 1) 	III		
17	<p>・多様な専門職の積極的な活用</p> <p>高度な専門性を有する職員の外部からの登用にあたり、その専門性に応じた処遇が可能となる人事給与制度の構築を図る。</p> <p>また、定年を迎えた職員のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる医師等医療従事者を活用する再雇用制度の構築を図る。</p>	III	III			<p>・多様な専門職の積極的な活用</p> <p>高度な専門性を有する医師等職員の外部からの登用にあたり、その専門性に応じた処遇が可能となる人事給与制度の更なる活用を図る。</p> <p>また、平成22年度に構築した定年退職者の再雇用制度を活用し、定年を迎えた職員のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる医師等医療従事者の雇用の充実を図る。</p>	<p>・医師については年俸制による雇用制度を構築し、高度な専門性を有する読影医（放射線診断科）、精神科医（精神科）を登用した。</p> <p>放射線科医師 H23：3名 → H24：3名</p> <p>麻酔科医師 H23：7名 → H24：7名</p> <p>・非常勤職員の再雇用制度を構築し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる医師（麻酔科医）を再雇用し、更なる充実を図った。</p>	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						<p>・平成23年4月設置された総合相談センターでは総合案内・相談受付の窓口となり、各種相談を適切な部署、専門職員が相談を受ける仕組みを構築したが、この仕組みをよりわかりやすく充実させる。</p>	<p>・総合相談センター（コンシェルジュ）を常時2名配置し、多岐にわたる相談窓口の一元化を図るとともに、苦情についても各部門に担当者を選任し、たらい回しとしない体制を構築している。</p> <p>・相談業務と併せて介助者を配置し、肢体不自由者の受け入れ体制を整備した。</p>			

1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携

中期目標	<p>近隣の医療機関等との役割分担を明確にするとともに病病連携・病診連携を一層推進し、地域の実情に応じて岐阜地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を実施すること。さらに、退院後の療養に関する各種情報を提供することにより、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。</p>
------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
18	<p>・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>近隣の医療機関との役割分担の明確化と地域の医療機関との連携及び協力体制の充実を図るとともに、「地域医療支援病院」として、紹介率（40%以上）、逆紹介率（60%以上）の強化をめざし、また「病病連携」や「病診連携」をさらに推進する。</p>	IV	III			<p>・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>本院と地域の病院・診療所がそれぞれの特性を生かしながら機能分担し、患者が病状に即した医療を受診できるよう地域全体で協力し、ケアしていくため、地域の医療機関との連携及び協力体制の更なる充実を図るとともに、「地域医療支援病院」として、紹介率（50%以上）、逆紹介率（70%以上）の安定的な維持をめざす。</p>	<p>・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率は年度計画を達成し、地域医療支援病院として、地域医療の中核機能を果たした。</p> <p>紹介率・逆紹介率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>61.5%</td> <td>61.8%</td> <td>63.3%</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数</td> <td>13,330件</td> <td>13,538件</td> <td>14,524件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>73.4%</td> <td>72.7%</td> <td>75.7%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数</td> <td>16,937件</td> <td>16,867件</td> <td>18,488件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地域医療連携推進協議会の開催</p> <p>当院の地域医療の現状と医療連携に係る問題点等について意見交換を実施した。</p> <p>第1回：平成24年6月13日 第2回：平成24年9月11日 第3回：平成24年12月10日 第4回：平成25年3月4日</p>		H22	H23	H24	紹介率	61.5%	61.8%	63.3%	紹介実施件数	13,330件	13,538件	14,524件	逆紹介率	73.4%	72.7%	75.7%	逆紹介実施件数	16,937件	16,867件	18,488件	IV		
	H22	H23	H24																											
紹介率	61.5%	61.8%	63.3%																											
紹介実施件数	13,330件	13,538件	14,524件																											
逆紹介率	73.4%	72.7%	75.7%																											
逆紹介実施件数	16,937件	16,867件	18,488件																											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																
19	<p>・地域連携クリニカルパスの整備普及 作成されたクリニカルパスの有効性を検証し、達成率を向上させる。また、既に進行中の急性心筋梗塞、脳卒中、大腿骨頸部骨折等の連携パスについては、更なる改善・充実を図る。5大がん、生活習慣病などについても、連携パスの作成・普及に努めるものとする。</p>	III	III			<p>・地域連携クリニカルパスの整備普及 作成されたクリニカルパスの有効性を検証し、達成率を向上させる。また、既に進行中の急性心筋梗塞、脳卒中、大腿骨頸部骨折、ウイルス性肝炎等の連携パスについては、更なる改善・充実を図るとともに平成23年から運用が開始された5大ガン(胃ガン、大腸ガン、肝臓ガン、肺ガン、乳ガン)の地域連携パスについても、大学病院等関係医療機関と共同で取り組む。また、岐阜地域医師会連携パス機構による連携パスの院内での普及、活用に努め、適用率を高める。</p>	<p>・連携パス部では、院内への周知、定期的なモニタリングを行い、院内外の相談窓口となり連絡調整を行った。 ・地域の医師会、大学病院を中心として、平成24年度は下記のとおり会合を持ち、各パスのワーキングへの出席時に問題提起し、改善へとつなげた。</p> <p>・地域連携パスの検証状況(平成24年度学習会開催数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>胃がん</td><td>1</td></tr> <tr><td>大腸がん</td><td>1</td></tr> <tr><td>肝がん</td><td>1</td></tr> <tr><td>乳がん</td><td>1</td></tr> <tr><td>脳卒中</td><td>3</td></tr> <tr><td>肝炎</td><td>1</td></tr> <tr><td>急性心筋梗塞</td><td>3</td></tr> <tr><td>大腿骨頸部骨折</td><td>6</td></tr> <tr><td>泌尿器</td><td>1</td></tr> <tr><td>コーディネータ検討会</td><td>6</td></tr> <tr><td>専門部会・運営委員会</td><td>7</td></tr> </tbody> </table> <p>・岐阜地域連携クリニカルパスは現在21種類あり、当病院での運用実績は以下のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携パス名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>急性心筋梗塞</td><td>10件</td><td>6件</td><td>19件</td></tr> <tr><td>大腿骨頸部骨折</td><td>160件</td><td>91件</td><td>90件</td></tr> <tr><td>脳卒中</td><td>72件</td><td>203件</td><td>221件</td></tr> <tr><td>胃癌ステージ1</td><td>5件</td><td>28件</td><td>21件</td></tr> <tr><td>胃癌ステージ2・3</td><td>2件</td><td>3件</td><td>4件</td></tr> <tr><td>肝がん</td><td>2件</td><td>1件</td><td>0件</td></tr> <tr><td>大腸がん</td><td>11件</td><td>46件</td><td>34件</td></tr> <tr><td>乳がん</td><td>—</td><td>13件</td><td>7件</td></tr> <tr><td>肝炎</td><td>—</td><td>2件</td><td>2件</td></tr> </tbody> </table>	区分	回数	胃がん	1	大腸がん	1	肝がん	1	乳がん	1	脳卒中	3	肝炎	1	急性心筋梗塞	3	大腿骨頸部骨折	6	泌尿器	1	コーディネータ検討会	6	専門部会・運営委員会	7	連携パス名	H22	H23	H24	急性心筋梗塞	10件	6件	19件	大腿骨頸部骨折	160件	91件	90件	脳卒中	72件	203件	221件	胃癌ステージ1	5件	28件	21件	胃癌ステージ2・3	2件	3件	4件	肝がん	2件	1件	0件	大腸がん	11件	46件	34件	乳がん	—	13件	7件	肝炎	—	2件	2件	III		
区分	回数																																																																									
胃がん	1																																																																									
大腸がん	1																																																																									
肝がん	1																																																																									
乳がん	1																																																																									
脳卒中	3																																																																									
肝炎	1																																																																									
急性心筋梗塞	3																																																																									
大腿骨頸部骨折	6																																																																									
泌尿器	1																																																																									
コーディネータ検討会	6																																																																									
専門部会・運営委員会	7																																																																									
連携パス名	H22	H23	H24																																																																							
急性心筋梗塞	10件	6件	19件																																																																							
大腿骨頸部骨折	160件	91件	90件																																																																							
脳卒中	72件	203件	221件																																																																							
胃癌ステージ1	5件	28件	21件																																																																							
胃癌ステージ2・3	2件	3件	4件																																																																							
肝がん	2件	1件	0件																																																																							
大腸がん	11件	46件	34件																																																																							
乳がん	—	13件	7件																																																																							
肝炎	—	2件	2件																																																																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
20	<p>・地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 地域の療養機関との連携及び協力の体制の充実を図り、「病診連携」をさらに推進させる。また、退院調整室の機能強化を図る。</p>	III	III			<p>・地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 MSWの増員(2名)を図るとともに、地域のかかりつけ医や訪問看護師、介護支援専門員等との連携及び協力の体制の充実を図るため、合同カンファレンスを開催するなど、適宜連絡調整を図る。また、病診連携部や退院調整室等の現状を分析し、機能強化を図るなど「病診連携システム」をさらに推進させる。</p>	<p>・「患者様の生活を支援するために、地域の関連機関と協力し看護ができるように努めます」を目標に実践した。 ○病診・病病連携の現状及び病診連携システムの取り組み状況 ・開放型病床(100床)の利用状況(利用率)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>66.3%</td> <td>48.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・オープン病床クリニカルミーティングの開催 開催日：平成25年2月15日(金) 参加者：76名(うち院外：34名) ・退院調整件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,084件</td> <td>1,125件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成22年4月から介護支援連携を実施し、近隣の居宅介護事業者及び地域包括支援センターと連携を図った。 ・介護施設・ケアマネージャからの連携連絡票数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>254件</td> <td>255件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・MSWの新規採用等による増員等(看護師からMSWへの振替)により、退院調整業務について効率化と機能強化を図った。 退院調整看護師 H23：2人 →H24：2人 退院調整MSW H23：2人 →H24：7人 ・当院の医師、MSW、看護師と退院後の在宅医療を担う医療機関の看護師や訪問看護ステーションの看護師とともに退院前合同カンファレンスを行っている。 ・また、退院後に介護サービスの利用が見込まれる患者に対して、当院の看護師とケアプランを作成するケアマネージャと連携して指導を行っている。</p>	H23	H24	66.3%	48.9%	H23	H24	1,084件	1,125件	H23	H24	254件	255件	III		
H23	H24																					
66.3%	48.9%																					
H23	H24																					
1,084件	1,125件																					
H23	H24																					
254件	255件																					

1-1-5 重点的に取り組む医療

中期目標	<p>高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるが県民が必要とする医療を、岐阜県総合医療センターとして重点的に実施すること。</p> <p>特に、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「周産期医療」、「がん医療」、「女性と子ども医療」を、岐阜県総合医療センターにおける重点医療として位置付け、さらに充実・強化して高度で先進的な医療を提供すること。</p> <p>なお、子ども医療については、救急医療体制の強化、高度・専門的な医療を必要とする重症心身障害児の入所施設の整備など、拠点としての機能の一層の充実を図ること。</p>
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項												
21	<p>・救命救急センター（救命救急医療）</p> <p>全診療科が対応し、循環器系疾患、外傷を始め、広範囲熱傷、指肢切断、急性薬物中毒などの特殊な症例を含めすべての救命救急疾患に対し即対応できるよう、更なる救命救急センターへの機能の強化と充実を図る。また、脳卒中を主とする脳血管障害には、神経内科・脳神経外科が対応する。</p>	III	III			<p>・救命救急センター（救命救急医療）</p> <p>岐阜地区の中核病院の救命救急センターとして、平成 22 年度に改定された救命救急センター運営マニュアルに基づき、特殊な症例を含めすべての救命救急疾患（精神科疾患を除く）に対し全診療科が対応し、二次・三次救急患者を 24 時間体制で受け入れ、安心して受診できる体制を確保し、更なる救命救急センターへの機能の強化と充実を図り、「断らない医療」を目指す。</p>	<p>・岐阜地区の中核病院の救命救急センターとして精神科疾患を除く全ての救急疾患を対象に、24 時間体制で対応している。また、平成 22 年 6 月からは、地域の医療機関との連携による体制をとっている。とくに二次、三次の重症症例及び、複数診療科に係る重症症例を受け入れ救急医療の完結を目指している。臨床検査、放射線検査を常時可能とし、救急関係診療科は 24 時間呼び出し体制を採り、緊急手術も常時行い得る体制を採っている。各種の高度診断用機器、治療用機器を導入し、高度な医療が提供できるように努めている。日本救急医学会認定医指定施設、基幹災害医療センターに指定されている。</p> <p>・外来担当医は内科系、外科系、小児科系各々 1 名で 24 時間体制で対応している。また、夜間（17:15～翌 8:30）・休日は地域の医療機関と連携し、外科及び内科の医師の派遣を受けるとともに研修医 3 名が診療に参加している。入院診療は各診療科部長の責任下の主治医制をとっている。</p> <p>麻酔科医、産婦人科医、内科系および外科系の専門診療科医：オンコール体制により常時専門的診療および手術に対応できる体制を採っている。手術室看護師も当直看護師 2 名に加えオンコール体制をとっている。</p>	III														
							<p>・病床利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延入院患者数</td> <td>8,483 人</td> <td>8,182 人</td> <td>8,633 人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>77.5%</td> <td>74.5%</td> <td>78.8%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H22	H23	H24	延入院患者数	8,483 人	8,182 人	8,633 人	病床利用率	77.5%	74.5%	78.8%			
年度	H22	H23	H24																			
延入院患者数	8,483 人	8,182 人	8,633 人																			
病床利用率	77.5%	74.5%	78.8%																			
							<p>・救急車受入台数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車受入件数</td> <td>4,888 件</td> <td>4,709 件</td> <td>4,931 件</td> </tr> <tr> <td>同 一日平均台数</td> <td>13.4 台</td> <td>12.9 台</td> <td>13.5 台</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H22	H23	H24	救急車受入件数	4,888 件	4,709 件	4,931 件	同 一日平均台数	13.4 台	12.9 台	13.5 台			
区分	H22	H23	H24																			
救急車受入件数	4,888 件	4,709 件	4,931 件																			
同 一日平均台数	13.4 台	12.9 台	13.5 台																			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																								
						救急外来患者（診療科別：上位のみ） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科</td> <td>8,763</td> <td>8,936</td> <td>10,230</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>3,169</td> <td>3,207</td> <td>3,180</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>2,537</td> <td>2,604</td> <td>2,613</td> </tr> <tr> <td>総合診療科</td> <td>2,065</td> <td>2,330</td> <td>3,129</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>2,283</td> <td>2,193</td> <td>1,907</td> </tr> <tr> <td>循環器内科</td> <td>2,092</td> <td>1,885</td> <td>1,905</td> </tr> <tr> <td>神経内科</td> <td>1,549</td> <td>1,665</td> <td>1,503</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6,517</td> <td>6,534</td> <td>6,759</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>28,975</td> <td>29,354</td> <td>31,226</td> </tr> </tbody> </table>			診療科・年度	H22	H23	H24	小児科	8,763	8,936	10,230	消化器内科	3,169	3,207	3,180	整形外科	2,537	2,604	2,613	総合診療科	2,065	2,330	3,129	外科	2,283	2,193	1,907	循環器内科	2,092	1,885	1,905	神経内科	1,549	1,665	1,503	その他	6,517	6,534	6,759	計	28,975	29,354	31,226		
診療科・年度	H22	H23	H24																																															
小児科	8,763	8,936	10,230																																															
消化器内科	3,169	3,207	3,180																																															
整形外科	2,537	2,604	2,613																																															
総合診療科	2,065	2,330	3,129																																															
外科	2,283	2,193	1,907																																															
循環器内科	2,092	1,885	1,905																																															
神経内科	1,549	1,665	1,503																																															
その他	6,517	6,534	6,759																																															
計	28,975	29,354	31,226																																															
22	<p>・心臓血管センター（心臓血管疾患医療） 心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患、慢性心不全、弁膜症等に循環器内科・心臓血管外科が中心となって、内科的・外科的治療をする。</p>	III	III		<p>・心臓血管センター（心臓血管疾患医療） 心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患、慢性心不全、弁膜症等心臓血管系の疾患患者に対し、内科系の循環器内科と外科系の心臓血管外科が連携して治療するチーム医療を推進するとともに、専門の診療科（不整脈科、心臓カテーテル室）を設け、不整脈治療、カテーテル治療、外科的治療、心臓リハビリテーションなど患者にとって最適な治療を提供する。</p>	<p>・心臓血管センターは内科系の循環器内科と外科系の心臓血管外科が共同で心臓血管系の疾患を治療する部門で県内でも初めての施設である。</p> <p>・年間の手術件数（平成24年度実績）は、221例で、心臓外科領域では、冠動脈バイパス術などの虚血性心疾患が44例、人工弁置換術、弁形成術などの弁膜症が30例などである。血管外科領域では、大動脈瘤手術、ステントグラフト内挿術などの大血管が36例、動脈バイパス術などの末梢血管が10例などである。</p> <p>・手術・検査数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓カテーテル</td> <td>1,619</td> <td>1,600</td> <td>1,592</td> </tr> <tr> <td>PCI</td> <td>460</td> <td>443</td> <td>471</td> </tr> </tbody> </table> <p>・循環器系 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AbIaT</td> <td>97</td> <td>135</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>PMI</td> <td>52</td> <td>57</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>CRT</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ICD</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>CRT-D</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>			項目・年度	H22	H23	H24	心臓カテーテル	1,619	1,600	1,592	PCI	460	443	471	項目・年度	H22	H23	H24	AbIaT	97	135	137	PMI	52	57	60	CRT	1	2	3	ICD	15	15	23	CRT-D	3	5	8	III					
項目・年度	H22	H23	H24																																															
心臓カテーテル	1,619	1,600	1,592																																															
PCI	460	443	471																																															
項目・年度	H22	H23	H24																																															
AbIaT	97	135	137																																															
PMI	52	57	60																																															
CRT	1	2	3																																															
ICD	15	15	23																																															
CRT-D	3	5	8																																															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証														
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項													
							・心臓呼吸器外科系 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EVAR</td> <td>15</td> <td>42</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>TEVAR</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>				項目・年度	H22	H23	H24	EVAR	15	42	37	TEVAR	1	7	11			
項目・年度	H22	H23	H24																						
EVAR	15	42	37																						
TEVAR	1	7	11																						
23	<p>・母とこども医療センター（周産期医療とこども医療） 総合周産期母子医療センター（総合周産期部）、新生児医療センター（新生児内科）、小児総合医療センター（小児科、小児外科、小児心臓外科、小児脳神経外科等）の3つのセンターを基幹とするよう再編し、センターの枠を超えた母とこどもの総合的な医療を実施する。新生児医療センターではドクターカー（すこやか号）により、他病院・医院で出産した未熟児をはじめとする新生児疾患患者を医師同乗で搬送・入院することで、後遺症なき発育を目指す。また、各センターの充実を図ることで、より高度なチーム医療を目指す。</p>	III	III			<p>・母とこども医療センター（周産期医療とこども医療） 産科・総合周産期部、小児医療関係各科（小児科、小児循環器内科、小児腎臓内科、小児心臓外科、小児外科、小児脳神経外科等）・新生児内科を基幹として、各科の枠を超えた母とこどもの総合的な高度医療を提供する。新生児医療センターでは専用のドクターカー（すこやか号）により、他病院・医院で出産した未熟児をはじめとする新生児疾患患者を医師同乗で搬送・入院することで、後遺症なき発育を目指す。また、各センター等の充実を図ることで、より高度なチーム医療を目指す。</p>	<p>・4階のフロア全体と3階及び5階のフロアの一部で構成され、新生児センター機能とハイリスクの妊産婦等の医療機能などを統合し、産婦人科と小児科の枠を超えた高度医療を提供している。合併症妊娠や異常妊娠、多胎妊娠、産褥異常、胎児異常等の患者の診療を行っている。</p> <p>・当院は、新生児センターと隣接しており、また中央手術部にも1Wayで搬送できるので、いかなる周産期異常に対しても最良の体制で対処している。</p> <p>・総合周産期母子医療センターには、当院に受診されている妊婦だけではなく、県内や県外からの医療機関から、ヘリコプターや救急車による緊急母胎搬送などで紹介されてくるハイリスク妊婦を24時間態勢で、可能な限り受け入れ、産科と新生児科が連携をとりながら総合的なチーム医療を行っている。</p> <p>・当院で分娩される妊婦の75.7%は他病院からの紹介である。産科合併妊婦の46.4%が早産である。これらのほとんどが、母体救急搬送されてきた妊婦である。</p> <p>・母体搬送の受け入れ要請に対し、受入ができない事例があり、ネットワークシステムを活用し他の3次医療施設への受け入れをいただいた。</p> <p>・総合医療センター全体では、平成24年4月現在42名の助産師が在籍している。4階東病棟は、全員が助産師であり、助産師育成には毎年力を入れている。</p>	III																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																																																			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																																		
						<p>・当医院でのネットワーク調整件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調整理由・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産科病未満室</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>産科医師手術・処置</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>N I C U 満床</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>・母体搬送の受け入れ件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体搬送</td> <td>122</td> <td>170 (4)</td> <td>166 (8)</td> </tr> <tr> <td>救急搬送</td> <td>16</td> <td>11</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () 数値はヘリコプター搬送</p> <p>・産科合併妊婦 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>早産</td> <td>129</td> <td>145</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>P I H</td> <td>35</td> <td>49</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>常位胎盤・早期剥離</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>胎盤位置異常</td> <td>17</td> <td>32</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>羊水の異常</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>血液型不適</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>胎児異常</td> <td>8</td> <td>32</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>I U G R</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>・産科偶発合併妊婦 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>婦人科系疾患</td> <td>22</td> <td>36</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>心・血管疾患</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>血液疾患</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>腎疾患</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>糖尿病・妊娠性糖尿病</td> <td>6</td> <td>23</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>甲状腺疾患</td> <td>11</td> <td>17</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>自己免疫・膠原病</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>呼吸器疾患</td> <td>3</td> <td>22</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>消化器疾患</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>精神・神経系</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>運動機能系</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	調整理由・年度	H22	H23	H24	産科病未満室	1	5	1	産科医師手術・処置	1	0	1	N I C U 満床	5	4	0	その他	—	—	1	区分・年度	H22	H23	H24	母体搬送	122	170 (4)	166 (8)	救急搬送	16	11	14	項目・年度	H22	H23	H24	早産	129	145	111	P I H	35	49	60	常位胎盤・早期剥離	7	2	5	胎盤位置異常	17	32	29	羊水の異常	0	9	2	血液型不適	1	0	0	胎児異常	8	32	18	I U G R	16	25	14	項目・年度	H22	H23	H24	婦人科系疾患	22	36	28	心・血管疾患	6	5	5	血液疾患	0	2	2	腎疾患	2	6	3	糖尿病・妊娠性糖尿病	6	23	12	甲状腺疾患	11	17	12	自己免疫・膠原病	0	5	4	呼吸器疾患	3	22	10	消化器疾患	2	0	3	精神・神経系	5	11	12	運動機能系	0	1	0		
調整理由・年度	H22	H23	H24																																																																																																																									
産科病未満室	1	5	1																																																																																																																									
産科医師手術・処置	1	0	1																																																																																																																									
N I C U 満床	5	4	0																																																																																																																									
その他	—	—	1																																																																																																																									
区分・年度	H22	H23	H24																																																																																																																									
母体搬送	122	170 (4)	166 (8)																																																																																																																									
救急搬送	16	11	14																																																																																																																									
項目・年度	H22	H23	H24																																																																																																																									
早産	129	145	111																																																																																																																									
P I H	35	49	60																																																																																																																									
常位胎盤・早期剥離	7	2	5																																																																																																																									
胎盤位置異常	17	32	29																																																																																																																									
羊水の異常	0	9	2																																																																																																																									
血液型不適	1	0	0																																																																																																																									
胎児異常	8	32	18																																																																																																																									
I U G R	16	25	14																																																																																																																									
項目・年度	H22	H23	H24																																																																																																																									
婦人科系疾患	22	36	28																																																																																																																									
心・血管疾患	6	5	5																																																																																																																									
血液疾患	0	2	2																																																																																																																									
腎疾患	2	6	3																																																																																																																									
糖尿病・妊娠性糖尿病	6	23	12																																																																																																																									
甲状腺疾患	11	17	12																																																																																																																									
自己免疫・膠原病	0	5	4																																																																																																																									
呼吸器疾患	3	22	10																																																																																																																									
消化器疾患	2	0	3																																																																																																																									
精神・神経系	5	11	12																																																																																																																									
運動機能系	0	1	0																																																																																																																									

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																															
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																														
						<p>・ハイリスク妊婦・分娩等 (対象者) 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合周産期加算</td> <td>262</td> <td>314</td> <td>299</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク妊娠</td> <td>47</td> <td>66</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク分娩</td> <td>17</td> <td>40</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>救急加算</td> <td>122</td> <td>171</td> <td>172</td> </tr> </tbody> </table> <p>・新生児センター運営状況 在胎 24 週未満の母体搬送は増加しているが、経管縫縮術等により妊娠の継続が可能となってきている。このことから、低出生体重児の出生数は減少してきている。そのため、新生児センター総入院数・低出生体重児の入院数も減少している。</p> <p>単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内出生</td> <td>197</td> <td>224</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td>院外出生</td> <td>136</td> <td>132</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td>母体搬送</td> <td>81</td> <td>110</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児</td> <td>12</td> <td>25</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>極低出生体重児</td> <td>33</td> <td>54</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>・新生児手術状況 (件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児心臓外科</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>小児脳神経外科</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>小児外科</td> <td>13</td> <td>19</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科 (気管切開)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>・助産師外来・保健指導実績 (件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健指導</td> <td>867</td> <td>992</td> <td>896</td> </tr> <tr> <td>助産師外来</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>母乳相談</td> <td>129</td> <td>210</td> <td>169</td> </tr> </tbody> </table>	区分・年度	H22	H23	H24	総合周産期加算	262	314	299	ハイリスク妊娠	47	66	58	ハイリスク分娩	17	40	34	救急加算	122	171	172	項目・年度	H22	H23	H24	院内出生	197	224	183	院外出生	136	132	154	母体搬送	81	110	92	超低出生体重児	12	25	13	極低出生体重児	33	54	23	項目・年度	H22	H23	H24	小児心臓外科	6	8	5	小児脳神経外科	5	8	5	小児外科	13	19	31	耳鼻科 (気管切開)	1	1	3	項目・年度	H22	H23	H24	保健指導	867	992	896	助産師外来	2	2	1	母乳相談	129	210	169		
区分・年度	H22	H23	H24																																																																																					
総合周産期加算	262	314	299																																																																																					
ハイリスク妊娠	47	66	58																																																																																					
ハイリスク分娩	17	40	34																																																																																					
救急加算	122	171	172																																																																																					
項目・年度	H22	H23	H24																																																																																					
院内出生	197	224	183																																																																																					
院外出生	136	132	154																																																																																					
母体搬送	81	110	92																																																																																					
超低出生体重児	12	25	13																																																																																					
極低出生体重児	33	54	23																																																																																					
項目・年度	H22	H23	H24																																																																																					
小児心臓外科	6	8	5																																																																																					
小児脳神経外科	5	8	5																																																																																					
小児外科	13	19	31																																																																																					
耳鼻科 (気管切開)	1	1	3																																																																																					
項目・年度	H22	H23	H24																																																																																					
保健指導	867	992	896																																																																																					
助産師外来	2	2	1																																																																																					
母乳相談	129	210	169																																																																																					
24	<p>・がん医療センター (がん医療) がんに対し、早期発見、早期治療など根治治療を実施する。がん末期患者に対しては医師、薬剤師、看護師などからなる緩和ケアチームが、がんによる痛みや不安などの苦痛をできる限り少なくし、患者</p>	III	III		<p>・がん医療センター (がん医療) 平成 22 年 4 月より正式に地域連携がん拠点病院の指定を受けているが、引き続き地域の医療機関と密接な連携をとり、あらゆる病期のがん患者に対し、診療ガイドラインに沿った質の高い医療を提供</p>	<p>・がん医療センター(院内におけるがん医療に関する部門をまとめたものであり、「緩和ケアチーム、がん相談支援センター、セカンドオピニオン外来、緩和ケア外来、化学療法室、がん登録室、地域連携がん部門・各診療部」により構</p>	III																																																																																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																								
	と家族がよりよい生活を送ることができるよう支援する。					<p>していく。早期診断、早期治療に努めるとともに、進行がん患者に対しては、手術・放射線療法・化学療法を駆使して、さらなる治療成績の向上を目指す。各診療科において鏡視下手術などの先進的治療を積極的に展開していく。岐阜地域共通の5大がん連携パスを活用して、一層緊密な病診連携をすすめる。原発不明がんや複数診療科にまたがる症例などについては、カンサーボードで検討のうえ、病院の治療方針を決定して治療にあたる。外来化学療法室のスタッフを充実させ、薬剤師による監査機能を強化して、より安全で効率的に化学療法を施行できる体制をつくる。緩和ケアについては、がんの治療段階から緩和ケアチームが積極的にかわり、患者のあらゆる苦痛の軽減を図る。地域の医療機関との連携を強め、患者の希望に沿った切れ目のない緩和ケアを展開する。地域連携カンファレンスや講演会を定期的で開催し、顔の見える病診連携を進めるとともに、地域全体の緩和ケアレベルの向上を図る。がん患者の不安や悩みをきめ細かく対応するために、がん相談支援センターとがん患者サロンの機能を充実させる。</p>	<p>成し) がん診療連携拠点病院に関する事業を実施し機能の充実を図った。</p> <p>・院内研修会の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催月</th> <th>対象</th> <th>内 容</th> <th>参加者 (0は院外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月</td> <td>全職員</td> <td>特別講演会「ロボット支援手術の現状と展望」</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>看護師</td> <td>中外がん看護eセミナーチームで取り組むがん薬物療法副作用マネジメント</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>医療者</td> <td>医療に携わる医師に対する緩和ケア研修会</td> <td>53 (11)</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>一般市民</td> <td>がん患者大集会 がんでも自分らしく我が家で過ごすために</td> <td>11 (7)</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>全職員</td> <td>緩和ケア講演会 「緩和ケアが目指すもの」</td> <td>124 (41)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・奇数月の第2水曜日はがんカンファレンスを院内・外の医師とともに行っており、がん事例の検討が行われている。[年間参加者数 487 人うち院外 134 人 (約28%)]</p> <p>・また、偶数月の第2水曜日は、病診連携緩和ケアカンファレンスを行い、病院と地域医療機関と連携した末期がん患者の症例や課題を検討している。</p> <p>[がん関連認定看護師] がん看護専門看護師1名、がん性疼痛看護師1名、がん化学療法看護師2名、WOC3名、摂食嚥下障害看護師1名</p> <p>・緩和ケアチームの体制 医師(6名)、歯科医師(1名)、看護師(5名)、薬剤師(1名)、臨床心理士(2名)、栄養士(1名)、リハビリ(1名)</p> <p>平成24年度緩和チーム依頼者数は173人であった。</p>	開催月	対象	内 容	参加者 (0は院外)	5月	全職員	特別講演会「ロボット支援手術の現状と展望」	69	6月	看護師	中外がん看護eセミナーチームで取り組むがん薬物療法副作用マネジメント	22	9月	医療者	医療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	53 (11)	11月	一般市民	がん患者大集会 がんでも自分らしく我が家で過ごすために	11 (7)	2月	全職員	緩和ケア講演会 「緩和ケアが目指すもの」	124 (41)			
開催月	対象	内 容	参加者 (0は院外)																															
5月	全職員	特別講演会「ロボット支援手術の現状と展望」	69																															
6月	看護師	中外がん看護eセミナーチームで取り組むがん薬物療法副作用マネジメント	22																															
9月	医療者	医療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	53 (11)																															
11月	一般市民	がん患者大集会 がんでも自分らしく我が家で過ごすために	11 (7)																															
2月	全職員	緩和ケア講演会 「緩和ケアが目指すもの」	124 (41)																															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																													
						<p>・治療の実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度・区分</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外科的治療</td> <td>1,269</td> <td>1,285</td> <td>1,382</td> </tr> <tr> <td>外来がん化学療法</td> <td>3,308</td> <td>3,242</td> <td>3,729</td> </tr> <tr> <td>入院がん化学療法</td> <td>866</td> <td>845</td> <td>983</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>421</td> <td>400</td> <td>364</td> </tr> </tbody> </table> <p>・がん患者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度・区分</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>2,409</td> <td>2,513</td> <td>2,877</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>54,574</td> <td>61,128</td> <td>64,278</td> </tr> <tr> <td>院内死亡がん患者</td> <td>147</td> <td>123</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table> <p>・がん相談支援センターは、「相談室」「セカンドオピニオン」「退院調整室」の3つの部署のがん相談をまとめている。</p> <p>・がん相談支援センターの活動実績</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>1,130 件</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1,402 件</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>1,514 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・相談内容は、在宅医療、介護・看護、ホスピス・緩和ケア、転院、セカンドオピニオン、治療の順が多い。</p> <p>・また、平成24年4月からは、がんの在宅及び入院患者並びに患者家族のための「ほっとサロン」を毎日開催し、ピアサポーターが在宅医療等の相談に対応している。併せて退院調整室では在宅医療におけるかかりつけ医や訪問看護の紹介や介護保険等の手続等を支援している。</p> <p>・ほっとサロン利用人数</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>150 人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>599 人</td> </tr> </tbody> </table>	年度・区分	H22	H23	H24	外科的治療	1,269	1,285	1,382	外来がん化学療法	3,308	3,242	3,729	入院がん化学療法	866	845	983	放射線治療	421	400	364	年度・区分	H22	H23	H24	入院	2,409	2,513	2,877	外来	54,574	61,128	64,278	院内死亡がん患者	147	123	84	H22	1,130 件	H23	1,402 件	H24	1,514 件	H23	150 人	H24	599 人			
年度・区分	H22	H23	H24																																																				
外科的治療	1,269	1,285	1,382																																																				
外来がん化学療法	3,308	3,242	3,729																																																				
入院がん化学療法	866	845	983																																																				
放射線治療	421	400	364																																																				
年度・区分	H22	H23	H24																																																				
入院	2,409	2,513	2,877																																																				
外来	54,574	61,128	64,278																																																				
院内死亡がん患者	147	123	84																																																				
H22	1,130 件																																																						
H23	1,402 件																																																						
H24	1,514 件																																																						
H23	150 人																																																						
H24	599 人																																																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																		
25	<p>・女性医療センター 女性が診療、治療を受けやすい女性専用病棟での治療を実施し、女性特有の病気を持つ患者が安心して治療を受けられるようプライバシーの保護と安らぎづくりに努める。</p>	III	III			<p>・女性医療センター 女性が診療、治療を受けやすい女性専用病棟での治療を実施し、婦人科疾患、乳腺疾患等さまざまな女性特有の病気を持つ患者が安心して治療を受けられるようプライバシーの保護と安らぎづくりに努める。また、女性の「心」・「体」を総合的に診察する「女性外来」を専門外来として設置している。</p>	<p>・診療体制は、各診療科の常勤女性医師32名（内科、外科、産婦人科、小児科、皮膚科など）と昨年度20名と比べて増強を図るとともに、院内女性心理療法士による心理カウンセリング等のサポート体制もとっている。</p> <p>・8階東病棟を「女性専用病棟」として、女性科、乳腺外科、外科、消化器内科の女性入院患者の治療に取り組み、女性特有の病気を持つ患者が安心して治療を受けられるようプライバシーの保護や安らぎづくりに努めている。</p> <p>特にソフト面での気配りとして、カーテンの色、病棟の色彩、談話室の雑誌、病棟に流れる音楽等に女性的なものを導入している。</p> <p>・実績（8東入院患者数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>613</td> <td>559</td> <td>618</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>378</td> <td>457</td> <td>402</td> </tr> <tr> <td>消化器科</td> <td>195</td> <td>183</td> <td>201</td> </tr> </tbody> </table> <p>・女性科疾患</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卵巣がん</td> <td>68</td> <td>83</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>卵巣腫瘍</td> <td>72</td> <td>66</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>子宮癌（体・内膜）</td> <td>75</td> <td>71</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>子宮筋腫</td> <td>66</td> <td>44</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td>95</td> <td>79</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>139</td> <td>169</td> <td>177</td> </tr> </tbody> </table> <p>・女性外来患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,133人</td> <td>1,612人</td> <td>1,998人</td> </tr> </tbody> </table>	項目・年度	H22	H23	H24	産婦人科	613	559	618	外科	378	457	402	消化器科	195	183	201	項目・年度	H22	H23	H24	卵巣がん	68	83	116	卵巣腫瘍	72	66	67	子宮癌（体・内膜）	75	71	79	子宮筋腫	66	44	68	子宮頸がん	95	79	64	乳がん	139	169	177	H22	H23	H24	1,133人	1,612人	1,998人	III		
項目・年度	H22	H23	H24																																																									
産婦人科	613	559	618																																																									
外科	378	457	402																																																									
消化器科	195	183	201																																																									
項目・年度	H22	H23	H24																																																									
卵巣がん	68	83	116																																																									
卵巣腫瘍	72	66	67																																																									
子宮癌（体・内膜）	75	71	79																																																									
子宮筋腫	66	44	68																																																									
子宮頸がん	95	79	64																																																									
乳がん	139	169	177																																																									
H22	H23	H24																																																										
1,133人	1,612人	1,998人																																																										
26	<p>・重症心身障がい児病棟と小児救急医療 高度・専門的な医療を必要とする重症心身障がい児病棟の整備を推進する。また、小児救急医療体制を強化するため、小児集中治療室の整備を推進し、こども医療の拠点としての機能の充実を図る。</p>	—	—			<p>・重症心身障がい児病棟と小児救急医療 岐阜県の施策である「医療—福祉の連携による小児医療、療育体制の整備」に示された濃厚な医療的ケアを必要とする18才未満の重症児に対応した重症心身障がい児の入院機能の整備を始める。また、P I C U（小児集中治療室）の整備を始める。</p>	<p>・平成25年10月の着工に向け、重症心身障がい児病棟の基本設計及び実施設計の策定を計画どおり完了した。</p> <p>・小児救急医療への取組として、小児循環器内科・小児心臓外科病棟の一般病床20床のうち、2床をP I C U（小児集中治療室）として改修、医療機器等の整備を行い、平成25年度には医師、看護師の人員体制を強化することとしており、小児医療センター機能の充実に努めた。</p>	III																																																				

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-2 調査研究事業

1-2-1 調査及び臨床研究等の推進

中期 目標	岐阜県総合医療センターで提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上並びに県民の健康意識の醸成を図るための調査及び研究を行うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																					
27	<p>・治験や調査研究事業に積極的に参画できるよう体制を整備し、受託件数の増加を図り、「治験センター」の認定を目指す。</p> <p>平成20年度の実績は、18件である。</p> <p>平成21年度の見込は、19件である。</p>	IV	IV			<p>・治験管理センター部において、治験や調査研究事業に積極的に参画し、受託件数の増加を図る。</p> <p>平成23年度の実績は、28件である。</p> <p>平成24年度の目標は、28件である。</p>	<p>・平成24年度の治験の件数は27件で概ね前年度を維持している。</p> <p>治験件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>24件</td> <td>28件</td> <td>27件</td> </tr> <tr> <td>治験症例件数</td> <td>76件</td> <td>85件</td> <td>68件</td> </tr> <tr> <td>受託研究件数</td> <td>48件</td> <td>41件</td> <td>58件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○治験部門の体制</p> <p>部長 1名 副部長 1名 課長 1名 係員 1名 事務員 1名 治験コーディネータ 6名</p> <p>・主な受託研究事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研究内容</th> <th>担当科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5FU系抗がん剤及びオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験 (ACHIEVE Trial)</td> <td>外科</td> </tr> <tr> <td>非弁膜症性心房細動患者の脳卒中および全身性塞栓症に対するリバーロキサバンの有効性と安全性に関する登録観察研究</td> <td>循環器内科</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	治験実施件数	24件	28件	27件	治験症例件数	76件	85件	68件	受託研究件数	48件	41件	58件	研究内容	担当科	Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5FU系抗がん剤及びオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験 (ACHIEVE Trial)	外科	非弁膜症性心房細動患者の脳卒中および全身性塞栓症に対するリバーロキサバンの有効性と安全性に関する登録観察研究	循環器内科	III	
	H22	H23	H24																												
治験実施件数	24件	28件	27件																												
治験症例件数	76件	85件	68件																												
受託研究件数	48件	41件	58件																												
研究内容	担当科																														
Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5FU系抗がん剤及びオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験 (ACHIEVE Trial)	外科																														
非弁膜症性心房細動患者の脳卒中および全身性塞栓症に対するリバーロキサバンの有効性と安全性に関する登録観察研究	循環器内科																														
28	<p>・先端医療など新しい医療について研究、研修を行うとともに、EBMに基づく医療を行い、疫学統計調査や臨床研究を行いつつ管理する「臨床研究部(仮称)」を創設する。</p>	III	III			<p>・平成23年度から臨床研究部を設置した。</p>	—																								

1-2-2 診療等の情報の活用

中期目標	電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を岐阜県総合医療センターで提供する医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
29	<p>・医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>医療総合情報システムをより有効に活用し、診療記録等医療情報の電子化や管理機能の充実を図る。また、電子カルテ導入によりペーパーレス化、フィルムレス化を図るとともに、業務の効率化とスピード化を図り、医療機関との連携など医療体制の充実を図る。</p>	III	III			<p>・医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>医療総合情報システムに蓄積された各種医療データを分析し、それを医療情報として提供したり、診療録の記載内容を監査することにより、院内の医療従事者の総合的なレベルアップを図り、医療の質の向上に寄与する。また、要望に応じて、医療総合情報システムで管理されているCTや内視鏡等の画像情報を迅速に提供することにより、病診連携などの医療体制の充実を図る。また、「診療録等の記載及び管理に関するマニュアル」を必要の都度見直していく。</p>	<p>・医師及び研修医 164 名が電子カルテに登録した診療記録について、入院診療計画書との整合性、診断過程の記述内容などを診療情報管理部長等が監査し、そのレベル向上を図った。</p> <p>・診療情報から抽出したDPCデータを分析ソフトの活用により、加えてコンサルタントを活用したことで、診療科別に症例検討を実施し、DPC収益が対前年 113.7%増（稼働額ベース）と効果がみられた。</p> <p>・診療材料について、当院使用の上位 100 品目について価格比較を実施し、価格交渉を行いコスト削減ができた。（材料比率H23比較 29.0% → 27.9%）</p>	III		
30	<p>・集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <p>集積したエビデンスを、カンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用するため、診療録管理業務体制の充実を図り、院内診療データを集積、整理する。また、他職種による合同カンファレンスなどにより診療内容を共有化し、治療成績などの公表を推進する。</p>	III	III			<p>・集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <p>電子カルテに集積した院内の診療データを、カンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用するための方策・体制等を検討する。また、医療の質の向上のため、医療の質検討委員会を設置し、クリニカルインディケーターを 11 項目について公表しているが、項目増加に向け検討するとともに、当センターホームページ上で公表を行っていく。</p>	<p>・医学統計などへの活用</p> <p>電子カルテに登録されている「退院サマリー」の主病名を病歴管理システムにデータ連携させ、当該システムにより集計し、医学統計書を作成した。また、「がん登録サマリー」とがん登録システムを連携させ、県に提出する地域がん登録届出票を 1,126 件作成するなど、電子カルテに集積されたデータの有効活用を行った。</p> <p>・各診療科・センター毎に診療内容及びカンファレンス並びに保健医療についてホームページにて随時情報を提供した。</p>	III		

1-2-3 保健医療情報の提供・発信

中期目標	県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
31	<p>・公開講座、医療相談会等の定期的開催 平成20年度の実績は、「岐阜県総合医療センターで受けられる最新の医療」と題し、当センターで受けられる最新医療を紹介したり、模擬カンファレンス等を実施した。平成21年度は、「感染症対策～新型インフルエンザにそなえる～」と題してセミナーを開催するなど、今後も県民に関心の高いテーマを中心に県民健康セミナーを開催したり模擬カンファレンス等を実施する。</p>	III	III			<p>・公開講座、医療相談会等の定期的開催 引き続き、県民に関心の高いテーマを中心に県民健康セミナーの開催や模擬カンファレンス等を実施する。 平成23年度の実績は、「生活習慣病と認知症の予防と対策」と題してセミナーを開催した。</p>	<p>・「身体にやさしい」をテーマに県民公開セミナーを企画、院内各部門が展示、相談、各種紹介など直接に県民と触れ合うコーナーを設置して情報発信を行う新しい取り組みをいれた県民公開セミナー「健康祭」の開催計画・準備を行った。平成25年2月に導入した内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」の手術が3月末に実施されたため、その実施状況など最新医療事情を報告するため開催は平成25年4月に実施した。</p>	III		
32	<p>・保健医療、健康管理等の情報提供 岐阜県総合医療センター広報誌「けんこう」や、「診療案内」を発行するとともに、病院が有する保健医療情報を病院のホームページで公表する。</p>	III	III			<p>・保健医療、健康管理等の情報提供 岐阜県総合医療センター広報誌「けんこう」地域医療連携センター部広報誌「すこやか」の定期発行や、必要に応じ「診療案内」を改訂するとともに、病院が有する保健医療情報を病院のホームページで公表する。</p>	<p>・広報誌「けんこう」を平成24年11月に発行 ・病診連携部PR誌「すこやか」を平成24年度に2回発行 ・当センターの新しい医療への取り組みについてプレス発表や取材協力等によりマスメディアを媒体として県民への情報発信を行った。 ・インターネットを通じて、保健医療や健康管理に関する情報提供を行った。</p>	III		

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-3 教育研修事業

1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実

中期 目標	<p>教育研修事業</p> <p>医療の高度化・多様化に対応できるよう、岐阜県立看護大学及び岐阜県立看護専門学校等の学生並びに救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。</p> <p>医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>専門医等の研修施設として認められた病院（臨床研修病院）として、臨床研修医及びレジデント（専門分野の研修医）の積極的な受入れを行なうこと。</p> <p>岐阜大学医学部附属病院や県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を活かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証															
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項														
33	<p>・質の高い医療従事者の養成</p> <p>質の高い医療従事者養成のため、独自の臨床研修プログラムを開発し、その推進体制を強化する。また、国内や海外での留学を制度化したり、他の先進病院へ医師を派遣することにより、長期研究できる体制を確保する。</p>	III	III			<p>・質の高い医療従事者の養成</p> <p>最先端の医療技術・知識の取得のため、各種学会や研修会、講習会等へ参加できるよう支援する。また、国内や海外での留学を制度化したり、他の先進病院へ医師を派遣することにより、長期研究できる体制を引き続き検討する。</p>	<p>・各診療科・部において医療従事者の養成を行っている。</p> <p>・国内外での長期の留学・研究等が行えるよう規定を整備済みである。</p> <p>・平成24年度医師派遣</p> <p>① 放射線治療科、派遣先：米国（カルフォルニア大学サンディエゴ校）</p> <p>② 循環器内科、派遣先：横浜労災病院（1回/月）</p> <p>③ 耳鼻咽喉科、派遣先：公益財団法人がん研究会 有明病院</p> <p>④ 循環器内科、派遣先：静岡県立総合病院（1回/月）</p> <p>⑤ 循環器内科、派遣先：米国（ハーバード大学医学部 ブリガム・アンド・ウィメンズ病院）</p>	III																
							<p>初期臨床研修医数 (各年3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>25人</td> <td>29人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>			H22	H23	H24	医師	25人	29人	33人	歯科医師	2人	2人	2人				
	H22	H23	H24																					
医師	25人	29人	33人																					
歯科医師	2人	2人	2人																					
34	<p>・後期研修医（レジデント）に対する研修等</p> <p>後期研修医に対しては、岐阜県総合医療センター独自の研修及び岐阜大学医学部附属病院と密なる連携による研修プログラムを開発し、推進する。</p>	III	III			<p>・後期研修医（レジデント）に対する研修等</p> <p>後期研修医に対しては、新医師臨床研修制度に則った岐阜県総合医療センター独自の研修及び岐阜大</p>	<p>・後期研修医（レジデント）に対する研修等を実施した。</p> <p>○平成24年度実績</p> <p>後期研修医人数33人</p>	III																

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
						学医学部附属病院と密なる連携による研修プログラムを開発し、推進する。また看護部、臨床検査科、中央放射線部等病院内の各部署の協力を得て、研修プログラムが円滑に遂行できるよう引き続き支援するとともに、各種学会、研究会等への参加について支援する。	学会参加 のべ158人日 後期研修医数 (各年3.31時点) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>35人</td> <td>42人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	医師	35人	42人	33人	歯科医師	1人	0人	0人			
	H22	H23	H24																			
医師	35人	42人	33人																			
歯科医師	1人	0人	0人																			

1-3-2 看護学生、救急救命士等に対する教育の実施

中期 目標	県内に就学している看護学生の実習受入れ、救急救命士の新規養成及び再教育にともなう病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																			
35	・医学生、看護学生の実習受入れ 県内医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生の実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に実習を受け入れる。 平成21年度見込 医学生の病院見学 4月～ 延べ35名 看護学生 4月～ 359名	III	III			・医学生、看護学生の実習受入れ 県内医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生の実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に実習を受け入れる。 平成23年度実績 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>医学生の病院見学</th> <th>H23. 4～H24. 2</th> <th>延べ76名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学生</td> <td>H23. 4～H24. 2</td> <td>延べ10,636名</td> </tr> </tbody> </table>	医学生の病院見学	H23. 4～H24. 2	延べ76名	看護学生	H23. 4～H24. 2	延べ10,636名	・研修生の受け入れ実績は下記のとおりである。 ・医学生は前年実績を上回ったものの、岐阜県立衛生専門学校看護学生数の減少により、実習受入数は減少したものの、計画どおりに実施できた。 平成24年度実績 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>医学生の病院見学</th> <th>年間延べ96名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学生</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県立衛生専門学校 ・岐阜県立看護大学 ・平成医療短期大学 ・岐阜大学医学部看護学科 ・岐阜医療科学大学 ・弥富看護学校 他 年間延べ 9,676名 </td> </tr> </tbody> </table>	医学生の病院見学	年間延べ96名	看護学生	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県立衛生専門学校 ・岐阜県立看護大学 ・平成医療短期大学 ・岐阜大学医学部看護学科 ・岐阜医療科学大学 ・弥富看護学校 他 年間延べ 9,676名	III											
医学生の病院見学	H23. 4～H24. 2	延べ76名																											
看護学生	H23. 4～H24. 2	延べ10,636名																											
医学生の病院見学	年間延べ96名																												
看護学生	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県立衛生専門学校 ・岐阜県立看護大学 ・平成医療短期大学 ・岐阜大学医学部看護学科 ・岐阜医療科学大学 ・弥富看護学校 他 年間延べ 9,676名																												
						学生の実習受入状況 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>78人</td> <td>93人</td> <td>96人</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>10,673人</td> <td>10,820人</td> <td>9,676人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>67人</td> <td>68人</td> <td>96人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,818人</td> <td>10,981人</td> <td>9,868人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	医学生	78人	93人	96人	看護学生	10,673人	10,820人	9,676人	コメディカル	67人	68人	96人	合計	10,818人	10,981人	9,868人			
	H22	H23	H24																										
医学生	78人	93人	96人																										
看護学生	10,673人	10,820人	9,676人																										
コメディカル	67人	68人	96人																										
合計	10,818人	10,981人	9,868人																										

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																						
36	<p>・救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>救急救命士など地域医療従事者の養成を図るため、救急救命士に対する救急搬入後の事後検討会を実施するなど、病院での実習の受け入れ体制を整備し、今後も積極的に受け入れる。</p> <p>平成20年度の救急救命士養成に関する臨床実習受入実績は、18人である。</p> <p>平成21年度の救急救命士養成に関する臨床実習受入見込は、63人である。</p> <p>また、4、7、10月に救急救命士に対する救急搬入後の事後検討会を実施した。</p>	III	III			<p>・救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>救急救命士など地域医療従事者の養成を図るため、救急救命士に対する救急搬入後の事後検討会を実施するなど、病院での実習の受け入れ体制を整備し、今後も積極的に受け入れる。</p> <p>平成23年度実績（救急救命士養成に関する臨床実習受入）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>救急救命東京研修所</td><td>2名</td></tr> <tr><td>東海医療工学専門学校</td><td>2名</td></tr> <tr><td>名古屋医療専門学校</td><td>1名</td></tr> <tr><td>自衛隊岐阜病院</td><td>9名</td></tr> <tr><td>岐阜県消防学校</td><td>36名</td></tr> <tr><td>名古屋市救急救命士養成所</td><td>2名</td></tr> <tr><td>岐阜市、本巣市消防</td><td>2名</td></tr> <tr><td>各務原市消防</td><td>1名</td></tr> </table> <p>・薬学部学生の実習受入れ</p> <p>県内薬剤師の充実を図るため、薬学部学生の実習を積極的に受け入れる。</p>	救急救命東京研修所	2名	東海医療工学専門学校	2名	名古屋医療専門学校	1名	自衛隊岐阜病院	9名	岐阜県消防学校	36名	名古屋市救急救命士養成所	2名	岐阜市、本巣市消防	2名	各務原市消防	1名	<p>・救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施状況は下記のとおりであり、受入計画を達成できた。</p> <p>平成24年度実績（救急救命士養成に関する臨床実習受入）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr><th>実習受け入れ施設等</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>救急救命東京研修所</td><td>2名</td><td>2名</td><td>4名</td></tr> <tr><td>東海医療工学専門学校</td><td>2名</td><td>2名</td><td>1名</td></tr> <tr><td>自衛隊岐阜病院</td><td>4名</td><td>9名</td><td>6名</td></tr> <tr><td>岐阜県消防学校</td><td>35名</td><td>32名</td><td>28名</td></tr> <tr><td>名古屋市救急救命士養成所</td><td>1名</td><td>1名</td><td>1名</td></tr> <tr><td>岐阜市、本巣市消防</td><td>1名</td><td>2名</td><td>1名</td></tr> <tr><td>各務原市消防</td><td>1名</td><td>1名</td><td>1名</td></tr> </tbody> </table> <p>救急救命士の実習受入状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>52人</td><td>49人</td><td>42人</td></tr> </tbody> </table> <p>・薬学部学生の実習受入れ</p> <p>薬剤師養成課程が6年となり、認定実務実習の重要性が増した。平成24年度は当センターでは岐阜薬科大学8名、名城大学5名、金城学院大学2名、愛知学院大学2名の計17名の実習生を受け入れ人材の育成にあたった。</p>	実習受け入れ施設等	H22	H23	H24	救急救命東京研修所	2名	2名	4名	東海医療工学専門学校	2名	2名	1名	自衛隊岐阜病院	4名	9名	6名	岐阜県消防学校	35名	32名	28名	名古屋市救急救命士養成所	1名	1名	1名	岐阜市、本巣市消防	1名	2名	1名	各務原市消防	1名	1名	1名	H22	H23	H24	52人	49人	42人	III		
救急救命東京研修所	2名																																																															
東海医療工学専門学校	2名																																																															
名古屋医療専門学校	1名																																																															
自衛隊岐阜病院	9名																																																															
岐阜県消防学校	36名																																																															
名古屋市救急救命士養成所	2名																																																															
岐阜市、本巣市消防	2名																																																															
各務原市消防	1名																																																															
実習受け入れ施設等	H22	H23	H24																																																													
救急救命東京研修所	2名	2名	4名																																																													
東海医療工学専門学校	2名	2名	1名																																																													
自衛隊岐阜病院	4名	9名	6名																																																													
岐阜県消防学校	35名	32名	28名																																																													
名古屋市救急救命士養成所	1名	1名	1名																																																													
岐阜市、本巣市消防	1名	2名	1名																																																													
各務原市消防	1名	1名	1名																																																													
H22	H23	H24																																																														
52人	49人	42人																																																														

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-4 地域支援事業

1-4-1 地域医療への支援

中期目標	<p>地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう地域への支援を行う。</p> <p>地域医療への支援</p> <p>地域の医療機関との連携・協体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。</p> <p>医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を行うこと。</p> <p>代診医師の派遣や巡回診療等、県全体での広域的なへき地医療支援事業の企画・調整など、県におけるへき地医療対策を円滑かつ効率的に実施すること。</p>
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																												
37	<p>・地域医療水準の向上</p> <p>地域の医療機関との連携を強化し、高度先進医療機器の共同利用を促進するとともに、開放型病床の利用促進及び開放型病床利用登録医師との共同診療の実施により地域医療の向上を図る。</p> <p>○高度先進医療機器の共同利用</p> <p>・平成20年度実績 郡上市民病院との遠隔画像診断、地域がん診療拠点病院として病理診断の実施</p> <p>○開放型病床の利用促進及び共同診療</p> <p>平成20年度の実績は、産科開業医13名が、夜間、周産期医療に参加、小児科開業医6名が小児急病センターに参加し、共同診療を実施した。また、開放型病床の登録医(387名/平成20年度末現在)とも共同診療を実施した。</p> <p>平成21年度は、産科開業医13名が、夜間、周産期医療に参加、さらに8月に新設された小児急病センターにおいて、各務原市医師会所属小児科開業医7名(各1回/月)が小児科輪番日に共同診療を実施する見込みである。</p>	III	III			<p>・地域医療水準の向上</p> <p>地域の医療機関との連携を強化し、高度先進医療機器の共同利用を促進するとともに、開放型病床の利用促進及び開放型病床利用登録医師との共同診療の実施により地域医療の向上を図り、オープン病床クリニカルミーティングや病診・病病連携検討会を開催するなど、地域の医療機関へのハード・ソフト両面での支援を推進する。</p> <p>○高度先進医療機器の共同利用の推進</p> <p>・郡上市民病院との遠隔画像診断を実施するほか、全自動免疫染色装置の導入による他院の病理標本の作製を受託するなど、地域がん診療連携拠点病院としてがん診療の技術向上等に努める。</p> <p>○開放型病床の利用及び共同診療の推進</p> <p>・岐阜県総合周産期母子医療センターの休日・夜間には、産科開業医13名、小児急病センターについては、各務原市医師会所属小児科開業医7名(各1回/月)の協力を得て小児夜間・休日診療体制を確立し、また、地域の勤務医(3名)の協力を得て、地域連携、夜間・休日診療を実施するなど、救急搬送など「断らない医療」に取組む。</p>	<p>・オープン病床クリニカルミーティングを開催し、地域の医療機関との連携を強化した。(H25. 2. 15)</p> <p>・セカンドオピニオン実施件数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>64</td> <td>41</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <p>○高度先進医療機器の共同利用の推進</p> <p>・高度医療機器の共同利用実績</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>481件</td> <td>443件</td> <td>426件</td> </tr> <tr> <td>MR I</td> <td>337件</td> <td>345件</td> <td>323件</td> </tr> <tr> <td>PET</td> <td>78件</td> <td>66件</td> <td>65件</td> </tr> <tr> <td>遠隔画像診断機器</td> <td>173件</td> <td>197件</td> <td>374件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○輪番制実施状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児</td> <td>163日</td> <td>179日</td> <td>259日</td> </tr> <tr> <td>内科・外科系</td> <td>66日</td> <td>62日</td> <td>66日</td> </tr> </tbody> </table> <p>○共同診療の推進</p> <p>平成21年度から引き続き、総合周産期母子医療センターの夜間・休日診療へ11名の開業医師が協力。小児夜間急病センターには各務原市医師会所属医師10名が小児輪番日において共同診療を実施。</p>		H22	H23	H24	外来受入	21	21	26	他院紹介	64	41	47	機器名	H22	H23	H24	CT	481件	443件	426件	MR I	337件	345件	323件	PET	78件	66件	65件	遠隔画像診断機器	173件	197件	374件	機器名	H22	H23	H24	小児	163日	179日	259日	内科・外科系	66日	62日	66日	III		
	H22	H23	H24																																																			
外来受入	21	21	26																																																			
他院紹介	64	41	47																																																			
機器名	H22	H23	H24																																																			
CT	481件	443件	426件																																																			
MR I	337件	345件	323件																																																			
PET	78件	66件	65件																																																			
遠隔画像診断機器	173件	197件	374件																																																			
機器名	H22	H23	H24																																																			
小児	163日	179日	259日																																																			
内科・外科系	66日	62日	66日																																																			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																		
							○開放型病床の利用状況及び共同指導回数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同指導(回)</td> <td>12.7</td> <td>14.5</td> <td>15.5</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>75.1%</td> <td>66.3%</td> <td>48.9%</td> </tr> </tbody> </table> ※ 共同指導回数は月平均			項目・年度	H22	H23	H24	共同指導(回)	12.7	14.5	15.5	病床利用率	75.1%	66.3%	48.9%																																							
項目・年度	H22	H23	H24																																																									
共同指導(回)	12.7	14.5	15.5																																																									
病床利用率	75.1%	66.3%	48.9%																																																									
38	<p>医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援</p> <p>平成20年度の実績は、独立行政法人国立病院機構長良医療センター（1名/週、脳神経外科）、岐阜県立下呂温泉病院（総合内科2人・神経内科3人・消化器内科延べ6人・腎臓内科延べ2人・呼吸器内科1人、小児科延べ3人）、下呂市立金山病院（1人/月、外科延べ12人）等において診療における人的支援を行った。</p> <p>平成21年度は、岐阜赤十字病院（2名/週 循環器内科）、岐阜県立下呂温泉病院（6月から1名：循環器内科、9月から1名：整形外科、4月から1名：小児科）、下呂市立金山病院（1人/月、外科）、公立学校共済組合東海中央病院（10月から2名/週 小児科）において診療における人的支援を行う見込みである。</p> <p>今後も、医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を継続する。</p>	III	III		<p>・医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援</p> <p>平成23年度は、岐阜県立下呂温泉病院（4月から1名：小児科、随時：産婦人科）、高山赤十字病院（4月から1名：循環器内科）、下呂市立金山病院（1人/月1回当直、外科）において診療における人的支援を行った。</p> <p>今後も地域医療支援の機能を果たすため、引き続き医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を継続する。</p>	<p>・平成24年度は、岐阜県立下呂温泉病院（31名）、高山赤十字病院（7名）、揖斐厚生病院（3名）、下呂市立金山病院（1人/月1回当直）、久々野診療所（1人/週1回）、郡上市民病院（1人/月2回・1人/週1回）、中濃厚生病院（1人/週1回）において診療における人的支援を行った。</p> <p>他の医療機関への人的支援の状況（延べ日数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先医療機関名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>399</td> <td>461</td> <td>548</td> </tr> <tr> <td>高山赤十字病院</td> <td>447</td> <td>244</td> <td>504</td> </tr> <tr> <td>揖斐厚生病院</td> <td>—</td> <td>21</td> <td>245</td> </tr> <tr> <td>下呂市立金山病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>木沢記念病院</td> <td>28</td> <td>224</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>東海中央病院</td> <td>94</td> <td>—</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>東白川診療所</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>久々野診療所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>坂内村国民健康保険診療所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>郡上市民病院</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>中濃厚生病院</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>980</td> <td>971</td> <td>1,515</td> </tr> </tbody> </table>	派遣先医療機関名	H22	H23	H24	県立下呂温泉病院	399	461	548	高山赤十字病院	447	244	504	揖斐厚生病院	—	21	245	下呂市立金山病院	12	12	12	木沢記念病院	28	224	—	東海中央病院	94	—	62	東白川診療所	—	9	—	久々野診療所	—	—	43	坂内村国民健康保険診療所	—	—	45	郡上市民病院	—	—	31	中濃厚生病院	—	—	25	合計	980	971	1,515	IV	
派遣先医療機関名	H22	H23	H24																																																									
県立下呂温泉病院	399	461	548																																																									
高山赤十字病院	447	244	504																																																									
揖斐厚生病院	—	21	245																																																									
下呂市立金山病院	12	12	12																																																									
木沢記念病院	28	224	—																																																									
東海中央病院	94	—	62																																																									
東白川診療所	—	9	—																																																									
久々野診療所	—	—	43																																																									
坂内村国民健康保険診療所	—	—	45																																																									
郡上市民病院	—	—	31																																																									
中濃厚生病院	—	—	25																																																									
合計	980	971	1,515																																																									

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
39	<p>・へき地医療対策の支援</p> <p>県とへき地医療支援機構業務についての業務委託契約を締結した上で、へき地医療機関等からの代診要請に積極的に対応し、診療支援など人的支援ができるよう、地域医療部の強化、総合診療科の新設などを検討する。また、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院や地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院の地域医療部と連携、協力して代診等業務、情報の共有や問題点の解決に当たる。</p> <p>さらに、新医師臨床研修制度における地域・保健プログラムやその他新規プログラムに積極的に参加するとともに、へき地医療機関と連携し、研修の動機付け・総括等、研修医のへき地医療研修支援を行う。へき地医療等を志向する後期研修医、またへき地勤務医の研修時は、地域医療部を所属の場として活用し、各科の横断的研修等を行う。</p>	III	IV			<p>・へき地医療対策の支援</p> <p>県とへき地医療支援機構業務についての業務委託契約を締結した上でへき地医療機関等からの代診要請に積極的に対応し、診療支援など人的支援を行う。また、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院や地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院の地域医療部と連携、協力して代診等業務、情報の共有や問題点の解決に当たる。</p> <p>さらに、新医師臨床研修制度における地域・保健プログラムやその他新規プログラムに積極的に参加するとともに、へき地医療機関と連携し、研修の動機付け・総括等、研修医のへき地医療研修支援を行う。へき地医療等を志向する後期研修医、またへき地勤務医の研修時は、地域医療部を所属の場として活用し、各科の横断的研修等を行う。</p>	<p>・県とへき地医療支援機構運営委託契約を締結し、依頼に応じて派遣する体制を整備</p> <p>・へき地派遣 (H24 実績)</p> <p>国保和良診療所：ひ尿器科 1名 高山赤十字病院：外科2名、循環器内科3名、小児循環器内科 2名 下呂温泉病院：小児科4名、総合診療科2名、循環器内科7名、消火器内科7名、呼吸器内科3名、糖尿病内分泌科3名、腎臓内科2名、神経内科2名、乳腺外科1名、</p> <p>・後期研修プログラムの中に一定期間の医師不足地域での勤務を含めることにより医師不足の解消を図ることを目的として、平成22年9月に、岐阜大学医学部、同附属病院、及び研修医が多く集まる病院とともに「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」に参加した。</p> <p>後期研修医のへき地派遣状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先医療機関名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>11人</td> <td>10人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11人</td> <td>10人</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table>	派遣先医療機関名	H22	H23	H24	県立下呂温泉病院	11人	10人	15人	合計	11人	10人	15人	IV		
派遣先医療機関名	H22	H23	H24																			
県立下呂温泉病院	11人	10人	15人																			
合計	11人	10人	15人																			

1-4-2 社会的な要請への協力

中期 目標	岐阜県総合医療センターが有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣など社会的な要請に積極的な協力を行うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
40	医療に関する鑑定や調査、講師派遣など社会的な要請に対する協力を行う。	III	III			医療に関する鑑定や調査、講師派遣など社会的な要請に対する協力を行う。	・医療に関する鑑定や調査、講師派遣など、随時求められる社会的な要請に対し協力を行ってきた。 ・岐阜大学への講師（医師）派遣 18人 ・岐阜県衛生専門学校への講師（看護師）派遣 22人 ・各種学校への講師（看護師）派遣 51人 ・岐阜薬科大学への講師（薬剤師）派遣 1人	III		
							講師派遣の状況			
								H22	H23	H24
							医師	24人	18人	18人
							歯科医師	1人	1人	1人
							看護師	43人	55人	73人
							コメディカル	8人	8人	3人
							合計	76人	81人	95人

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-5 災害等発生時における医療救護

1-5-1 医療救護活動の拠点機能

中期 目標	<p>災害等発生時における医療救護</p> <p>災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフの派遣や災害派遣医療チームの派遣など医療救護を行うことを求める。</p> <p>医療救護活動の拠点機能</p> <p>災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受入れや医療スタッフの現地派遣など本県或いは岐阜地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。</p> <p>岐阜県の基幹災害医療センターとして、県内の災害拠点病院に対し災害医療研修や災害医療訓練（公開）を行うなど指導的役割を發揮すること。</p> <p>他県等の医療救護への協力</p> <p>県内のみならず他県等の大規模災害等においても、災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣するなど、積極的に医療救護の協力をを行うこと。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
41	<p>・医療救護活動拠点機能確保、訓練実施</p> <p>・岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、岐阜県或いは岐阜地域の医療救護活動拠点機能を担うこととする。</p> <p>24時間対応可能な救急医療体制を確保し、災害等発生時の救急・重篤患者を受け入れる。</p> <p>また、NBC（核、生物、化学）災害に対しても対応できるよう、広域災害対策訓練を実施する。さらに全職員が積極的に参加して、職員・部署の役割分担、各部署の備蓄品等を見直し、災害等発生時に患者の受入れ等求められる機能を發揮する組織を構築する。</p>	III	III			<p>・岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、岐阜県或いは岐阜地域の医療救護活動拠点機能を担うこととする。</p> <p>24時間対応可能な救急医療体制を確保し、災害等発生時の救急・重篤患者を受け入れるとともに、医療スタッフを現地に派遣して医療救護活動を行う。</p> <p>また、大規模災害に対し、消防本部等の関係機関をはじめ住民やボランティアの協力を得て、屋上ヘリポートを活用し、災害時の緊急を要する重篤患者の搬送を行う広域災害対策訓練を実施する。</p>	<p>・三重県から岐阜県西南部で震度7の地震発生、診療時間中であり、センターでは本館の一部から火災が発生した場合を想定し、関係消防本部と連携のもと、災害対策訓練を実施した。</p> <p>日 時：平成24年8月25日（土）</p> <p>訓練内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 建物損壊、ライフライン被害、在院患者状況等確認訓練 2 ヘリコプターによる重篤患者受入訓練 3 トリアージ訓練 4 応急処置訓練 5 除染訓練 <p>参加人員：264名</p>	III		
42	<p>・基幹災害医療センター機能強化</p> <p>県下5圏域の災害拠点病院を統括する最先端の「基幹災害医療センター」としての機能を強化し、指導的役割を發揮する。</p>	III	III			<p>・県下5圏域の災害拠点病院の中心となる「基幹災害医療センター」としての機能を強化し、指導的役割を發揮する。</p>	<p>・災害備蓄として各種備品を整備した。</p> <p>主な備品：衛星携帯電話、災害対策用トイレ、ストレッチャー、簡易ベッド、パック毛布等</p> <p>・非常時において病室での収容人数を拡大するために、病室（通常4人→非常時8人）、待合室、会議室等での収容に対応した酸素吸入用弁などの施設整備をした。</p>	III		

1-5-2 他県等の医療救護への協力

中期目標	県内のみならず他県等の大規模災害等においても、災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
43	大規模災害への対応を図るため、DMATを編成し、必要な機能を整備する。 平成16年度には、岐阜県地域防災計画に基づく医療班を編成し、新潟県中越地震にて医療支援を実施した。（5班体制：1班5名）	IV	IV			<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時のDMATの派遣 大規模災害への対応を図るため、DMAT及び岐阜県地域防災計画に基づく医療班を編成し、必要な機能を整備する。 平成23年3月11日に発生した東日本大震災に対する対応として、被災直後にDMAT1班5名を派遣した。 その後、宮城県からの要請により3月18日から5月11日までの間に、医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務員1名の計5人を1班とする医療救護班5班が宮城県亘理町にて災害医療支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時のDMATの派遣 大規模災害への対応を図るため、DMAT及び岐阜県地域防災計画に基づく医療救護班を編成し、必要な機能を整備した。 	III		
44	<ul style="list-style-type: none"> 訓練・研修への派遣 大規模災害に対応するよう、DMATの5班体制を確保するために県内外のDMATとの訓練・研修に派遣することにより、質の向上と維持を図る。 	III	III			<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害に対応するよう、DMATの5班体制を確保するために、国、中部地区、岐阜県が開催する訓練・研修に参加し、質の向上と維持を図る。（平成23年度 DMAT 2班） 	<ul style="list-style-type: none"> 災害派遣医療チーム研修（業務研修員）に1名参加した。 岐阜DMAT研修会に5名参加した。 2名が岐阜DMAT隊員証の更新を申請した。 	III		

○「1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組」に関する特記事項

<p>1-1 診療事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者からの各種相談を一体的に受け付け、スムーズに対応できるよう医師1名を常勤させ、「総合相談センター」を設置している。平成23年4月からは正面玄関にコンシェルジュ（常時2名）を設置し、患者相談を含む各種問い合わせに対応できる体制を強化している。 ・相談業務と併せて介助者を配置し、肢体不自由者の受け入れ体制を整備した。 ・患者の需要に的確に対応できる医療を目指しており、「脳卒中内科、脳卒中外科、高血圧科、頭頸部外科、内視鏡外科、成育医療科、物流センター部」を設置した。 ・近隣医療機関との連携については、その役割分担を明確化し紹介率63.3%、逆紹介率75.7%を達成した。 ・周産期医療の夜間・休日診療には周辺地域の開業医11名の協力を得て、小児救急医療拠点病院としては各務原市医師会10名と連携した。また岐阜市からの要請を受け小児夜間輪番にも参加しその役割を果たした。 <p>1-2 調査研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治験管理センター部において、治験の受託件数が毎年増加し、平成24年度計画28件に対して、27件の実績となり、受託件数は昨年度と同程度となった。 	<p>1-3 教育研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い医療従事者の養成として、新しい医療技術の修得・研究のため、国内外に医師を派遣する体制をとり支援した。 <p>1-4 地域支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療を支援するため医師等の人的支援を実施した。（高山赤十字病院・県立下呂温泉病院・下呂市立金山病院他） <p>1-5 災害等発生時における医療救護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当センターは県保健医療計画において、県下における「基幹災害医療センター」として指定されており、その機能を発揮するために毎年災害訓練として、避難訓練・トリアージ訓練・応急処置訓練・除染訓練・ヘリコプターによる重症患者受け入れを実施した。災害派遣医療チーム（DMAT）の育成について国主催の研修に派遣するなど目標である5班体制に対し引き続き2班体制を確保した。
---	--

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

2-1 効率的な業務運営体制の確立

2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立

中期目標	自律性・機動性・効率性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に活かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。 医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、法人の理事長のリーダーシップが発揮できる簡素で効果的な組織体制を確立すること。 ITの活用とアウトソーシングを進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項						
45	・効率的かつ効果的な組織体制の構築 理事長のイニシアチブの下、医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう弾力的な組織づくりを進め、迅速で柔軟性のある業務運営に努め、職員の自主性を尊重し、職員それぞれが自己の役割を全うできるよう効率的・効果的な組織体制づくりをする。	III	III			・効率的かつ効果的な組織体制の構築 理事長のイニシアチブの下、医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう診療体制を引き続き確保するための弾力的な組織づくりを進める。	・専門職の雇用を増員し、組織力の強化に努めた。 ※医療クラーク：10人増（38人→48人） ・また、併せて事務局体制を強化するため、新棟建設企画監を新設する組織改正を行った。	III								
46	・各種業務のIT化の推進 人事給与システム、旅費システム、経営管理システムなど各種事務処理において、積極的にITを活用する。	III	III			・各種業務のIT化の推進 人事給与システム、旅費システム、経営管理システムなどの機能見直しを随時実施し、効率的な事務環境を作り上げていく。	・ASPサービスの利用により人事・給与システムを導入するとともに、手当の増加や給与表の改定等にすみやかに対応するなど、給与計算事務を支援した。また、旅費計算ソフトにより、旅費計算事務の効率化を図っている。	III								
47	・アウトソーシング導入による合理化 定型的な業務のうち委託が可能なものについては、アウトソーシングの導入を図る。	III	III			・アウトソーシング導入による合理化 アウトソーシングの導入については、病院経営とのバランスを考慮しながら、委託内容や方法などの見直しを行う。委託事業についての費用対効果等については事務局においてチェックを行う。	・庁舎管理部門（清掃、設備監視、防災他）や医業部門（給食、医事業務、洗濯業務他）の専門的スキルを有する部門について、アウトソーシングを導入しているが、特に情報業務システム関連業務、SPD業務の契約において、平成23年度に質・量の徹底的な見直ししたことによって、平成24年度の契約において、大幅な経費節減を実現できた。 ・診療材料について、メーカー間の競争を促し、価格交渉を継続して節減したことに加え、前年度の価格交渉結果を常に監視することで本年度も節減効果を維持した。 アウトソーシング導入件数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> </tr> <tr> <td>1,857件</td> <td>2,601件</td> <td>3,272件</td> </tr> </table> ※電子カルテシステム中のデータをCD出力した件数	H22	H23	H24	1,857件	2,601件	3,272件	III		
H22	H23	H24														
1,857件	2,601件	3,272件														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
48	<p>・経営効率の高い業務執行体制の確立 事務局職員の病院運営や医療事務等に係る能力向上を支援することで、経営企画機能を強化し、経営環境の変化に対応できる業務執行体制を整備する。また、定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用する制度を整備する。</p>	III	III			<p>・経営効率の高い業務執行体制の確立 機動的、効率的な病院運営を図り平成22年度に策定した「事務局職員の人材開発」に積極的に取り組むとともに、積極的に各種研修会に参加するなど地方独立行政法人化に合わせて整備した経営企画機能部門・人事労務管理部門を強化し、経営環境の変化に対応できる業務執行体制を確立する。</p>	<p>・経営効率の高い業務執行体制の確立 経営企画課において、経営分析等を行うことで、経営改善すべき点の把握につとめ、効率的な病院運営を図るための方策等を検討した。</p>	III		

2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用

中期目標	<p>医療需要の変化に迅速に対応し、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。</p>
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																
49	<p>・弾力的運用の実施 医療需要や患者動向の変化に迅速・柔軟に対応した診療科の変更、医師・看護師等の配置の弾力的運用を行う。 脊椎脊髄外科センター、睡眠時無呼吸センター、前立腺センター、小児腎臓科、総合診療科等、医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した診療科を設置し、また、漢方医療を活用した日本型医療の創生をめざし、漢方科の設置について検討する。</p>	III	III			<p>・弾力的運用の実施 医療需要や患者動向の変化に迅速・柔軟に対応した診療科の変更、医師・看護師等の配置の弾力的運用を行う。 平成23年度は、成人先天性心疾患診療科、心臓カテーテル室、専門外来(女性、頭痛、ものわすれ)、母胎科、救急外科、総合リハビリテーションセンターを設置した。</p>	<p>・平成24年度においては、脳卒中内科、脳卒中外科、内視鏡外科、成育医療科、病理センター・病理診断連携科、高血圧科、頭頸部外科等を設置し、医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した。</p>	III																		
50	<p>・効果的な体制による医療の提供 常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用など、効果的な体制による医療の提供に努める。 特に、医療職サポートシステム(医療クラーク、病棟等看護クラーク等)の強化、充実を図る。</p>	III	IV			<p>・効果的な体制による医療の提供 常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用など、効果的な体制による医療の提供に努める。 特に、医療職サポートシステム(医師事務作業補助職員：32人(平成23年度)→39人、看護事務補助職員：20人(平成23年度)→25人)の強化、充実を図る。</p>	<p>・医療職サポートシステムの強化、充実を図るため各種クラークを採用した。</p> <p>医師・看護師事務作業補助者数 (各年3.31)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師クラーク</td> <td>20人</td> <td>38人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>16人</td> <td>26人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>36人</td> <td>64人</td> <td>74人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	医師クラーク	20人	38人	48人	看護クラーク	16人	26人	26人	合計	36人	64人	74人	IV		
	H22	H23	H24																							
医師クラーク	20人	38人	48人																							
看護クラーク	16人	26人	26人																							
合計	36人	64人	74人																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																								
51	<p>・3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化） 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院間で、職種の特殊性に配慮し、積極的に人事交流を行うなど、3法人間人材活用等のネットワーク化により、適正な職員配置を実現する。</p>	III	III			<p>・3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化） 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院間で、職種の特殊性に配慮し、積極的に人事交流を行うことで、職種による人材の過不足を相互に補い、適正な職員配置を実現する。</p>	<p>・3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化）を実施した。 ・人事交流実績（出向） 他法人からの出向（受入）3人 〔看護師（下呂温泉病院2人）、助産師（下呂温泉病院1人）〕 他法人への出向 2人 〔コメディカル（下呂温泉病院2人）〕</p> <p>職員の他法人への出向状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>他法人職員の受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1</td> <td>2(3)</td> <td>2(1)</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2</td> <td>4(3)</td> <td>3(1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 看護師欄にある（ ）は、助産師数</p>		H22	H23	H24	医師	—	—	—	歯科医師	—	—	—	看護師	1	1	—	准看護師	—	—	—	コメディカル	10	4	2	合計	11	5	2		H22	H23	H24	医師	—	—	—	歯科医師	—	—	—	看護師	1	2(3)	2(1)	准看護師	—	—	—	コメディカル	1	2	1	合計	2	4(3)	3(1)	III		
	H22	H23	H24																																																															
医師	—	—	—																																																															
歯科医師	—	—	—																																																															
看護師	1	1	—																																																															
准看護師	—	—	—																																																															
コメディカル	10	4	2																																																															
合計	11	5	2																																																															
	H22	H23	H24																																																															
医師	—	—	—																																																															
歯科医師	—	—	—																																																															
看護師	1	2(3)	2(1)																																																															
准看護師	—	—	—																																																															
コメディカル	1	2	1																																																															
合計	2	4(3)	3(1)																																																															
					<p>・障がい者雇用の促進 平成24年1月～12月の間で、障がい者を3.5人雇用する。</p>	<p>平成24年度 障がい者雇用数 1人</p>	—																																																											

2-1-3 人事評価システムの構築

中期目標	職員のモチベーション向上のため、知識、能力、経験や勤務実績等を反映させた公平で客観的な人事評価制度の構築を図り、中期目標の期間の最終年度までに試行運用を行うこと。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
52	・職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成、人事管理に活用するための公正で客観的な人事評価制度を構築する。なお、中期目標の期間内に当該制度を試行的に実施するものとする。	III	III			・職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成、人事管理に活用するための公正で客観的な人事評価制度を構築する。なお、中期目標の期間内に当該制度を試行的に実施するため、県内・他県の先進事例を参考に、独自の人事評価制度の構築に向け引き続き検討する。	<p><人事評価制度構築への取り組み状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度の構築作業が円滑かつ効果的に推進するよう、専門業者に事業を委託し、制度の構築及び職員に対する研修業務等を実施した（業者はプロポーザル方式により選定）。 ○1～2回/月の頻度で人事評価制度検討委員会を開催し、制度の基本設計及び詳細設計等を検討し、制度を構築した。 ○職員に対する説明会及び評価者に対する研修会を実施（3/25,27）し、平成25年度には3診療科、看護部、薬剤部、中央放射線部、事務局を抽出して試行を実施する段階に達した。 	IV		

2-1-4 事務部門の専門性の向上

中期目標	事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
53	・経営管理機能を強化するため、病院事務に精通し、経営の中心となるプロパー職員を計画的に確保する。また、専門性の向上に計画的に取り組むため、診療報酬等の専門研修、病院経営に係る財務経営分析等の研修、危機管理に関する研修など事務部門の病院運営や医療事務に精通した職員を確保する。	III	III			<ul style="list-style-type: none"> ・新たに必要となった人事労務機能の強化のため、総務課内に設置した「人事労務担当」、経営管理機能を強化するために設置した「経営企画課」に関して、更なる専門性の向上を図る。 そのため、平成22年度に策定した「事務職員の人材開発」に積極的に取り組み、新人職員の院内研修を行うとともに人事・労務管理に関する研修、病院経営に係る財務経営分析等の研修、危機管理に関 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局に新棟建設企画監を設置するとともに、プロパー（事務職）職員を計画的に採用（事務職員5人）し病院運営や医療事務に精通した事務職員を確保した。 ・経営企画課主導による経営状況の分析、課題への取組等について経営会議において検討し、収益体質の向上や効率的な経営に取り組み収益の増加やコスト削減に寄与した。また、専門性の向上のため、 	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項															
						<p>する研修、医事管理の専門研修などへの参加を支援するとともに、プロパー（事務職）職員を計画的に採用し、事務部門の病院運営や医療事務に精通した職員を確保する。</p> <p>職務に関連する研修の参加を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営会議 月1回開催 毎月の経営状況の把握、診療科別損益計算やDPC係数等収益性の向上を課題として実施した。 ・施設基準 診療内容を精査した上で、必要な項目を届出することで、収益性の向上に取り組んだ。 <p>事務職員の状況 (各年3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>1人</td> <td>10人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>26人</td> <td>28人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>27人</td> <td>38人</td> <td>40人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	プロパー職員	1人	10人	14人	県派遣職員	26人	28人	26人	合計	27人	38人	40人			
	H22	H23	H24																						
プロパー職員	1人	10人	14人																						
県派遣職員	26人	28人	26人																						
合計	27人	38人	40人																						

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組
 2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善
 2-2-1 多様な契約手法の導入

中期 目標	透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図るとともに、費用の節減に努めること。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
54	・入札・契約事務について、民間病院の取り組みを参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法を導入するなど、集約化・簡素化・迅速化を図り、経費の節減に努める。	III	IV			<p>・入札・契約については透明性・公平性を図るため、民間病院や先行した地方独立行政法人の取り組みを参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法の導入に向け検討し、集約化・簡素化・迅速化を図り、経費の節減を図る。</p> <p>・診療材料について、メーカー間の競争を促し、価格交渉を継続して節減したことに加え、前年度の価格交渉結果を常に監視することで本年度も節減効果を維持した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部署における診療材料の定数品目及び数量の見直しを行い効率的な管理を推進した。 ・診療情報システム及び同ネットワークに係る保守管理については前年度に実施した委託業務の見直し結果を活用し、大幅な削減効果を得られた。 	IV			

2-2-2 収入の確保

中期目標	地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																						
55	<p>・効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 担当職員の配置と空床管理マニュアルにより、有効な病床管理を徹底し、病床利用率の向上に取り組む。また、医療機器については、開放型病床登録医師（地域開業医師）との病診連携を密にし、開放型病床を活用することで、医療機器の稼働率の向上を図る。さらに、医療需要の変化や患者動向に対応できるよう診療科を多様化し、健診部門についても導入を目指す。</p>	III	III			<p>・効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 担当看護師の配置と空床管理マニュアルにより、効率的な病床管理を徹底し、病床利用率の向上に取り組む。また、医療機器については、開放型病床登録医師（地域開業医師）との病診連携を密にし、開放型病床を活用することで、医療機器の稼働率の向上を図る。</p>	<p>・地域の医療機関等との連携として、共同指導、病床(100床)・設備の開放を行い病診連携を推進した。 ・開放型病床利用率、共同指導回数(月平均)の推移</p> <table border="1"> <tr><td>項目・年度</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td></tr> <tr><td>共同指導(回)</td><td>12.7</td><td>12.6</td><td>15.5</td></tr> <tr><td>病床利用率</td><td>75.1%</td><td>66.3%</td><td>48.9%</td></tr> </table> <p>・MRI、CT、胃カメラ等の検査は登録医からの FAXにより予約が可能となっている。</p> <p>○実績</p> <table border="1"> <tr><td>項目・年度</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td></tr> <tr><td>FAX 予約</td><td>1,253</td><td>1,173</td><td>1,087</td></tr> </table>	項目・年度	H22	H23	H24	共同指導(回)	12.7	12.6	15.5	病床利用率	75.1%	66.3%	48.9%	項目・年度	H22	H23	H24	FAX 予約	1,253	1,173	1,087	III																																				
項目・年度	H22	H23	H24																																																													
共同指導(回)	12.7	12.6	15.5																																																													
病床利用率	75.1%	66.3%	48.9%																																																													
項目・年度	H22	H23	H24																																																													
FAX 予約	1,253	1,173	1,087																																																													
							<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2"></th><th>H24</th><th>H23</th><th>H24/H23</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="4">外来</td><td>患者数</td><td>人</td><td>297,289</td><td>285,186</td><td>104.2</td></tr> <tr><td>平均患者数</td><td>人/日</td><td>1,213</td><td>1,169</td><td>103.8</td></tr> <tr><td>診療額</td><td>百万円</td><td>4,319</td><td>4,092</td><td>105.5</td></tr> <tr><td>診療単価</td><td>円/日</td><td>14,527</td><td>14,348</td><td>101.2</td></tr> <tr><td rowspan="6">入院</td><td>患者数</td><td>人</td><td>192,695</td><td>193,205</td><td>99.7</td></tr> <tr><td>平均患者数</td><td>人/日</td><td>528</td><td>528</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>診療額</td><td>百万円</td><td>13,416</td><td>12,508</td><td>107.3</td></tr> <tr><td>診療単価</td><td>円/日</td><td>69,624</td><td>64,741</td><td>107.5</td></tr> <tr><td>在院日数</td><td>日</td><td>12.5</td><td>13.4</td><td>93.3</td></tr> <tr><td>病床利用率</td><td>%</td><td>90.0</td><td>89.5</td><td>100.6</td></tr> </tbody> </table>			H24	H23	H24/H23	外来	患者数	人	297,289	285,186	104.2	平均患者数	人/日	1,213	1,169	103.8	診療額	百万円	4,319	4,092	105.5	診療単価	円/日	14,527	14,348	101.2	入院	患者数	人	192,695	193,205	99.7	平均患者数	人/日	528	528	100.0	診療額	百万円	13,416	12,508	107.3	診療単価	円/日	69,624	64,741	107.5	在院日数	日	12.5	13.4	93.3	病床利用率	%	90.0	89.5	100.6
		H24	H23	H24/H23																																																												
外来	患者数	人	297,289	285,186	104.2																																																											
	平均患者数	人/日	1,213	1,169	103.8																																																											
	診療額	百万円	4,319	4,092	105.5																																																											
	診療単価	円/日	14,527	14,348	101.2																																																											
入院	患者数	人	192,695	193,205	99.7																																																											
	平均患者数	人/日	528	528	100.0																																																											
	診療額	百万円	13,416	12,508	107.3																																																											
	診療単価	円/日	69,624	64,741	107.5																																																											
	在院日数	日	12.5	13.4	93.3																																																											
	病床利用率	%	90.0	89.5	100.6																																																											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
56	<p>・未収金の発生防止対策等 診療報酬の請求もれ防止と未収金の発生の未然防止を徹底するため、相談窓口拡充を図る。</p>	III	IV			<p>・未収金の発生防止対策等 診療費に係る未収金の発生防止対策として、緊急に入院となった患者への面談を実施することで保険確認や支払相談に早期に着手することで未収金発生の未然防止を徹底する。また、23年10月から導入した入院患者に対する退院時請求・支払が行える体制を定着化させるとともに支払に関する相談に応じる体制も確保する。やむなく未収金となった場合には、支払計画の作成を促すと併せてその履行を確認し、早期の督促、催告を実施する。あわせて回収が困難と見込まれる未収金については、22年度末から実施した債権回収業務（弁護士法人）にその処理を委託し効果的、効率的な未収金回収に努める。</p>	<p>○発生防止 ・入院説明室（H22.5 設置）で、入院決定時に概算費用の提示や福祉制度の説明など医療相談員への仲介を実施した。また、入院患者には原則として限度額認定証の提示を求めていることを説明し、その手続きを依頼した。 ・医療相談員により、救急搬送患者に対する身元確認、保険確認を早期に行い、医療保険制度の活用を紹介するなど高額な患者負担額とならないよう努めた。 ・出産に伴う入院費について、出産一時金直接払制度を全ての出産について利用していただくよう徹底を図った。制度の利用が困難な事案については、医療相談員の介入を早期に実施し、退院時の支払が出来るよう支援を行った。</p> <p>○回収 ・毎月2回、定期的に督促状を發布し、早期に未収金回収に着手した。 ・督促状發布後、随時催告状を発送するとともに必要に応じ夜間電話催告や臨宅催告を行った。 ・未納者が受診した際には、面談による納付催告実施した。 ・回収困難な未収金について、弁護士法人に回収業務を委託し、回収の実績を上げた。</p> <p>○回収実績（各年2月時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託金額</td> <td>64,558 千円</td> <td>106,970 千円</td> </tr> <tr> <td>回収金額</td> <td>12,397 千円</td> <td>30,185 千円</td> </tr> <tr> <td>回収率</td> <td>19.2%</td> <td>28.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○センター全体の取り組み ・未収金対策部会（H22.12 設置）がリーダーシップをとり、現状把握、回収・発生防止を病院全体で行った。</p>		H24	H25	委託金額	64,558 千円	106,970 千円	回収金額	12,397 千円	30,185 千円	回収率	19.2%	28.2%	IV		
	H24	H25																				
委託金額	64,558 千円	106,970 千円																				
回収金額	12,397 千円	30,185 千円																				
回収率	19.2%	28.2%																				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																			
						<p>・病棟による支払確認後に退院させるようにし、休日退院患者に対し、可能な場合お退院前に入院費の計算を行い、請求する体制をとり、成果を上げた。</p> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療相談員を2人増員し、各種医療相談への対応を充実させた。(H22 から) ・クレジットカード決済を導入 (H22. 7) し、支払機会の拡大を図ることで、入院費など的高額な支払が円滑に出来るよう体制を整えた。 <p>○クレジットカード利用実績割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>3. 29%</td> <td>4. 90%</td> <td>6. 95%</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>11. 20%</td> <td>14. 76%</td> <td>18. 30%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※全体の支払件数、金額に占めるクレジットカード利用率</p> <p>未収金発生状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>877</td> <td>84, 110</td> <td>763</td> <td>73, 554</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>429</td> <td>29, 932</td> <td>372</td> <td>19, 796</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1, 306</td> <td>114, 042</td> <td>1, 135</td> <td>93, 350</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度、翌年5月31日現在の数値 ※H23年度からH24年度で医業収益が1,150百万円増加したのに対して、H24年度に新規で発生した未収金は、H23年度に比較して約10百万円減少した。</p>		H22	H23	H24	件数	3. 29%	4. 90%	6. 95%	金額	11. 20%	14. 76%	18. 30%		H23		H24		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	過年分	877	84, 110	763	73, 554	現年分	429	29, 932	372	19, 796	合 計	1, 306	114, 042	1, 135	93, 350			
	H22	H23	H24																																										
件数	3. 29%	4. 90%	6. 95%																																										
金額	11. 20%	14. 76%	18. 30%																																										
	H23		H24																																										
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																																									
過年分	877	84, 110	763	73, 554																																									
現年分	429	29, 932	372	19, 796																																									
合 計	1, 306	114, 042	1, 135	93, 350																																									

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																								
57	<p>・入院時医学管理加算として退院時の開業医への紹介率（退院時加算等40%以上）の向上 入院時医学管理加算の強化や看護師の集中による集中治療加算など、診療報酬を増やし収入が確保できる体制を整備する。</p>	III	III			<p>・総合入院体制加算（旧：入院時医学管理加算）として退院時の開業医への紹介率（退院時加算等40%以上）の向上 平成24年度の診療報酬改定に柔軟に対応し、診療収入の確保に繋がる施設基準についてはその体制整備等を行い、速やかに届出等を行う。特に、総合入院体制加算や地域医療支援病院入院診療加算など収入への影響が大きい加算については、その算定基準（要件）を維持する。 総合入院体制加算：退院時診療情報添付加算算定割合 40%以上 地域医療支援病院入院診療加算：紹介率40%以上、逆紹介率60%以上</p>	<p>・総合入院体制加算の要件である「地域の他の保険医療機関との連携のもとに、診療情報提供料（I）の加算を算定する退院患者数及び治癒し通院の必要のない患者数が直近の1ヶ月間の総退院患者数のうち、4割以上であること」（退院時加算40%以上）が達成できた。</p> <p>・実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>61.5%</td> <td>61.8%</td> <td>63.3%</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数</td> <td>13,330件</td> <td>13,538件</td> <td>14,524件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>73.4%</td> <td>72.7%</td> <td>75.7%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数</td> <td>16,937件</td> <td>16,867件</td> <td>18,488件</td> </tr> <tr> <td>退院時加算</td> <td>42.1%</td> <td>44.5%</td> <td>50.2%</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	紹介率	61.5%	61.8%	63.3%	紹介実施件数	13,330件	13,538件	14,524件	逆紹介率	73.4%	72.7%	75.7%	逆紹介実施件数	16,937件	16,867件	18,488件	退院時加算	42.1%	44.5%	50.2%	IV		
	H22	H23	H24																															
紹介率	61.5%	61.8%	63.3%																															
紹介実施件数	13,330件	13,538件	14,524件																															
逆紹介率	73.4%	72.7%	75.7%																															
逆紹介実施件数	16,937件	16,867件	18,488件																															
退院時加算	42.1%	44.5%	50.2%																															

2-2-3 費用の削減

中期 目標	薬剤・診療材料の購入方法の見直しや在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の採用などにより費用の削減に努めること。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																
58	<p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用などによる費用の削減</p> <p>専門職員を配置し、他病院での医薬品・診療材料等の購入価格や後発医薬品の使用状況を調査・分析し、効率的・経済的な購入に努め、費用の削減を図る。</p>	III	III			<p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用などによる費用の削減</p> <p>・医薬品については、全国自治体病院協議会医薬品ベンチマーク・分析システム事業に参加し、医薬品の適正な管理、購入価格の削減に活かす。</p> <p>・医薬品費、診療材料費等の材料費を対前年度比で1%の削減を図る。</p> <p>・材料費について医薬収益の30%以下を目指す。</p> <p>・ジェネリック医薬品の使用率10.74%（平成22年度使用単位数比較）以上を目指す。</p>	<p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用などによる費用の削減を目指した。</p> <p>・医薬品のコスト削減への取り組み状況 先発品から後発品に、院内コンセンサスを得ながら変更した。</p> <p>・コンサルタント活用による情報収集と診療材料のコスト削減への取り組み。</p> <p>・ジェネリック医薬品使用単位数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>増加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用率</td> <td>11.13%</td> <td>11.27%</td> <td>0.14</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ジェネリック医薬品の使用率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>6.36%</td> <td>6.51%</td> <td>6.81%</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>3.87%</td> <td>5.45%</td> <td>5.12%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医薬収益に対する材料費比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>15.46%</td> <td>14.34%</td> <td>13.87%</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>13.07%</td> <td>14.06%</td> <td>13.46%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H23	H24	増加率	使用率	11.13%	11.27%	0.14		H22	H23	H24	品目ベース	6.36%	6.51%	6.81%	金額ベース	3.87%	5.45%	5.12%		H22	H23	H24	薬品費	15.46%	14.34%	13.87%	診療材料費	13.07%	14.06%	13.46%	III		
年度	H23	H24	増加率																																							
使用率	11.13%	11.27%	0.14																																							
	H22	H23	H24																																							
品目ベース	6.36%	6.51%	6.81%																																							
金額ベース	3.87%	5.45%	5.12%																																							
	H22	H23	H24																																							
薬品費	15.46%	14.34%	13.87%																																							
診療材料費	13.07%	14.06%	13.46%																																							

○「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」に関する特記事項

2-1 効率的な業務運営体制の確立

- ・理事長の強力なリーダーシップの下、地方独立行政法人化を契機に医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう、「脳卒中内科、脳卒中外科、高血圧科、頭頸部外科、内視鏡外科、成育医療科、物流センター部」等を増設した。
- ・総務課に新棟建設企画監及び新棟建設担当を設置し、平成27年度完成に向けて、重症心身障がい児病棟の基本設計、実施設計を策定した。

2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善

- ・業務運営の効率化について、医療機器・医薬品・診療材料の調達に関する検討委員会を設置し、院内で統一した購入方針・物品等管理方法等への取組を行い、効率的な調達をすることとした。
- ・診療材料については、コンサルタントを活用して材料ごとに価格等のデータ収集・分析を行い、積極的な価格交渉により経費削減を行った。
- ・DPCデータの分析やコンサルタントを活用し、診療科へデータ等をフィードバックするなど、病院全体でコスト削減に対する意識を醸成した。

3 予算（人件費の見積含む）、収支計画及び資金計画

中期目標	<p>経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、中期目標の期間の最終年度までに経常収支比率100%以上を達成すること。</p> <p>職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院の黒字病院の当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標の期間の最終年度までに達成すること。</p>
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																																																													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																																																													
59	<p>「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。</p>	IV	III			<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。</p>	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率103.1%、及び職員給与費対医業収益比率47.2%と年度計画を上回る結果となった。</p> <p>経常収支比率・職員給与費対医業収益比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>97.2%</td> <td>98.8%</td> <td>103.1%</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>47.4%</td> <td>47.2%</td> <td>47.2%</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	経常収支	97.2%	98.8%	103.1%	職員給与費	47.4%	47.2%	47.2%	IV																																																																																			
	H22	H23	H24																																																																																																				
経常収支	97.2%	98.8%	103.1%																																																																																																				
職員給与費	47.4%	47.2%	47.2%																																																																																																				
<p>3-1 予算（平成22年度～平成26年度） (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>79,993</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>74,758</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>3,816</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>1,420</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>1,156</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,017</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>1,052.5</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>5,963</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>4,339</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>223</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>91,674</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		区分	金額	収入		営業収益	79,993	医業収益	74,758	運営費負担金収益	3,816	その他営業収益	1,420	営業外収益	1,156	運営費負担金収益	1,017	その他営業外収益	138	資本収入	1,052.5	長期借入金	5,963	運営費負担金	4,339	その他資本収入	223	その他の収入	0	計	91,674	支出				<p>3-1 予算（平成24年度） (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>17,935</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>16,808</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>916</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>211</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>237</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>1,057</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>316</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>642</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>19,229</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		区分	金額	収入		営業収益	17,935	医業収益	16,808	運営費負担金収益	916	その他営業収益	211	営業外収益	237	運営費負担金収益	180	その他営業外収益	56	資本収入	1,057	長期借入金	316	運営費負担金	642	その他資本収入	100	その他の収入	0	計	19,229	支出		<p>3-1 決算（平成24年度） (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>19,297</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>18,075</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>932</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>931</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>203</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>638</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>20,473</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		区分	金額	収入		営業収益	19,297	医業収益	18,075	運営費負担金収益	932	その他営業収益	290	営業外収益	240	運営費負担金収益	170	その他営業外収益	70	資本収入	931	長期借入金	203	運営費負担金	638	その他資本収入	90	その他の収入	5	計	20,473	支出	
区分	金額																																																																																																						
収入																																																																																																							
営業収益	79,993																																																																																																						
医業収益	74,758																																																																																																						
運営費負担金収益	3,816																																																																																																						
その他営業収益	1,420																																																																																																						
営業外収益	1,156																																																																																																						
運営費負担金収益	1,017																																																																																																						
その他営業外収益	138																																																																																																						
資本収入	1,052.5																																																																																																						
長期借入金	5,963																																																																																																						
運営費負担金	4,339																																																																																																						
その他資本収入	223																																																																																																						
その他の収入	0																																																																																																						
計	91,674																																																																																																						
支出																																																																																																							
区分	金額																																																																																																						
収入																																																																																																							
営業収益	17,935																																																																																																						
医業収益	16,808																																																																																																						
運営費負担金収益	916																																																																																																						
その他営業収益	211																																																																																																						
営業外収益	237																																																																																																						
運営費負担金収益	180																																																																																																						
その他営業外収益	56																																																																																																						
資本収入	1,057																																																																																																						
長期借入金	316																																																																																																						
運営費負担金	642																																																																																																						
その他資本収入	100																																																																																																						
その他の収入	0																																																																																																						
計	19,229																																																																																																						
支出																																																																																																							
区分	金額																																																																																																						
収入																																																																																																							
営業収益	19,297																																																																																																						
医業収益	18,075																																																																																																						
運営費負担金収益	932																																																																																																						
その他営業収益	290																																																																																																						
営業外収益	240																																																																																																						
運営費負担金収益	170																																																																																																						
その他営業外収益	70																																																																																																						
資本収入	931																																																																																																						
長期借入金	203																																																																																																						
運営費負担金	638																																																																																																						
その他資本収入	90																																																																																																						
その他の収入	5																																																																																																						
計	20,473																																																																																																						
支出																																																																																																							

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																																																																														
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																													
	<table border="1"> <tr><td>営業費用</td><td>73,180</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>71,899</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>36,395</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>22,621</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>12,385</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>497</td></tr> <tr><td> 一般管理費</td><td>1,281</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>1,063</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>218</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>1,624</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>16,430</td></tr> <tr><td> 建設改良費</td><td>5,554</td></tr> <tr><td> 償還金</td><td>10,826</td></tr> <tr><td> その他資本支出</td><td>50</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>221</td></tr> <tr><td>計</td><td>91,454</td></tr> </table>		営業費用	73,180	医業費用	71,899	給与費	36,395	材料費	22,621	経費	12,385	研究研修費	497	一般管理費	1,281	給与費	1,063	経費	218	営業外費用	1,624	資本支出	16,430	建設改良費	5,554	償還金	10,826	その他資本支出	50	その他の支出	221	計	91,454					<table border="1"> <tr><td>営業費用</td><td>16,208</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>15,941</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>7,794</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>5,199</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>2,823</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>124</td></tr> <tr><td> 一般管理費</td><td>267</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>226</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>41</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>273</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>2,471</td></tr> <tr><td> 建設改良費</td><td>1,461</td></tr> <tr><td> 償還金</td><td>973</td></tr> <tr><td> その他資本支出</td><td>38</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>10</td></tr> <tr><td>計</td><td>18,963</td></tr> </table>		営業費用	16,208	医業費用	15,941	給与費	7,794	材料費	5,199	経費	2,823	研究研修費	124	一般管理費	267	給与費	226	経費	41	営業外費用	273	資本支出	2,471	建設改良費	1,461	償還金	973	その他資本支出	38	その他の支出	10	計	18,963	<table border="1"> <tr><td>営業費用</td><td>16,601</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>16,287</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>8,088</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>5,295</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>2,772</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>132</td></tr> <tr><td> 一般管理費</td><td>314</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>269</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>45</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>257</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>2,012</td></tr> <tr><td> 建設改良費</td><td>1,088</td></tr> <tr><td> 償還金</td><td>886</td></tr> <tr><td> その他資本支出</td><td>39</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>18,871</td></tr> </table>		営業費用	16,601	医業費用	16,287	給与費	8,088	材料費	5,295	経費	2,772	研究研修費	132	一般管理費	314	給与費	269	経費	45	営業外費用	257	資本支出	2,012	建設改良費	1,088	償還金	886	その他資本支出	39	その他の支出	0	計	18,871																
営業費用	73,180																																																																																																																									
医業費用	71,899																																																																																																																									
給与費	36,395																																																																																																																									
材料費	22,621																																																																																																																									
経費	12,385																																																																																																																									
研究研修費	497																																																																																																																									
一般管理費	1,281																																																																																																																									
給与費	1,063																																																																																																																									
経費	218																																																																																																																									
営業外費用	1,624																																																																																																																									
資本支出	16,430																																																																																																																									
建設改良費	5,554																																																																																																																									
償還金	10,826																																																																																																																									
その他資本支出	50																																																																																																																									
その他の支出	221																																																																																																																									
計	91,454																																																																																																																									
営業費用	16,208																																																																																																																									
医業費用	15,941																																																																																																																									
給与費	7,794																																																																																																																									
材料費	5,199																																																																																																																									
経費	2,823																																																																																																																									
研究研修費	124																																																																																																																									
一般管理費	267																																																																																																																									
給与費	226																																																																																																																									
経費	41																																																																																																																									
営業外費用	273																																																																																																																									
資本支出	2,471																																																																																																																									
建設改良費	1,461																																																																																																																									
償還金	973																																																																																																																									
その他資本支出	38																																																																																																																									
その他の支出	10																																																																																																																									
計	18,963																																																																																																																									
営業費用	16,601																																																																																																																									
医業費用	16,287																																																																																																																									
給与費	8,088																																																																																																																									
材料費	5,295																																																																																																																									
経費	2,772																																																																																																																									
研究研修費	132																																																																																																																									
一般管理費	314																																																																																																																									
給与費	269																																																																																																																									
経費	45																																																																																																																									
営業外費用	257																																																																																																																									
資本支出	2,012																																																																																																																									
建設改良費	1,088																																																																																																																									
償還金	886																																																																																																																									
その他資本支出	39																																																																																																																									
その他の支出	0																																																																																																																									
計	18,871																																																																																																																									
	(注記 略)						(注記 略)		(注記 略)																																																																																																																	
	3-2 収支計画 (平成22年度～平成26年度) (単位:百万円)						3-2 収支計画 (平成24年度) (単位:百万円)		3-2 収支計画に対する実績 (平成24年度) (単位:百万円)																																																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr><th>区分</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>81,130</td></tr> <tr><td> 営業収益</td><td>79,973</td></tr> <tr><td> 医業収益</td><td>74,673</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>3,816</td></tr> <tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>50</td></tr> <tr><td> その他営業収益</td><td>1,399</td></tr> <tr><td> 営業外収益</td><td>1,153</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,017</td></tr> <tr><td> その他営業外収益</td><td>136</td></tr> <tr><td> 臨時利益</td><td>39</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>85,259</td></tr> <tr><td> 営業費用</td><td>80,911</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>79,528</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>36,070</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>21,570</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>11,985</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>9,428</td></tr> </tbody> </table>		区分	金額	収益の部	81,130	営業収益	79,973	医業収益	74,673	運営費負担金収益	3,816	資産見返負債戻入	50	その他営業収益	1,399	営業外収益	1,153	運営費負担金収益	1,017	その他営業外収益	136	臨時利益	39	費用の部	85,259	営業費用	80,911	医業費用	79,528	給与費	36,070	材料費	21,570	経費	11,985	減価償却費	9,428					<table border="1"> <thead> <tr><th>区分</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>18,127</td></tr> <tr><td> 営業収益</td><td>17,892</td></tr> <tr><td> 医業収益</td><td>16,752</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>916</td></tr> <tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>19</td></tr> <tr><td> その他営業収益</td><td>206</td></tr> <tr><td> 営業外収益</td><td>235</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>180</td></tr> <tr><td> その他営業外収益</td><td>55</td></tr> <tr><td> 臨時利益</td><td>0</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>18,525</td></tr> <tr><td> 営業費用</td><td>17,856</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>17,584</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>7,791</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>4,952</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>2,815</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>1,906</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>119</td></tr> </tbody> </table>		区分	金額	収益の部	18,127	営業収益	17,892	医業収益	16,752	運営費負担金収益	916	資産見返負債戻入	19	その他営業収益	206	営業外収益	235	運営費負担金収益	180	その他営業外収益	55	臨時利益	0	費用の部	18,525	営業費用	17,856	医業費用	17,584	給与費	7,791	材料費	4,952	経費	2,815	減価償却費	1,906	研究研修費	119	<table border="1"> <thead> <tr><th>区分</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>19,557</td></tr> <tr><td> 営業収益</td><td>19,270</td></tr> <tr><td> 医業収益</td><td>18,057</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>907</td></tr> <tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>19</td></tr> <tr><td> その他営業収益</td><td>286</td></tr> <tr><td> 営業外収益</td><td>282</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>170</td></tr> <tr><td> その他営業外収益</td><td>112</td></tr> <tr><td> 臨時利益</td><td>5</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>19,023</td></tr> <tr><td> 営業費用</td><td>18,277</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>17,952</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>8,250</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>5,045</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>2,663</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>1,864</td></tr> </tbody> </table>		区分	金額	収益の部	19,557	営業収益	19,270	医業収益	18,057	運営費負担金収益	907	資産見返負債戻入	19	その他営業収益	286	営業外収益	282	運営費負担金収益	170	その他営業外収益	112	臨時利益	5	費用の部	19,023	営業費用	18,277	医業費用	17,952	給与費	8,250	材料費	5,045	経費	2,663	減価償却費	1,864		
区分	金額																																																																																																																									
収益の部	81,130																																																																																																																									
営業収益	79,973																																																																																																																									
医業収益	74,673																																																																																																																									
運営費負担金収益	3,816																																																																																																																									
資産見返負債戻入	50																																																																																																																									
その他営業収益	1,399																																																																																																																									
営業外収益	1,153																																																																																																																									
運営費負担金収益	1,017																																																																																																																									
その他営業外収益	136																																																																																																																									
臨時利益	39																																																																																																																									
費用の部	85,259																																																																																																																									
営業費用	80,911																																																																																																																									
医業費用	79,528																																																																																																																									
給与費	36,070																																																																																																																									
材料費	21,570																																																																																																																									
経費	11,985																																																																																																																									
減価償却費	9,428																																																																																																																									
区分	金額																																																																																																																									
収益の部	18,127																																																																																																																									
営業収益	17,892																																																																																																																									
医業収益	16,752																																																																																																																									
運営費負担金収益	916																																																																																																																									
資産見返負債戻入	19																																																																																																																									
その他営業収益	206																																																																																																																									
営業外収益	235																																																																																																																									
運営費負担金収益	180																																																																																																																									
その他営業外収益	55																																																																																																																									
臨時利益	0																																																																																																																									
費用の部	18,525																																																																																																																									
営業費用	17,856																																																																																																																									
医業費用	17,584																																																																																																																									
給与費	7,791																																																																																																																									
材料費	4,952																																																																																																																									
経費	2,815																																																																																																																									
減価償却費	1,906																																																																																																																									
研究研修費	119																																																																																																																									
区分	金額																																																																																																																									
収益の部	19,557																																																																																																																									
営業収益	19,270																																																																																																																									
医業収益	18,057																																																																																																																									
運営費負担金収益	907																																																																																																																									
資産見返負債戻入	19																																																																																																																									
その他営業収益	286																																																																																																																									
営業外収益	282																																																																																																																									
運営費負担金収益	170																																																																																																																									
その他営業外収益	112																																																																																																																									
臨時利益	5																																																																																																																									
費用の部	19,023																																																																																																																									
営業費用	18,277																																																																																																																									
医業費用	17,952																																																																																																																									
給与費	8,250																																																																																																																									
材料費	5,045																																																																																																																									
経費	2,663																																																																																																																									
減価償却費	1,864																																																																																																																									

項目 No.	中期計画				過年度の検証結果				H24 年度計画				年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証		
					H22	H23	H24	H25					業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項		
		研究研修費	475							一般管理費	271				研究研修費	131			
		一般管理費	1,383							給与費	226				一般管理費	325			
		給与費	1,058							減価償却費	6				給与費	274			
		減価償却費	117							経費	39				減価償却費	8			
		経費	208							営業外費用	659				経費	43			
		営業外費用	4,128							臨時損失	0				営業外費用	679			
		臨時損失	170							予備費	10				臨時損失	66			
		予備費	50							純利益	▲398				予備費	0			
		純利益	▲4,129							目的積立金取崩額	0				純利益	534			
		目的積立金取崩額	0							総利益	▲398				目的積立金取崩額	0			
		総利益	▲4,129							(注記 略)					総利益	534			
		(注記 略)													(注記 略)				
	3-3 資金計画 (平成22年度~平成26年度) (単位:百万円)								3-3 資金計画 (平成24年度) (単位:百万円)				3-3 資金計画に対する実績 (平成24年度) (単位:百万円)						
	区分		金額		区分		金額		区分		金額		区分		金額				
	資金収入		100,881		資金収入		29,822		資金収入		30,594		資金収入		30,594				
	業務活動による収入		81,149		業務活動による収入		18,171		業務活動による収入		19,153		業務活動による収入		19,153				
	診療業務による収入		74,758		診療業務による収入		16,808		診療業務による収入		17,886		診療業務による収入		17,886				
	運営費負担金による収入		4,883		運営費負担金による収入		1,096		運営費負担金による収入		1,111		運営費負担金による収入		1,111				
	その他の業務活動による収入		1,558		その他の業務活動による収入		267		その他の業務活動による収入		155		その他の業務活動による収入		155				
	投資活動による収入		4,562		投資活動による収入		742		投資活動による収入		84		投資活動による収入		84				
	運営費負担金による収入		4,339		運営費負担金による収入		642		運営費負担金による収入		76		運営費負担金による収入		76				
	その他の投資活動による収入		223		その他の投資活動による収入		100		その他の投資活動による収入		8		その他の投資活動による収入		8				
	財務活動による収入		5,963		財務活動による収入		316		財務活動による収入		765		財務活動による収入		765				
	長期借入による収入		5,963		長期借入による収入		316		長期借入による収入		203		長期借入による収入		203				
	その他の財務活動による収入		0		その他の財務活動による収入		0		その他の財務活動による収入		562		その他の財務活動による収入		562				
	前事業年度からの繰越金		9,207		前事業年度からの繰越金		10,593		前事業年度からの繰越金		10,593		前事業年度からの繰越金		10,593				
	資金支出		100,881		資金支出		29,822		資金支出		30,594		資金支出		30,594				
	業務活動による支出		74,974		業務活動による支出		16,490		業務活動による支出		16,691		業務活動による支出		16,691				

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証		
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
	給与費支出	37,458					給与費支出	8,020		給与費支出	8,513			
	材料費支出	22,621					材料費支出	5,199		材料費支出	5,301			
	その他の業務活動 による支出	14,895					その他の業務活動 による支出	3,271		その他の業務活動 による支出	2,877			
	投資活動による支出	5,554					投資活動による支出	1,461		投資活動による支出	1,118			
	有形固定資産の取 得による支出	5,554					有形固定資産の取 得による支出	1,461		有形固定資産の取 得による支出	1,081			
	その他の投資活動 による支出	0					その他の投資活動 による支出	0		その他の投資活動 による支出	37			
	財務活動による支出	10,826					財務活動による支出	1,011		財務活動による支出	886			
	長期借入金の返済 による支出	0					長期借入金の返済 による支出	0		長期借入金の返済 による支出	81			
	移行前地方債償還 債務の償還による 支出	10,826					移行前地方債償還 債務の償還による 支出	973		移行前地方債償還 債務の償還による 支出	805			
	その他の財務活動 による支出	0					その他の財務活動 による支出	38		その他の財務活動 による支出	0			
	翌事業年度への繰越金	9,527					翌事業年度への繰越金	10,860		翌事業年度への繰越金	11,899			
	(注記 略)						(注記 略)			(注記 略)				

○「3 予算（人件費の見積含む）、収支計画及び資金計画」に関する特記事項

- ・収支計画において、年度計画比較で営業収益は107.7%となった。
- 目標に対する各経営比率は、それぞれ以下のとおりとなった。
 - 「・経常収支比率（経常収益/経常費用）は、103.1%（目標100%）
 - ・人件費比率（給与/医業収益）は、47.2%（目標50%）
 - ・材料費比率（材料費/医業収益）は、27.9%（目標30%）」

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	4-1 限度額 10億円 4-2 想定される短期借入金の発生理由 ・運営費負担金の受入れ遅延、賞与の支給等による 資金不足への対応 ・退職手当等突発的な出費への対応	/	/	/	/	限度額 10億円 想定される短期借入金の発生理由 ・運営費負担金の受入れ遅延、賞与の支給等による 資金不足への対応 ・退職手当等突発的な出費への対応	・限度額 10億円	/	/	

5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

一	なし	/	/	/	/	なし	・該当なし	/	/
---	----	---	---	---	---	----	-------	---	---

6 剰余金の使途

一	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	/	/	/	/	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	・該当なし	/	/
---	---	---	---	---	---	---	-------	---	---

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項
8-1 職員の就労環境の向上

中期 目標	職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かし、医療従事者を必要な人数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。								
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
60	・職員の専門的能力が十分に活用される効果的な病院運営のため、病院職員の最適な勤務環境創出に努める。	III	III			・職員の専門的能力が十分に活用される効果的な病院運営のため、医師事務作業補助職員や看護事務補助職員を始めとする専門職の雇用を拡充し、病院職員の最適な勤務環境の改善に努める。	・専門職の雇用を拡充し、病院職員の最適な勤務環境の改善に努めた。 ・医療クラーク：48人、病棟等看護クラーク：28人（平成24年度末）	IV		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項		
						(各年 3. 31 時点)						
							H22	H23	H24			
						常勤医師数	138 人	145 人	149 人			
						常勤歯科医師数	4 人	3 人	3 人			
						常勤看護師数	483 人	501 人	510 人			
						常勤准看護師数	0 人	0 人	0 人			
						医師クラーク	20 人	38 人	48 人			
						看護クラーク	16 人	26 人	26 人			
61	・仕事と生活をともに充実したものとするため、職員の実情に応じた柔軟な勤務形態の採用、時間外勤務時間の縮減、年次有給の取得促進、代休の取得や週休日の振替の徹底、育児等を支援するための特別休暇の創設等、適切な労働時間の管理のもと職員の家庭環境への配慮に努める。	III	III		・仕事と生活をともに充実したものとするため、4週間単位の変形労働時間制を採用し、時間外勤務時間の縮減、年次有給休暇の取得促進、代休の取得や週休日の振替の徹底、介護や育児等を支援するための特別休暇の創設、夏期休暇・結婚休暇の取得可能期間の拡大及びその周知等、適切な労働時間の管理のもと職員の家庭環境に配慮する。	・勤務実態に合わせ、4週単位から1月単位の変形労働時間制に変更している。また、医師やコメディカルも変形労働時間制による勤務とし、時間外勤務時間の縮減に努めている。	III					
62	・病院職員の健康管理のため、定期健康診断の受診に努めるとともに、職員の勤務状況による健康相談の実施等メンタルヘルスにも配慮した職員の健康管理対策の充実に努める。	III	III		・病院職員の健康管理のため、地方独立行政法人化前と同程度以上の健診(定期健康診断及び人間ドック)や任意検査等(各種抗体検査や予防接種等)を実施するとともに、職員の勤務状況による健康相談の実施等メンタルヘルスにも配慮した職員の健康管理対策の充実に努める。	・職員の健康管理対策の充実に努めた。 <健康診断> ・地方独立行政法人化前と同様の一般定期健康診断に加え、非常勤職員に対しては、協会けんぽの生活習慣病予防検診を活用、人間ドックを希望する常勤職員に対しては、共済組合の助成を受け、人間ドックを実施した。 ・有害な業務に従事する職員に対しても、引き続き特殊健康診断を実施した。 <任意検査等(各種抗体検査、予防接種等)> ・例年に引き続き、B型肝炎検査及び小児ウイルス検査を実施し、その結果、抗体が陰性で予防接種を希望する職員に対しB型肝炎ワクチン及び小児ウイルスワクチンの接種を実施した。(平成24年度からは、水痘ワクチン及びムンプスワクチンの接種を追加) ・また、希望する職員に対してはインフルエンザワクチンの接種を実施した。 <メンタルヘルス> ・『岐阜県総合医療センターにおける心の健康づく	III					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																			
							り計画』に則り、メンタルヘルス対策の推進を図った。 ・院内に職員が相談しやすい相談窓口（さわやか健康相談）を設置するとともに専任の臨床心理士を雇用し、内部の相談窓口の充実を図った。 ・外部の相談窓口としては、「心の健康相談」事業を引き続き笠松クリニック及び県精神保健福祉センターで実施した。																						
63	・医師住宅、看護師寮などの福利厚生施設を充実したり、24時間保育の実施に向け、夜間保育を整備するなど病院の施設・設備を整備することで、ゆとりある職場環境を創造し、職員が安全かつ安心して勤務できる勤務環境づくりに努める。	III	III		・医師住宅、看護師寮などの福利厚生施設の整備や、24時間保育の実施に向け、夜間保育ができる環境を整備するなど病院の施設・設備の整備について検討し、ゆとりある職場環境を創造し、職員が安全かつ安心して勤務できる勤務環境づくりに取り組む。	・医師住宅の浄化槽保守点検、清掃等適切な管理に努めた。 ・平成24年2月1日から24時間保育の受入を開始している。 また、平成27年度新棟内開設予定の病児病後児保育所についても具体的に検討することとし、職員のニーズを考慮するため「病児・病後児保育所についてのアンケート」を実施した。	III																						
64	・職員が高い意欲を持ち、能力を発揮できる病院を目指し、学会等へ参加する機会の確保と、病院内における研修会、講演会等の開催に努める。	III	III		・職員が高い意欲を持ち、能力を発揮できる病院を目指し、学会等への参加を支援し、病院内における研修会、講演会等の開催回数を増やす。	・職員が高い意欲を持ち、能力を発揮できる病院を目指し、独法化後、法人全体として「職員教育研修体系」を策定し、これに基づき全職種を対象とした「平成24年度新規採用者職員研修」を計画した。 ・病院機能評価における重要と定義される分野についての研修会を法人全体で下記のとおり実施した。	III																						
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>部門/回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全について</td> <td>全体/15回、看護部/8回</td> </tr> <tr> <td>感染防止について</td> <td>全体/4回、看護部/18回 中央リハビリテーション部/1回</td> </tr> <tr> <td>接遇研修について</td> <td>全体/1回、看護部/2回</td> </tr> <tr> <td>個人情報について</td> <td>全体/1回</td> </tr> <tr> <td>情報セキュリティについて</td> <td>全体1回、事務局1回</td> </tr> <tr> <td>母乳育児支援について</td> <td>全体3回</td> </tr> <tr> <td>穏和ケアについて</td> <td>全体3回</td> </tr> <tr> <td>児童虐待予防について</td> <td>全体2回</td> </tr> </tbody> </table>		内容	部門/回数	医療安全について	全体/15回、看護部/8回	感染防止について	全体/4回、看護部/18回 中央リハビリテーション部/1回	接遇研修について	全体/1回、看護部/2回	個人情報について	全体/1回	情報セキュリティについて	全体1回、事務局1回	母乳育児支援について	全体3回	穏和ケアについて	全体3回	児童虐待予防について	全体2回				
内容	部門/回数																												
医療安全について	全体/15回、看護部/8回																												
感染防止について	全体/4回、看護部/18回 中央リハビリテーション部/1回																												
接遇研修について	全体/1回、看護部/2回																												
個人情報について	全体/1回																												
情報セキュリティについて	全体1回、事務局1回																												
母乳育児支援について	全体3回																												
穏和ケアについて	全体3回																												
児童虐待予防について	全体2回																												

8-2 県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項

中期 目標	人事交流など、県及び県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																									
65	医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	III	III			医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	職員の他法人への出向状況 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> 他法人職員の受入状況 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1</td> <td>2(3)</td> <td>2(1)</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2</td> <td>4(3)</td> <td>3(1)</td> </tr> </tbody> </table> 看護師欄にある（ ）は、助産師数				H22	H23	H24	医師	—	—	—	歯科医師	—	—	—	看護師	3	3	3	准看護師	—	—	—	コメディカル	10	4	2	合 計	13	7	5		H22	H23	H24	医師	—	—	—	歯科医師	—	—	—	看護師	1	2(3)	2(1)	准看護師	—	—	—	コメディカル	1	2	1	合 計	2	4(3)	3(1)	III	
	H22	H23	H24																																																																
医師	—	—	—																																																																
歯科医師	—	—	—																																																																
看護師	3	3	3																																																																
准看護師	—	—	—																																																																
コメディカル	10	4	2																																																																
合 計	13	7	5																																																																
	H22	H23	H24																																																																
医師	—	—	—																																																																
歯科医師	—	—	—																																																																
看護師	1	2(3)	2(1)																																																																
准看護師	—	—	—																																																																
コメディカル	1	2	1																																																																
合 計	2	4(3)	3(1)																																																																

8-3 医療機器・施設整備に関する事項

中期目標	医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展など総合的に勘案して計画的に実施すること。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																		
66	<p>(1) 中期目標の期間における医療機器・施設整備に関する総投資額については、次のとおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額(単位:百万円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>5,554</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、高度先進医療機器(高速X線CT装置(MDCT)、MRI等)の整備、超音波室の増設等、着実に実施する。</p>	施設及び設備の内容	予定額(単位:百万円)	財源	病院施設、医療機器等整備	5,554	設立団体からの長期借入金等	III	III			<p>(1) 平成24年度における医療機器・施設整備に関する総投資額については、次のとおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額(単位:百万円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>1,461</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、高度先進医療機器(高速X線CT装置(MDCT)、MRI等)の整備、超音波室の増設等を検討する。</p>	施設及び設備の内容	予定額(単位:百万円)	財源	病院施設、医療機器等整備	1,461	設立団体からの長期借入金等	<p>(1) 平成24年度における医療機器・施設整備に関する総投資額については、次のとおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>投資額(単位:百万円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>1,088</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療機器については、計画どおりの整備を行っているが、器具備品類については、適切な整備を行った。</p> <p>(2) 医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、高度先進医療機器(内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ))を導入し、カテーテルを使った手術と外科的な手術ができる施設(ハイブリッド手術室)の整備を進めている。(平成25年7月完成予定)</p>	施設及び設備の内容	投資額(単位:百万円)	財源	病院施設、医療機器等整備	1,088	設立団体からの長期借入金等	III		
施設及び設備の内容	予定額(単位:百万円)	財源																										
病院施設、医療機器等整備	5,554	設立団体からの長期借入金等																										
施設及び設備の内容	予定額(単位:百万円)	財源																										
病院施設、医療機器等整備	1,461	設立団体からの長期借入金等																										
施設及び設備の内容	投資額(単位:百万円)	財源																										
病院施設、医療機器等整備	1,088	設立団体からの長期借入金等																										

8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項

中期目標	法人は、岐阜県に対し、地方独立行政法人法第66条第1項に規定する地方債のうち、法人成立の日までに償還されていないものに相当する額の債務を負担すること。また、その債務の処理を確実に行うこと。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																					
67	<p>法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に行っていく。</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>中期目標期間償還額</th> <th>次期以降償還額</th> <th>総債務償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>10,826</td> <td>9,088</td> <td>19,914</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>0</td> <td>7,434</td> <td>7,434</td> </tr> </tbody> </table>	区分	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額	移行前地方債償還債務	10,826	9,088	19,914	長期借入金償還額	0	7,434	7,434	III	III			<p>法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に行っていく。</p> <p>・法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に実施した。</p> <p>債務の償還状況（合計）</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年</td> <td>1,419</td> <td>1,419</td> </tr> <tr> <td>23年</td> <td>5,366</td> <td>5,366</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td>805</td> <td>805</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td></td> <td>2,577</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td></td> <td>659</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td>7,590</td> <td>10,826</td> </tr> </tbody> </table> <p>(内訳)</p> <p>移行前地方債償還債務 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年</td> <td>1,419</td> <td>1,419</td> </tr> <tr> <td>23年</td> <td>5,366</td> <td>5,366</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td>805</td> <td>805</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td></td> <td>2,577</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td></td> <td>659</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td>7,590</td> <td>10,826</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	計画	22年	1,419	1,419	23年	5,366	5,366	24年	805	805	25年		2,577	26年		659	中期計画期間計	7,590	10,826	年度	実績	計画	22年	1,419	1,419	23年	5,366	5,366	24年	805	805	25年		2,577	26年		659	中期計画期間計	7,590	10,826	III		
区分	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額																																																												
移行前地方債償還債務	10,826	9,088	19,914																																																												
長期借入金償還額	0	7,434	7,434																																																												
年度	実績	計画																																																													
22年	1,419	1,419																																																													
23年	5,366	5,366																																																													
24年	805	805																																																													
25年		2,577																																																													
26年		659																																																													
中期計画期間計	7,590	10,826																																																													
年度	実績	計画																																																													
22年	1,419	1,419																																																													
23年	5,366	5,366																																																													
24年	805	805																																																													
25年		2,577																																																													
26年		659																																																													
中期計画期間計	7,590	10,826																																																													

8-5 中期目標の期間を超える債務負担

項目 No.	中期計画					過年度の検証結果				H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
						H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
—	(単位：百万円)					—	—	—			—	—		
	区 分	契約期間	中期目標期 間事業費	次期以降 事業費	総事業費									
	新棟整 備事業	平成25年度 ～ 平成27年度	1,281	854	2,135									

○「8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項」(その他業務運営に関する重要事項)に関する特記事項

<p>8-1 職員の就労環境の向上</p> <ul style="list-style-type: none">・勤務実態に合わせ、4週単位から1月単位の変形労働時間制に変更した。また、医師やコメディカルも変形労働時間制による勤務とし、時間外勤務時間の縮減に努めた。・職員が安全かつ安心して勤務できる勤務環境づくりのため、平成24年2月から24時間保育を実施した。	<p>8-2 県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none">・医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。 <p>8-3 医療機器・施設整備に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none">・医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、高度先進医療機器(内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ))を導入し、カテーテルを使った手術と外科的な手術ができる施設(ハイブリッド手術室)の整備を進めている。(平成25年7月完成予定)
---	--